



R 桃色サンドイッチ

SSAEM

SSAEM
by

桃色
サンド
イッチ

合本版 1



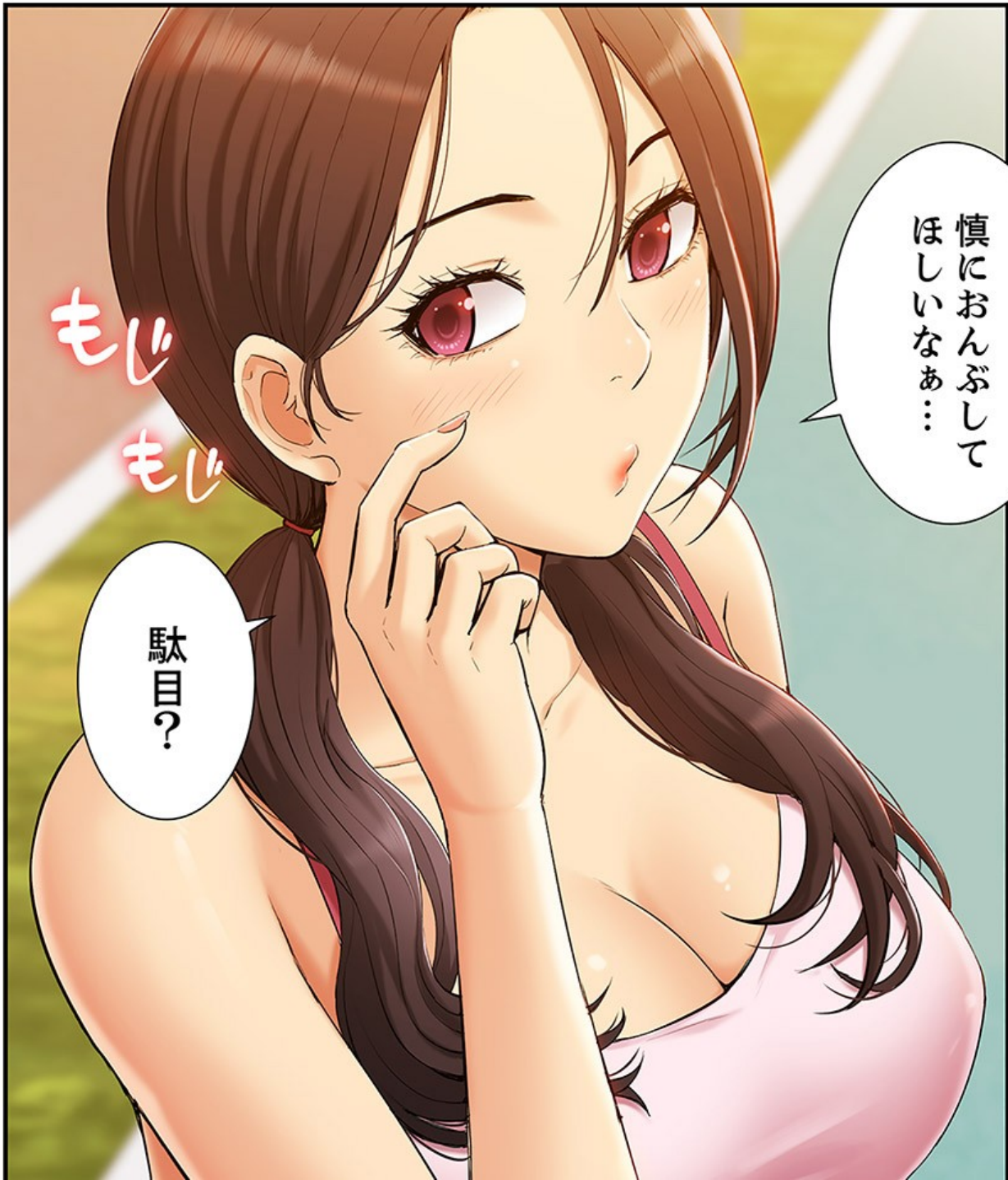
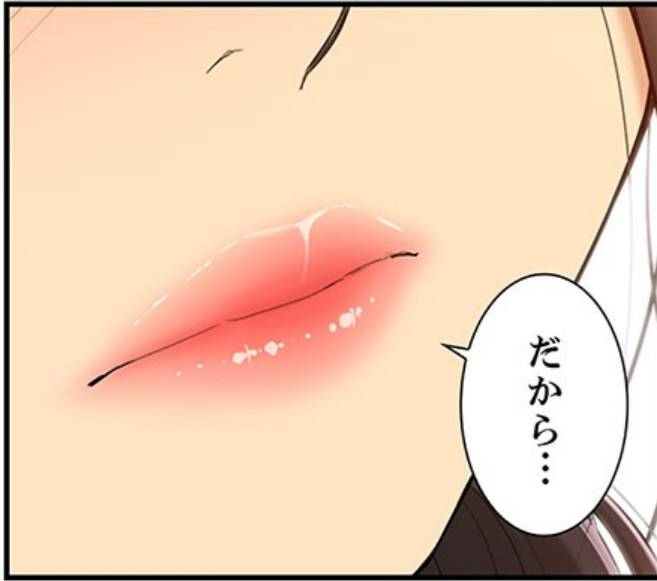
慎ああつ
ああつ



私もう...

これ以上は...!







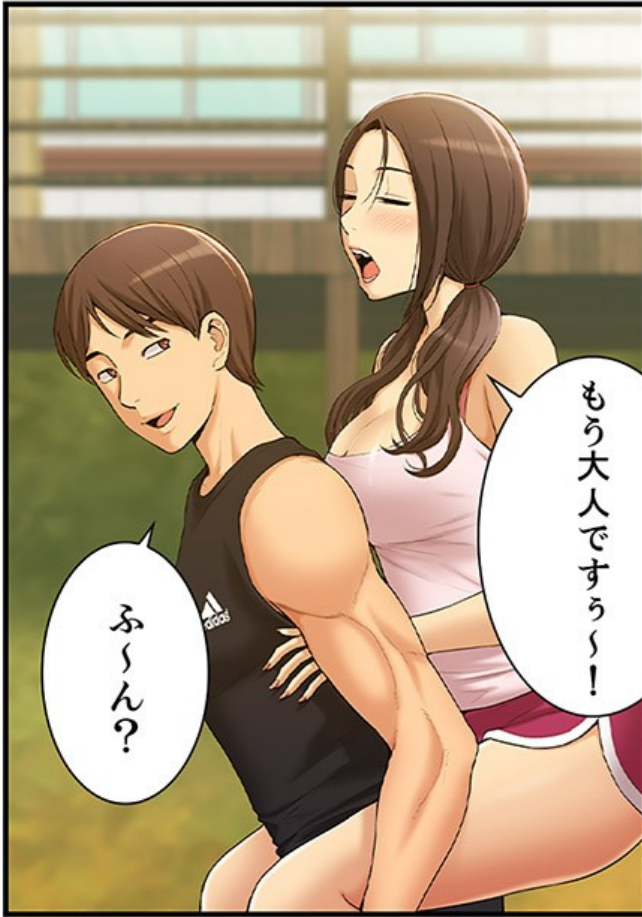


仕方ないな



今回だけだぞ？





ふん？


もう大人ですう！



わ…私の
どこが子供っぽいの!?



ほら！



どう？
大人でしょ？

...



しないって!
大丈夫だよ



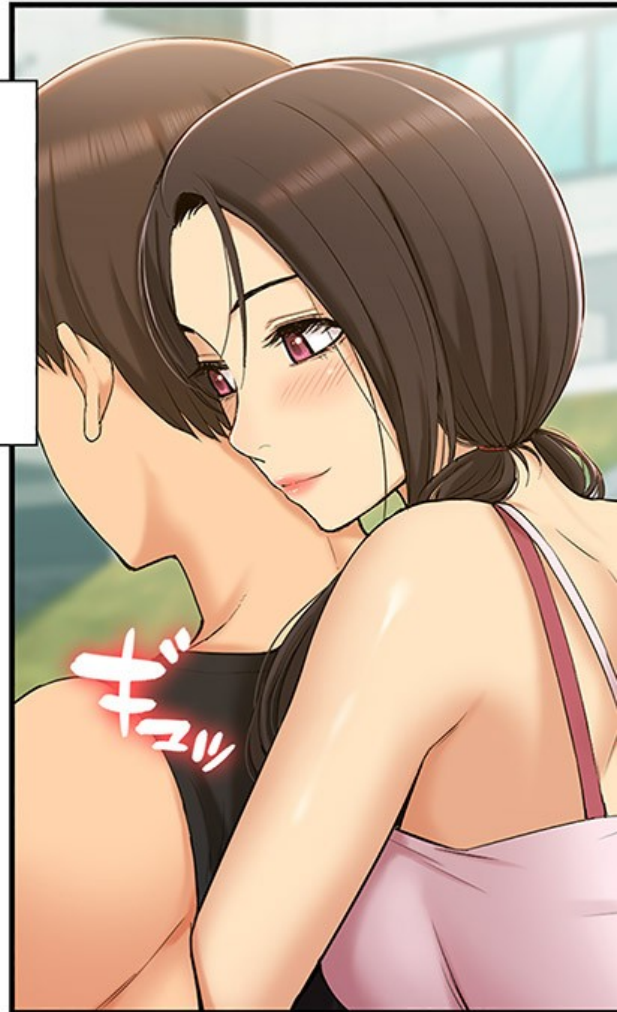
そんな事気軽に
しちゃ駄目だろ!?

くら!



慎以外には

こんな事
絶対しないんだから



キムッ



大学進学を期に上京し
それからずっと
この下宿先で
世話になっている



この家に
住み始めて2年



これも
食べる？

涼子さんは確か
36歳だったか？

その母親の涼子さんが
暮らしている

スッ



家には

美味しい〜！

はむ

18歳の娘
莉奈と：



最近おかずが沢山で
嬉しいです

俺の分の食費
足りてますか？
もっと出しますよ



私もそれ
食べたい

涼子さんは早くに
莉奈を生んで
一人で育てている



いいのよ

気にせず
好きなだけ
食べてね

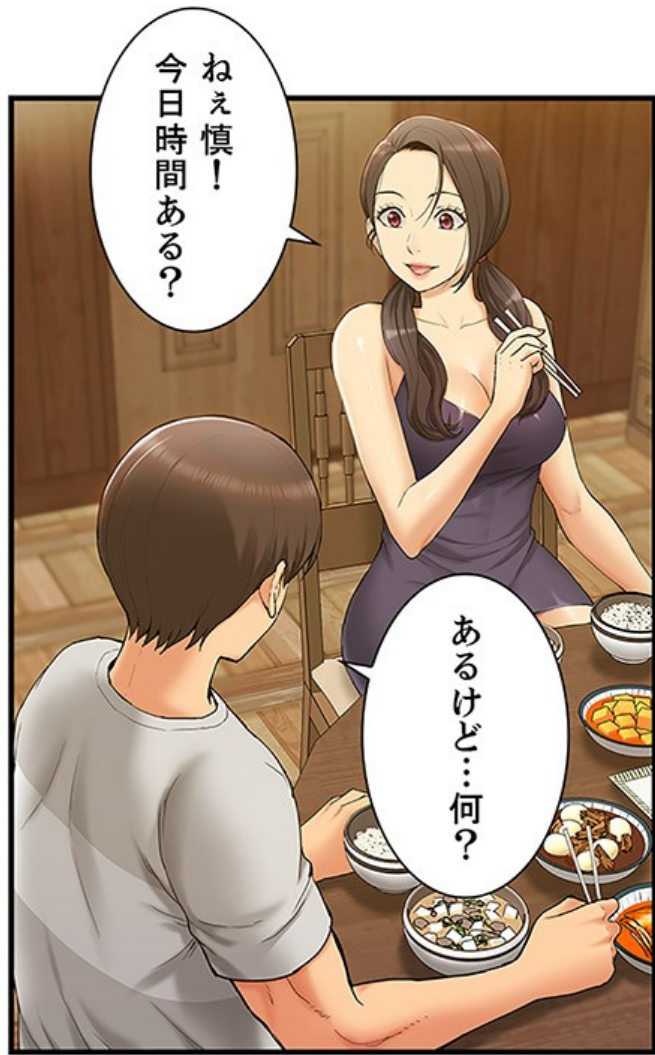
二人と俺は
すぐに
打ち解けて

今では本当の
家族のように
暮らしている



大学の入学祝いに
プレゼントくれるって
約束したでしょ？

そろそろ
欲しいなあ〜って！



ねえ慎！
今日時間ある？

あるけど…何？



えっ…今日？








家に男の人が
居なかったから

あの子は慎くんの事を
お父さんやお兄ちゃん
みたいに思ってるみたい



俺ですよ

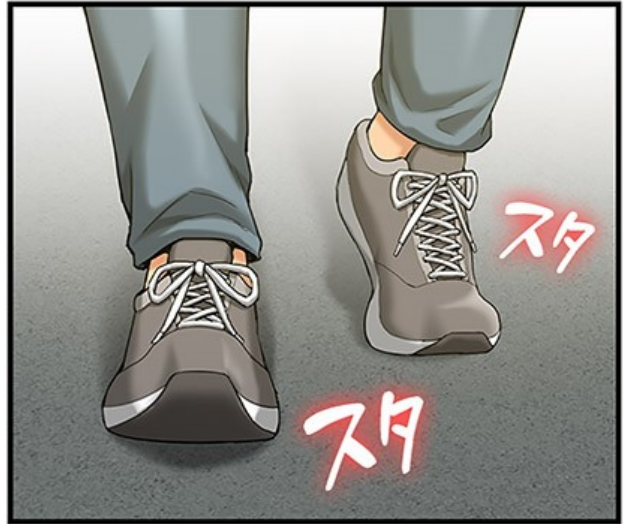
二人の事は
家族だと思ってます

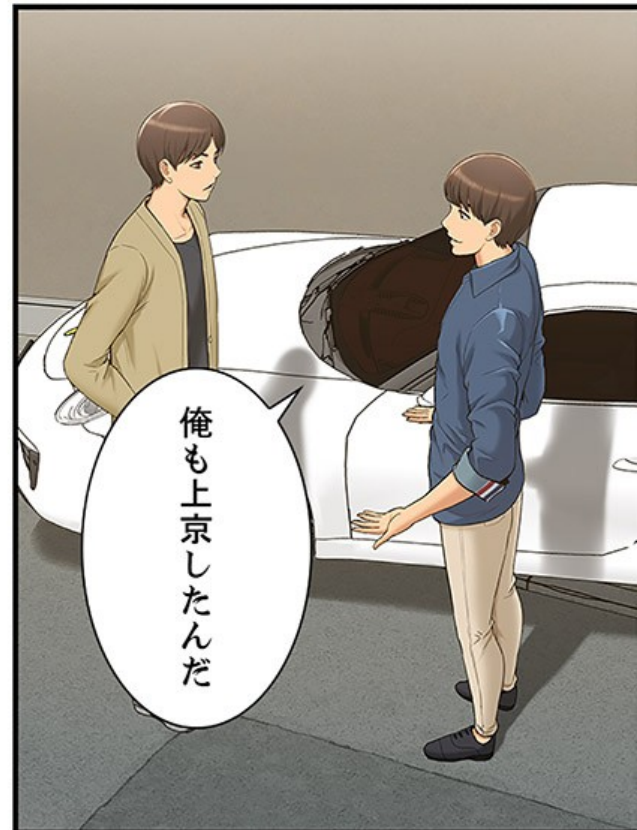
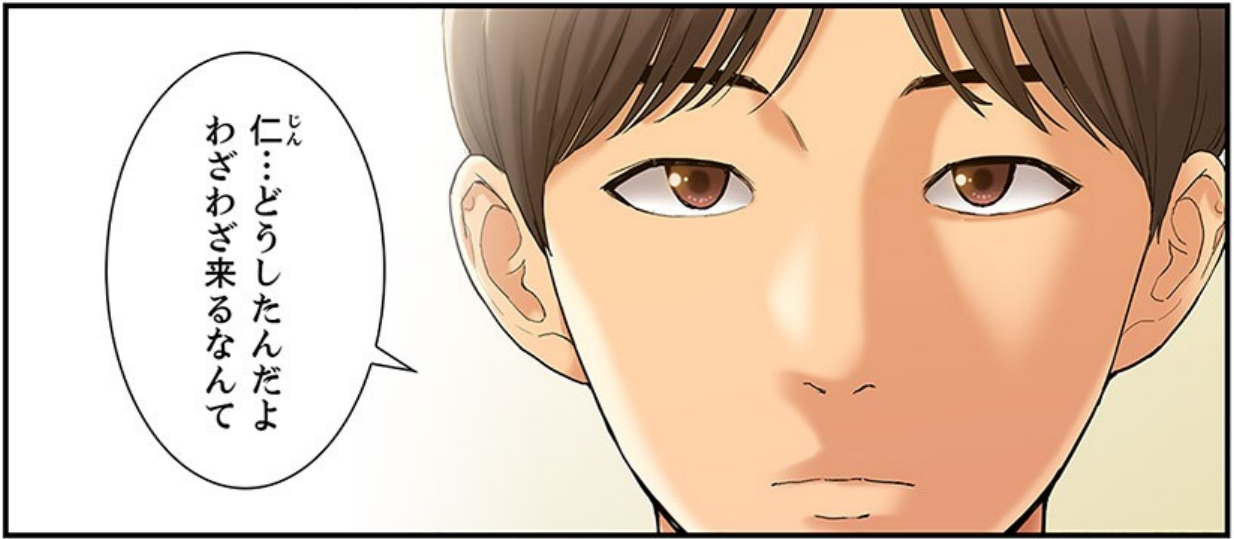
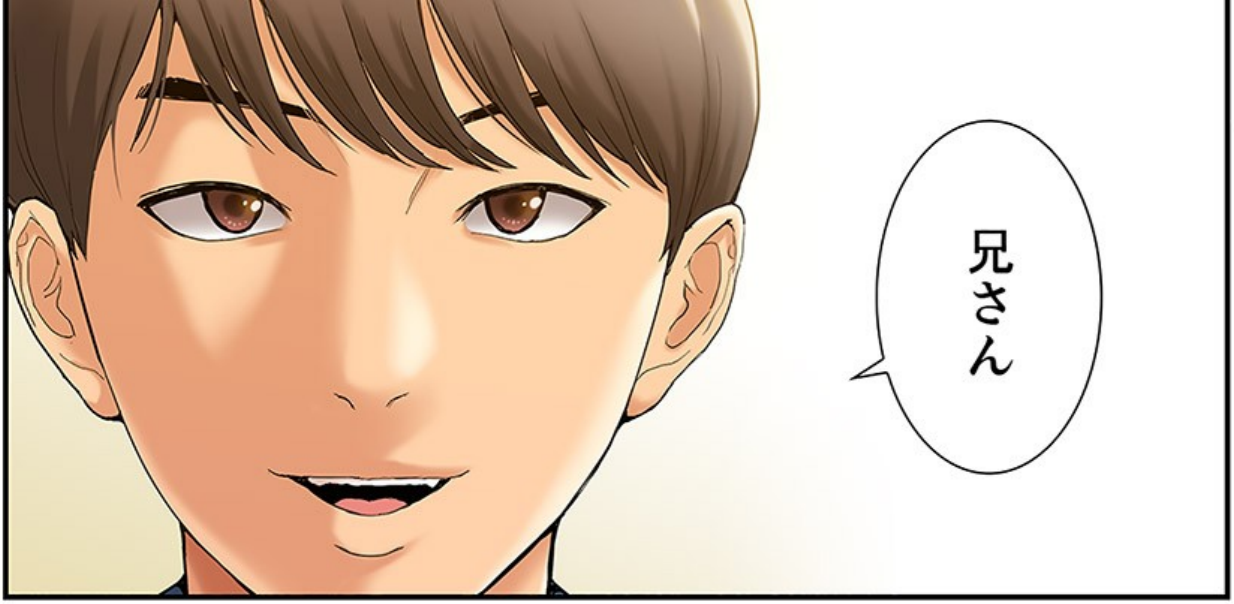


莉奈の事は

本当の妹みたいに
思っています









これは
レンタカーだよ

でも買うなら
いい車を買おうと
思ってる



優雅にって…
そういうえばお前投資で
儲けたとか言ってたな

この車も
買ったのか？



何言ってるんだよ
人生楽しめる時に
楽しまなきゃ！

金なんて
どうにでもなるし



はあ…
貯金とか
したらどうだ？

は？
貯金？

ギョッ



顔は俺に似て
良いんだし

兄さんも
もっと人生
楽しめよ



落ち着いたら
連絡するから
遊びに来てよ

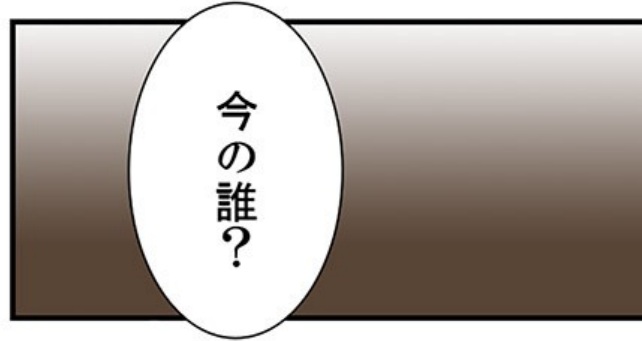
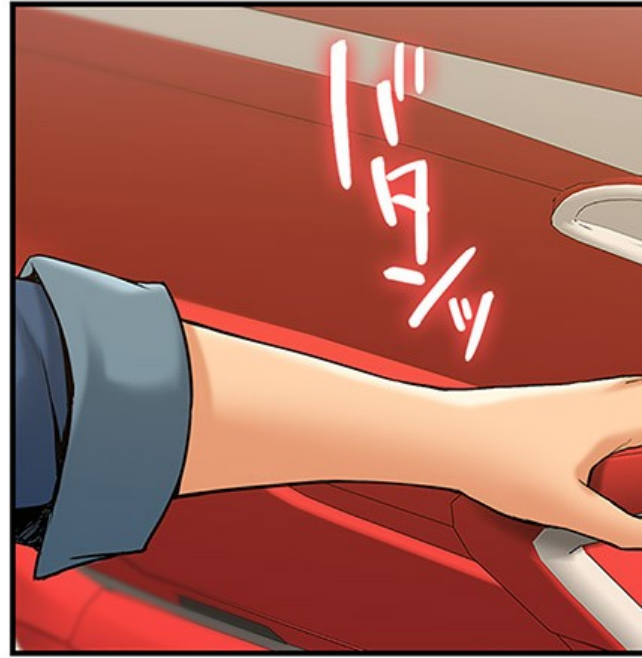
もちろん！
好きにするさ

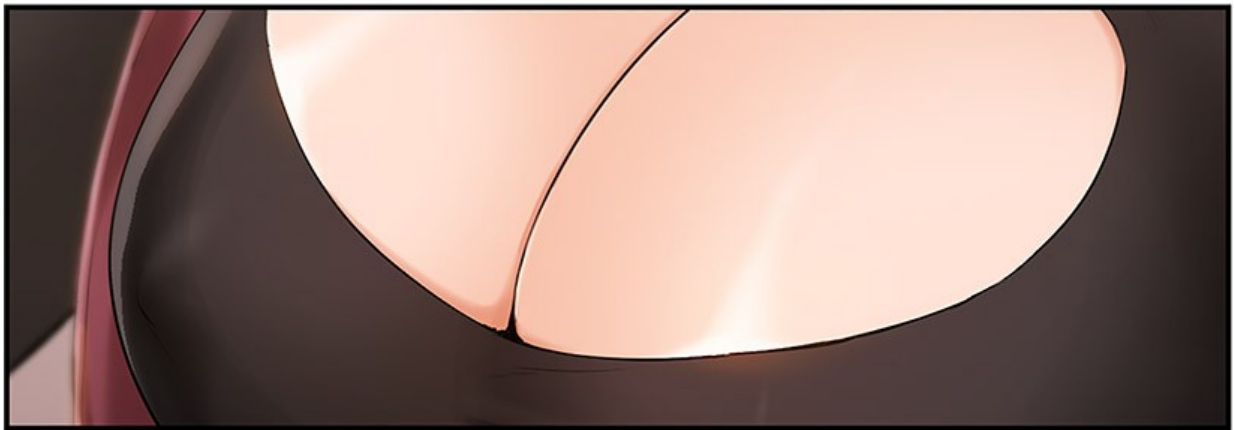


まあいいさ

お前の人生は
お前が好きに
すればいい











そういう事は
彼女としたら？



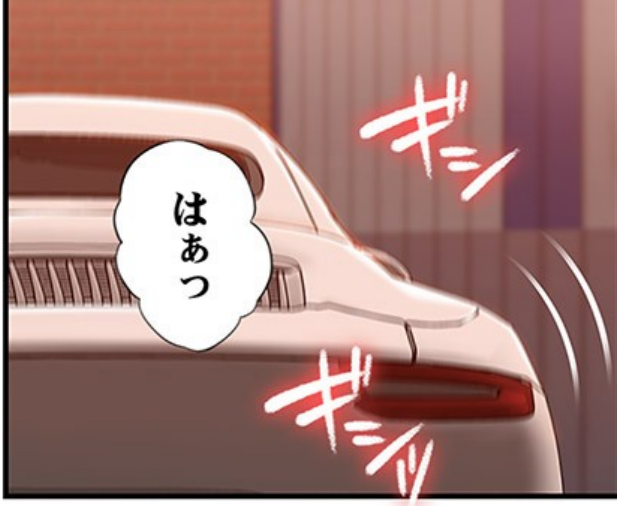
車の中で
エッチ

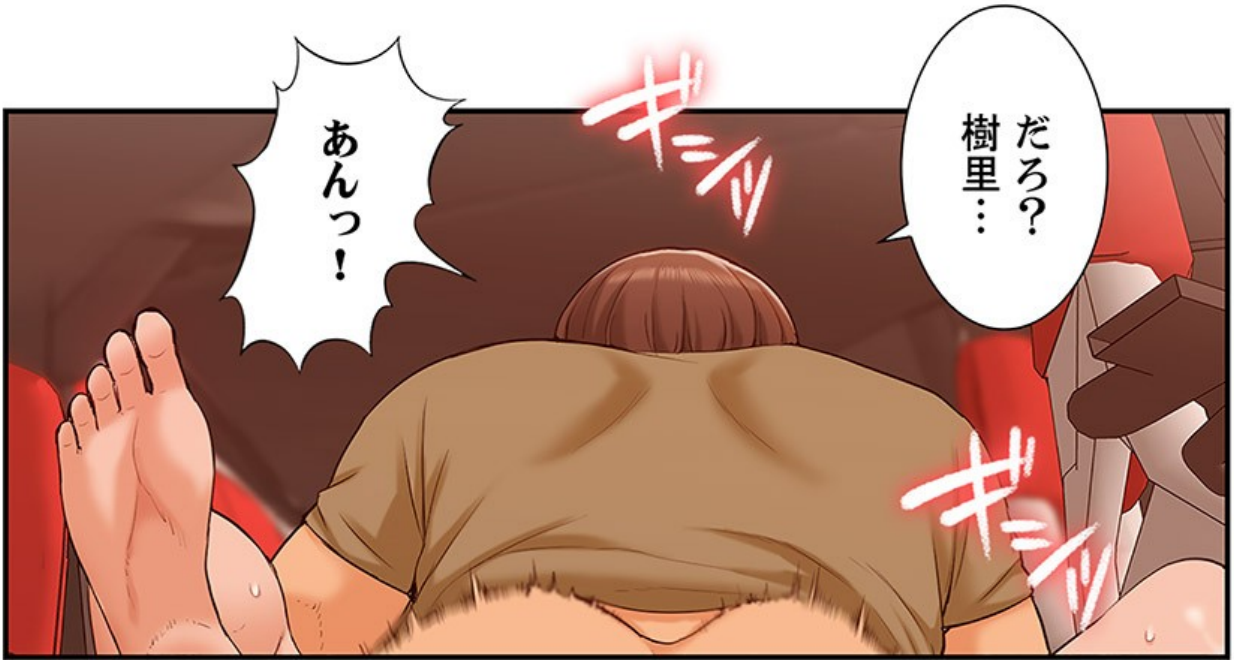
んっ…



待って…

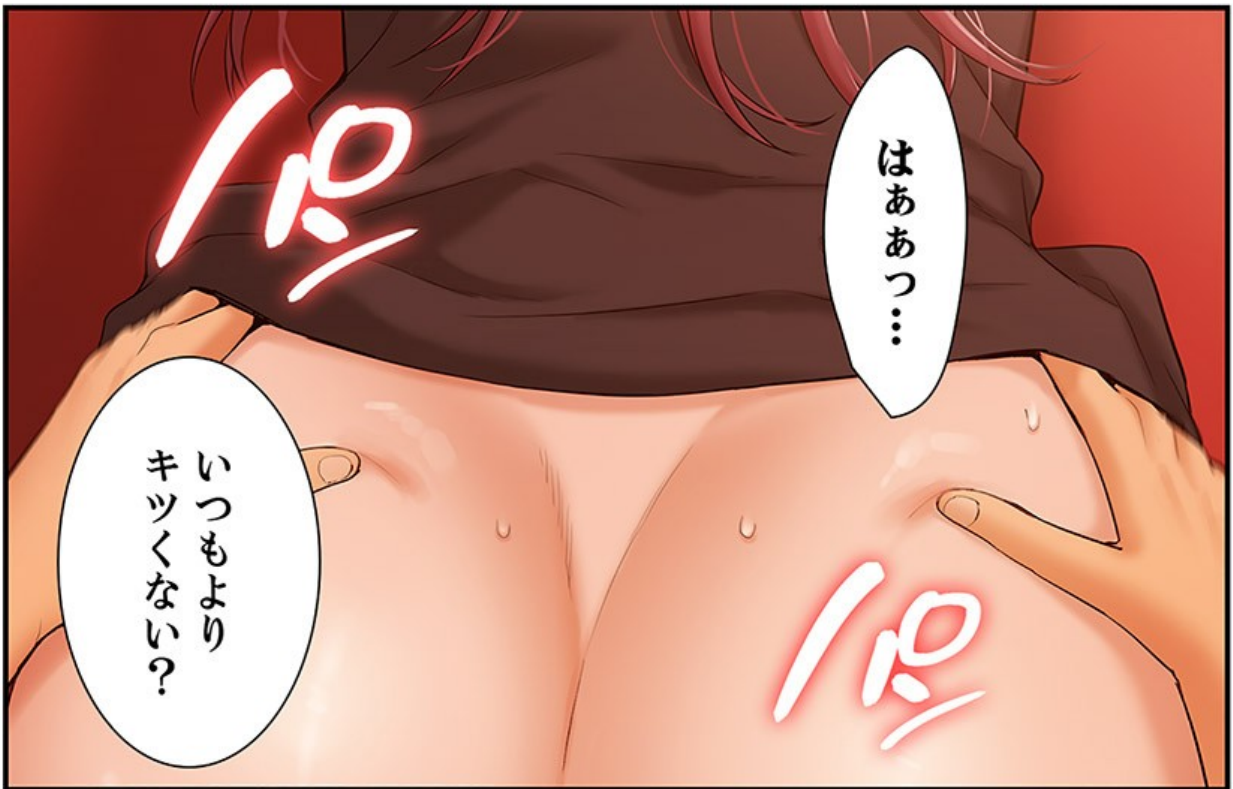
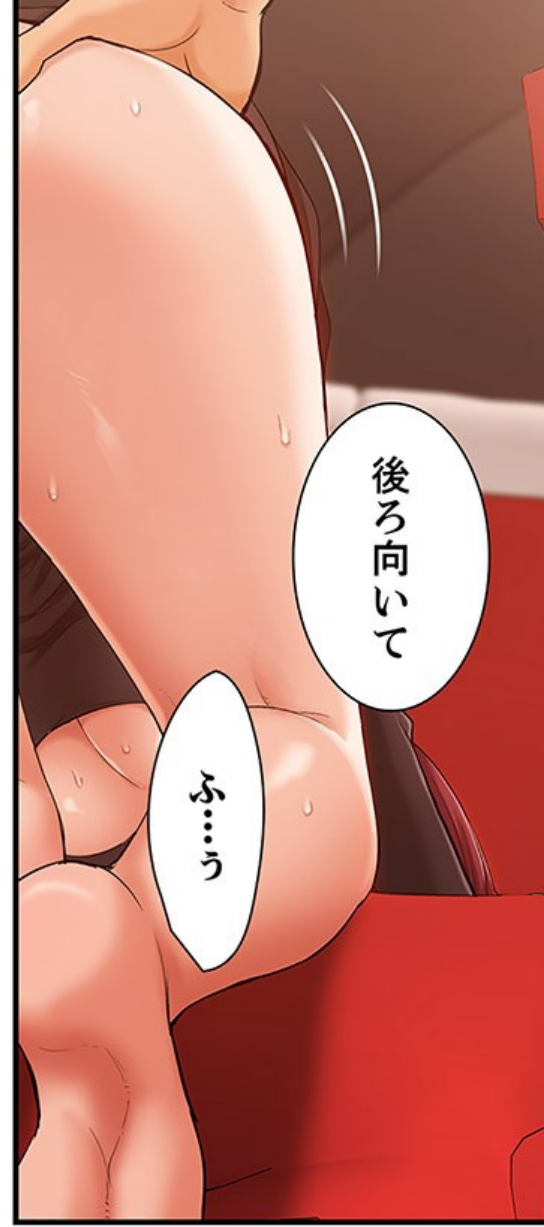






ふくん？
樹里はコレさえ
挿れれば何処でも
いいの？

ああっ！







あゝあゝ
服に付いちゃったね

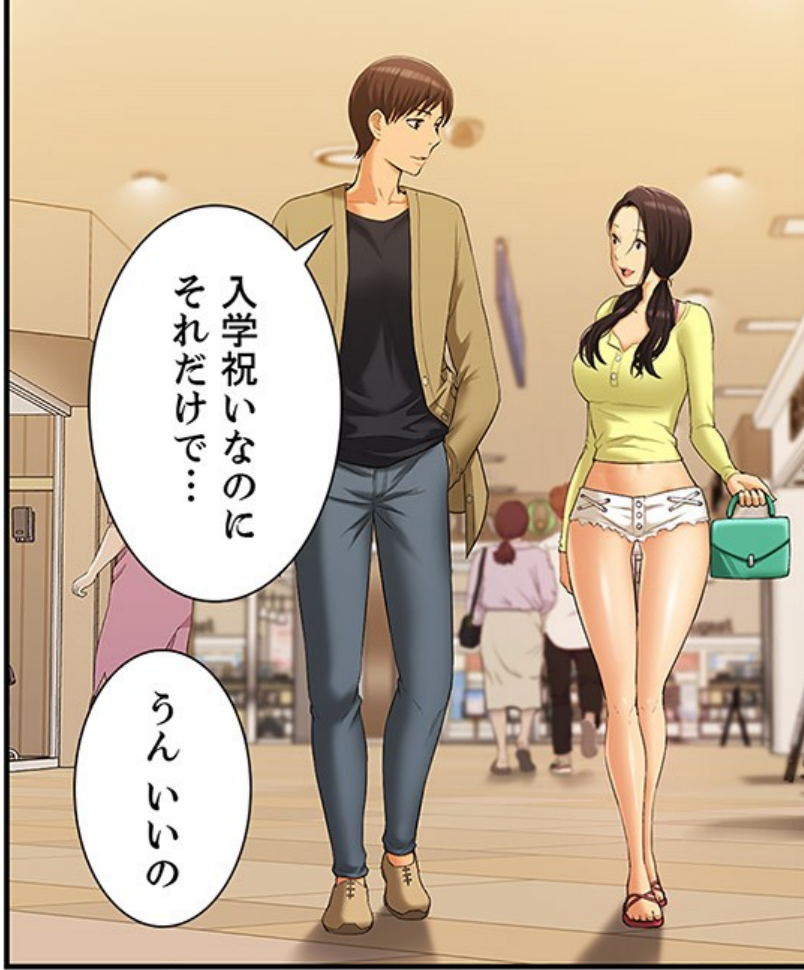
じめんじめん



はあ

はあ







本当は慎と
デートがしたかった
だけのの

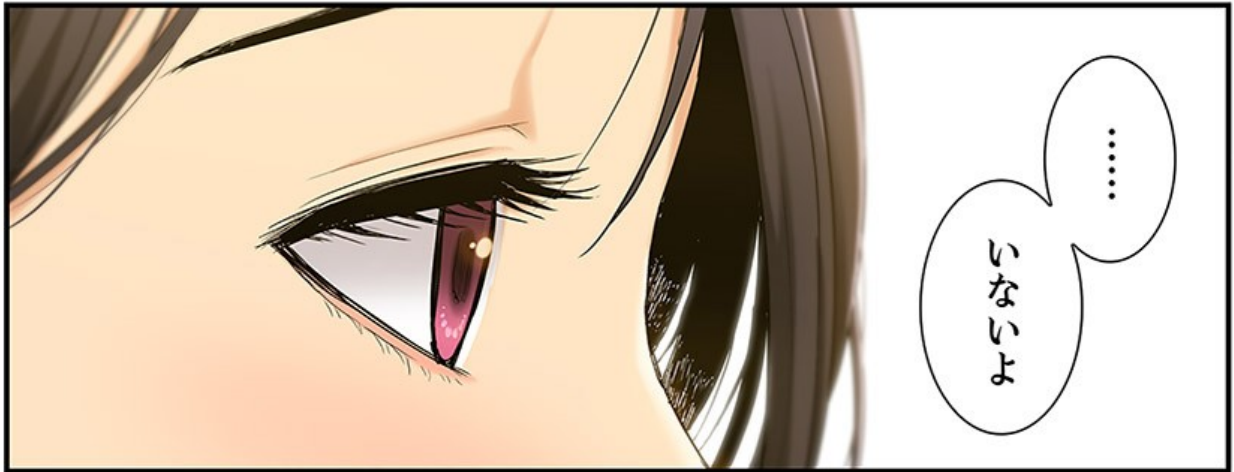


学校に
好きな子
いないのか？



デート？

それは彼氏と
するもんだろ？



……
いないよ



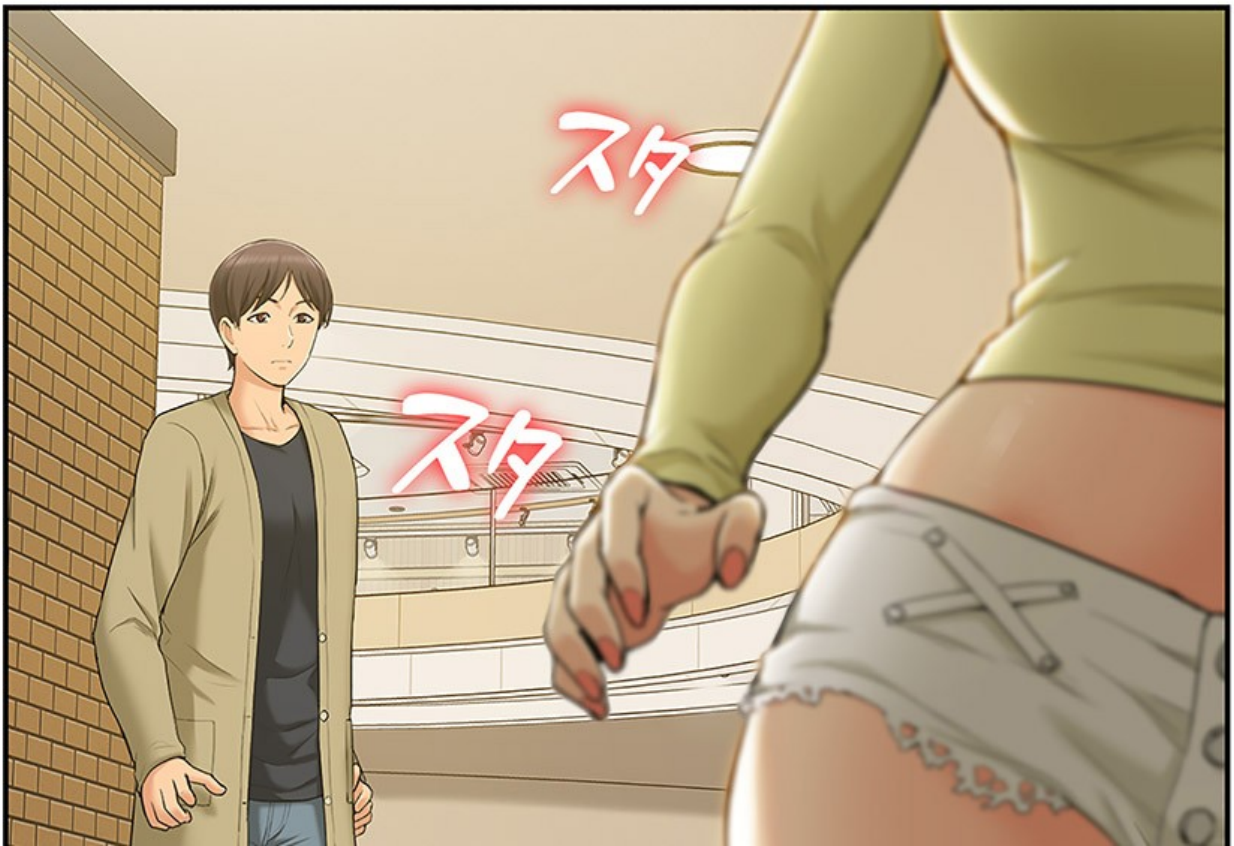
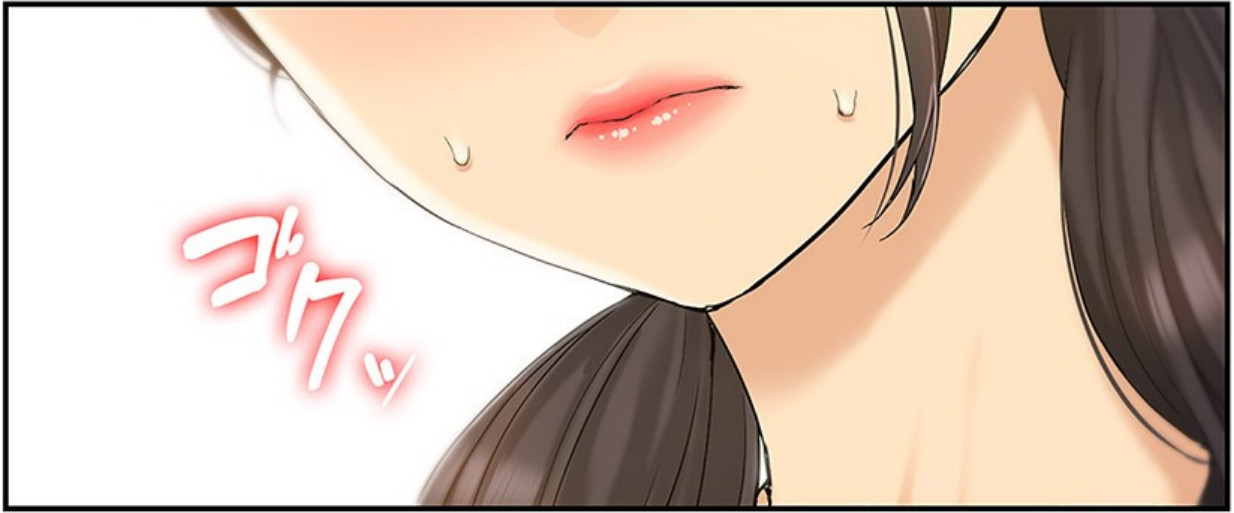
子供には

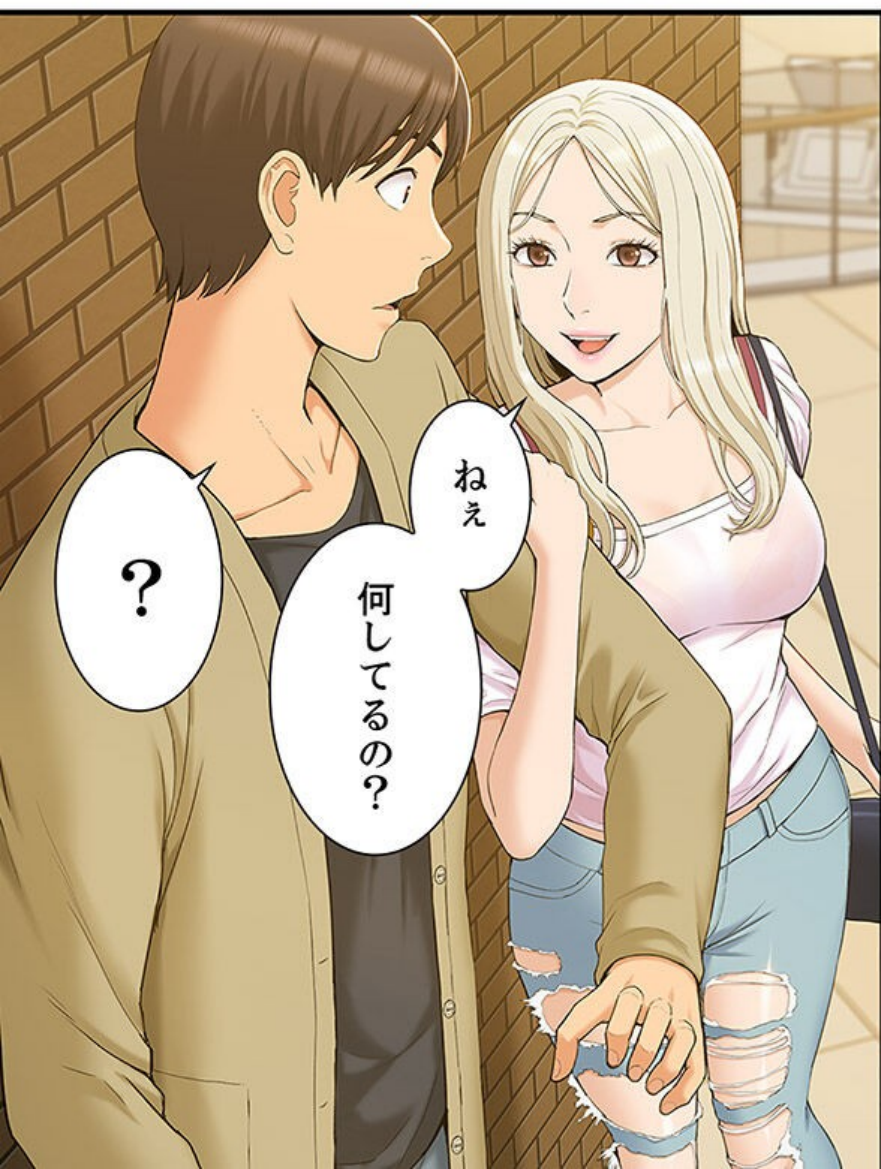
興味ないから

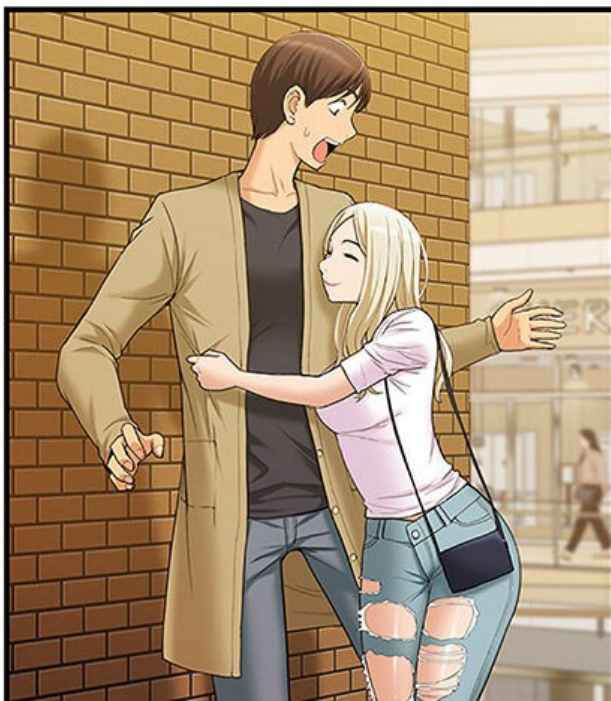
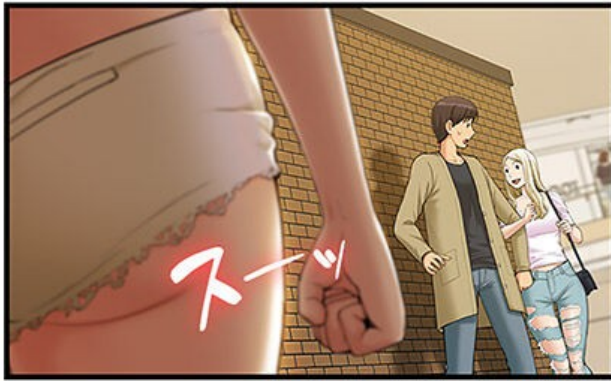


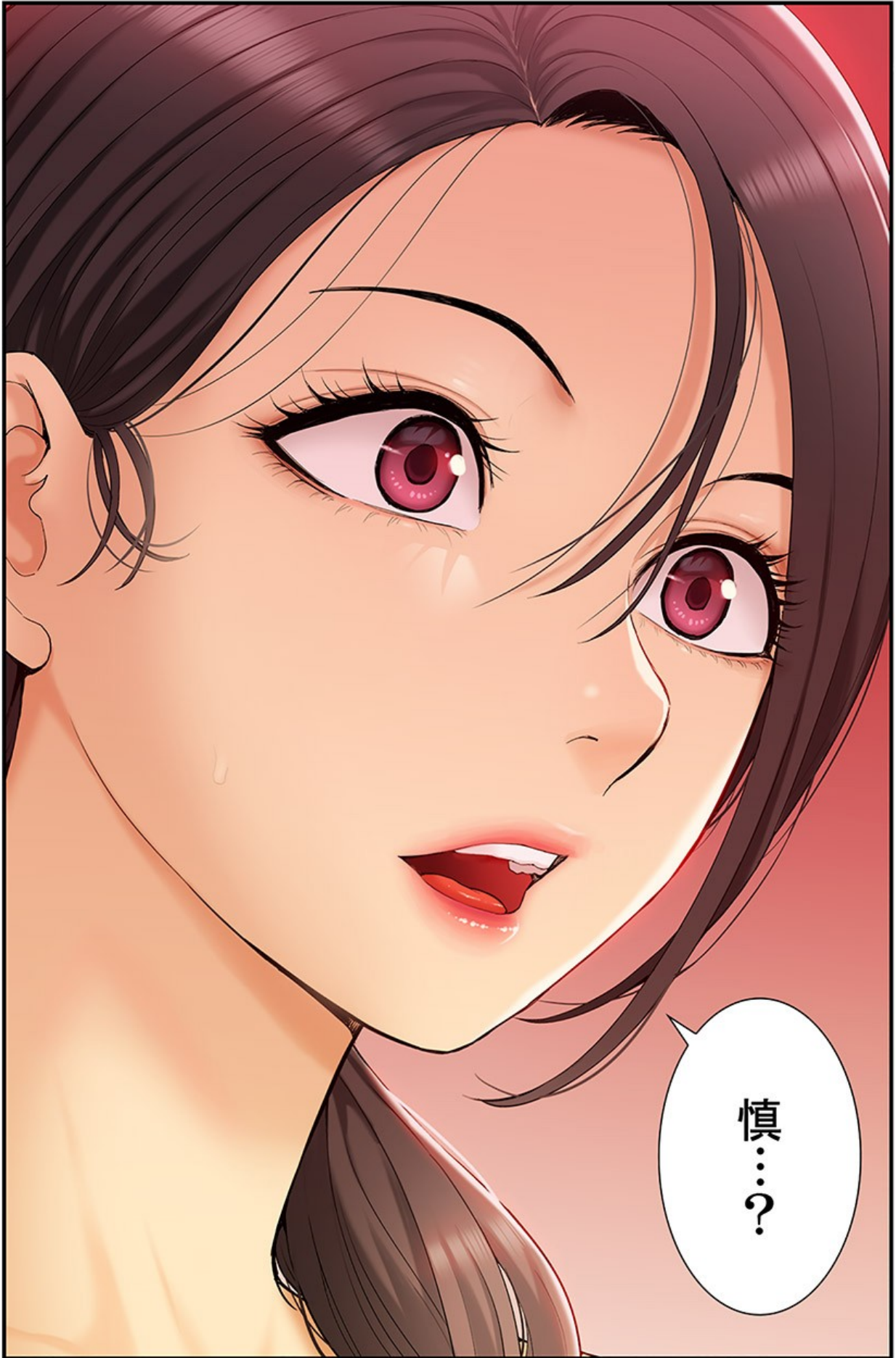
だって…

私は…

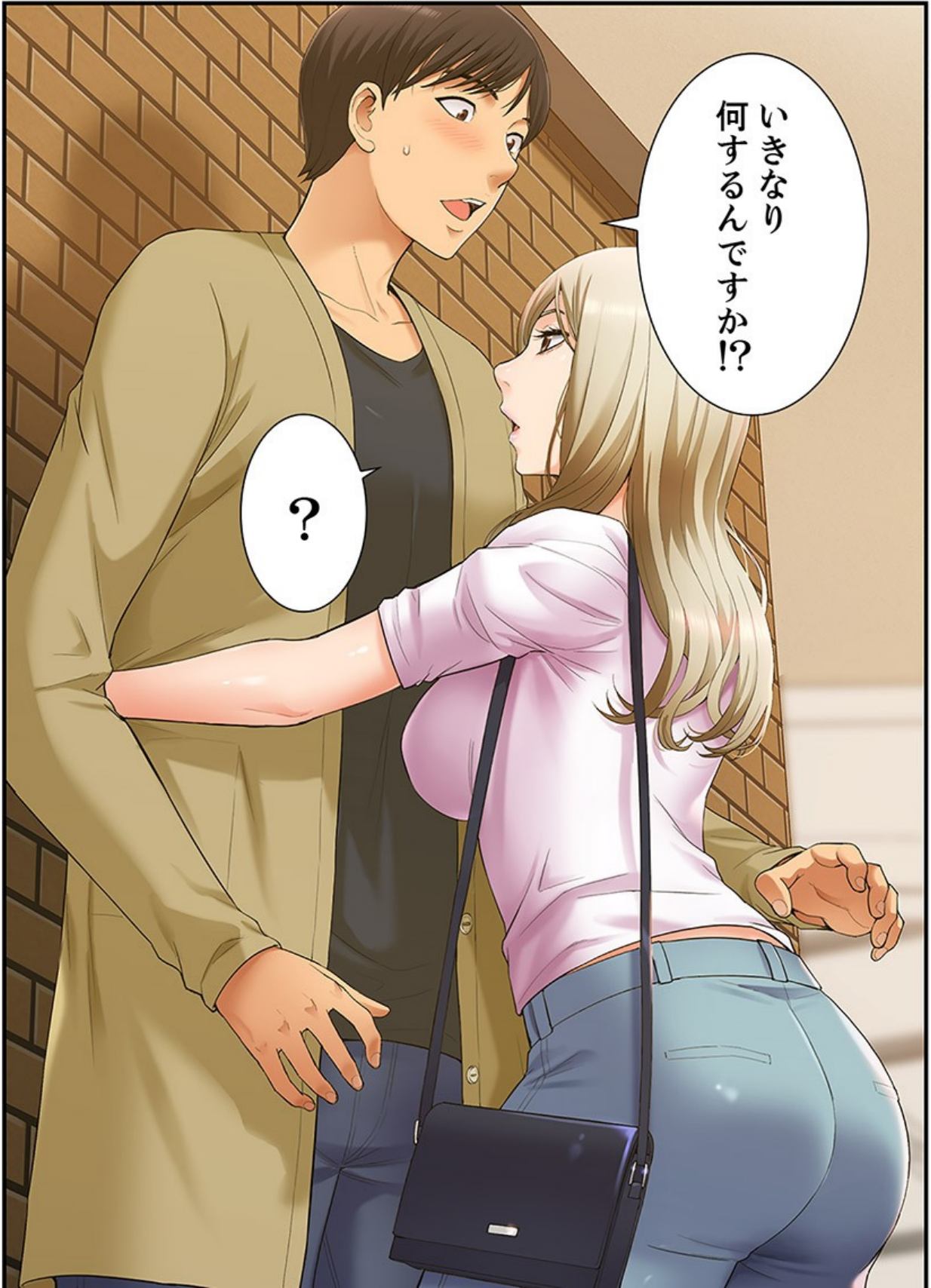


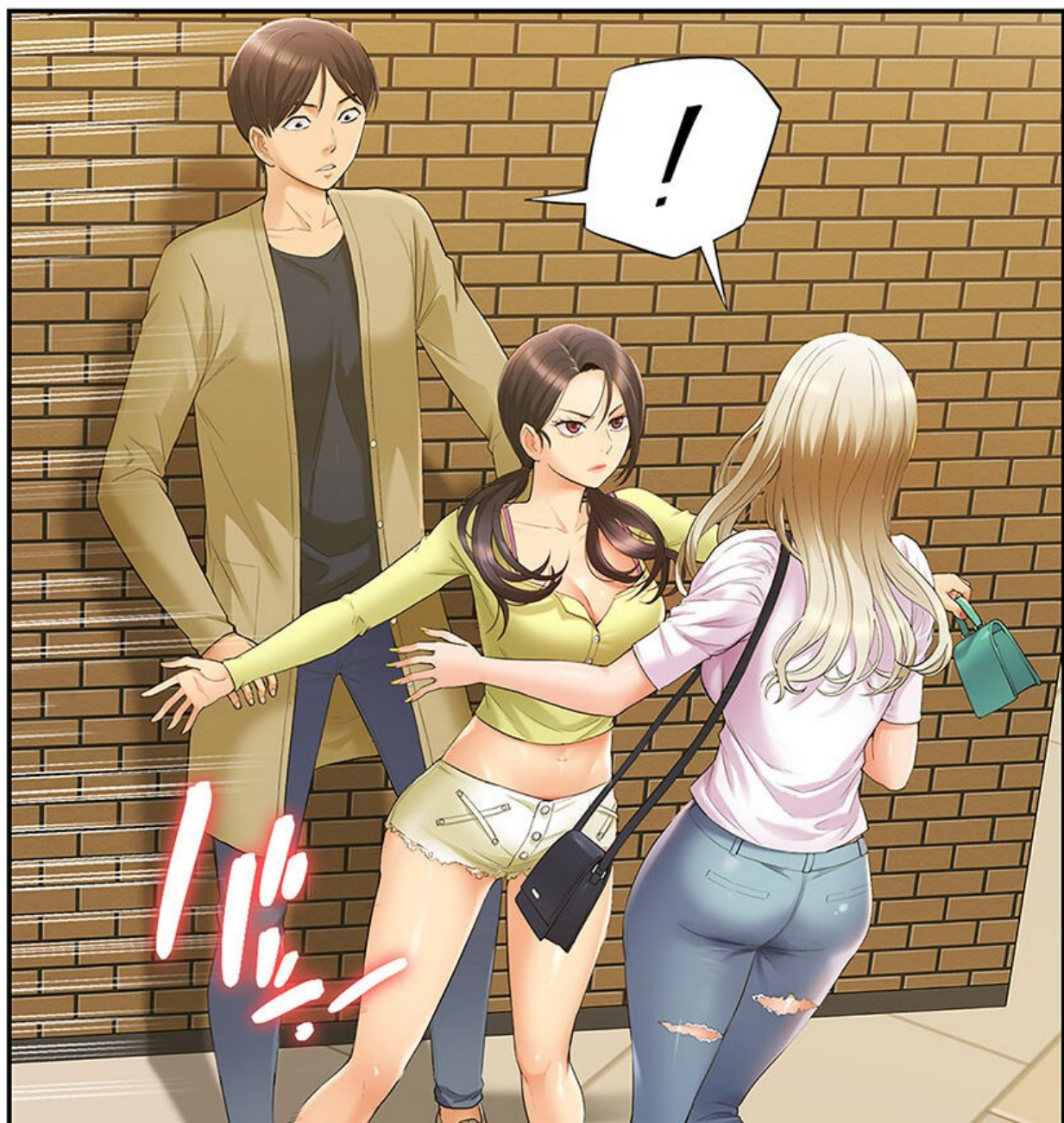
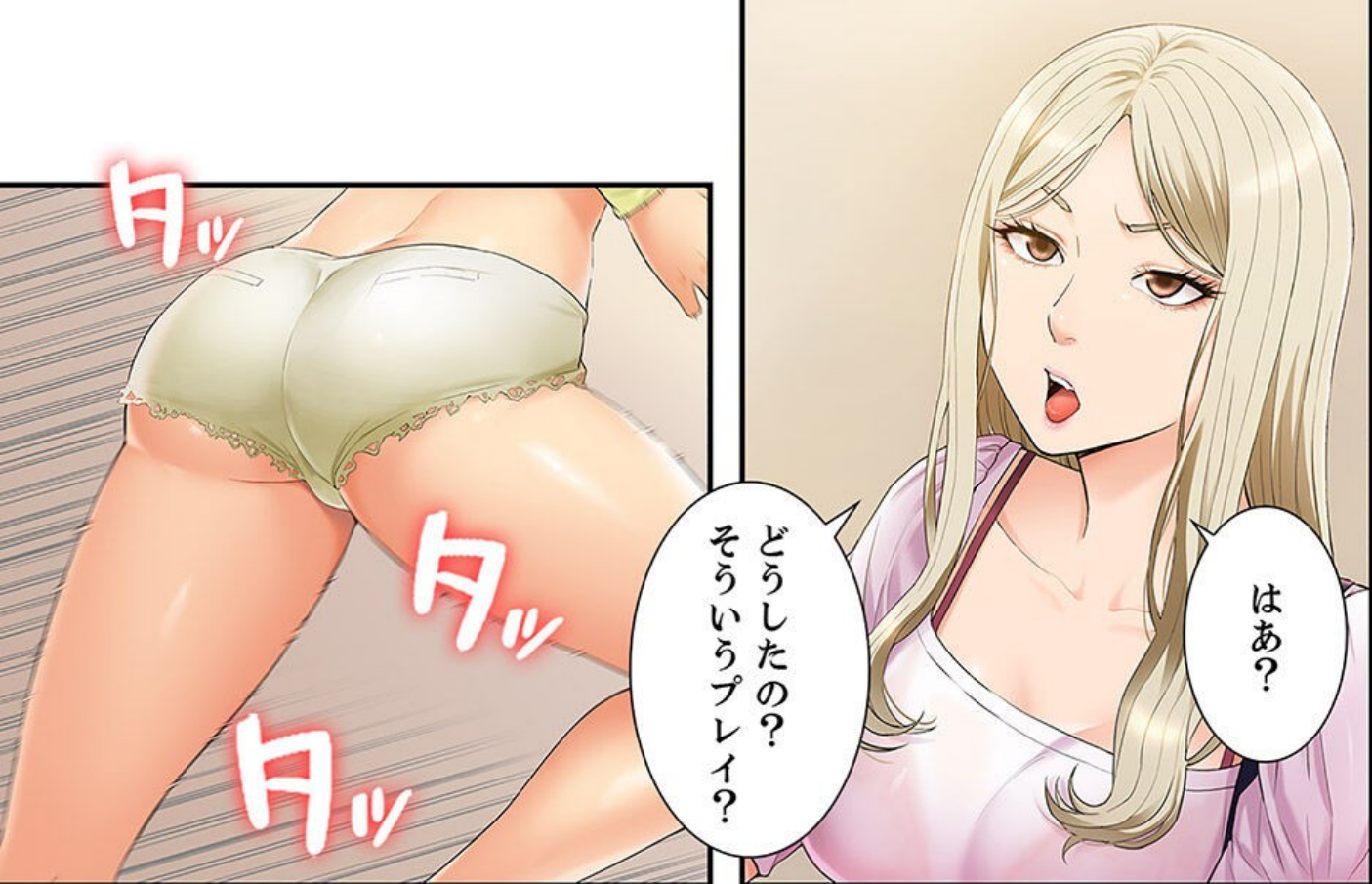






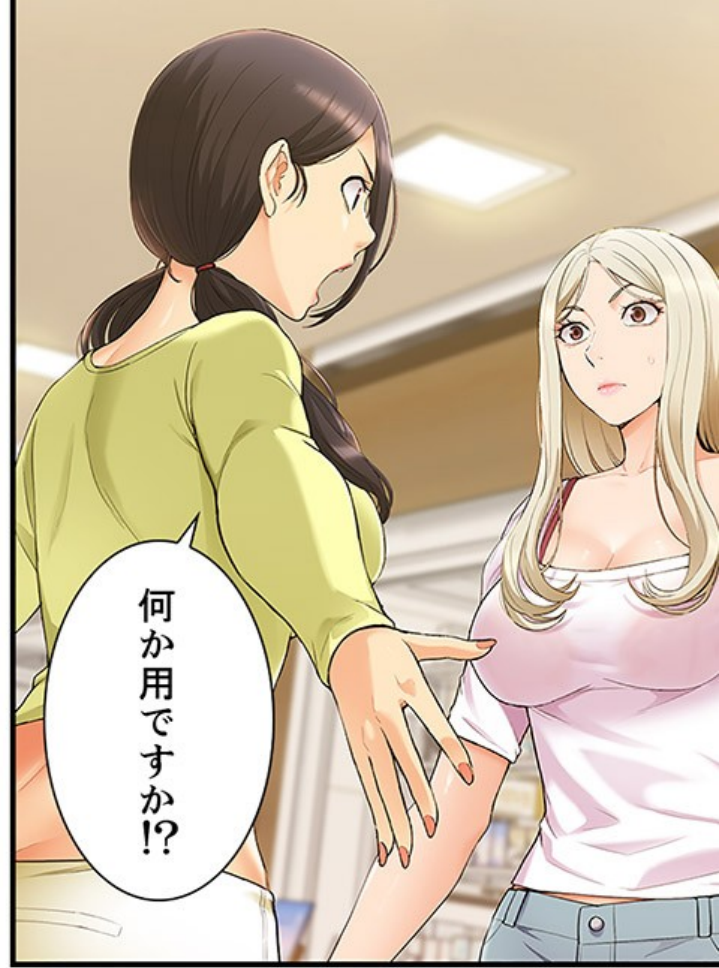
慎...?







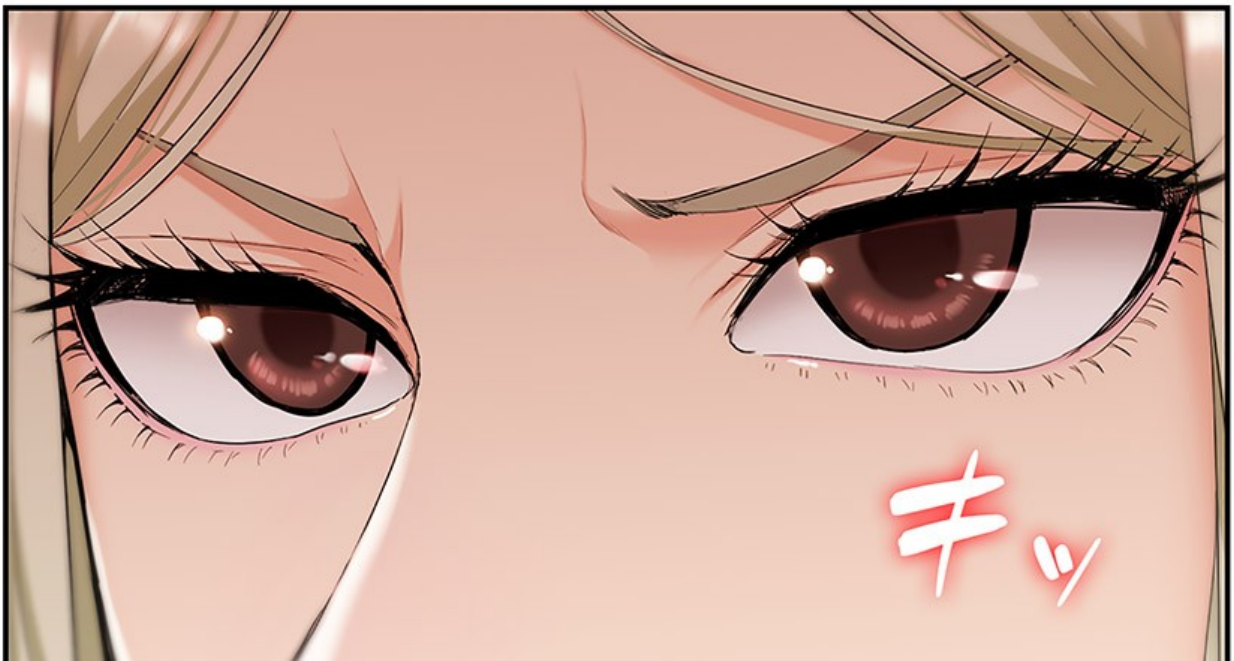
なるほど…

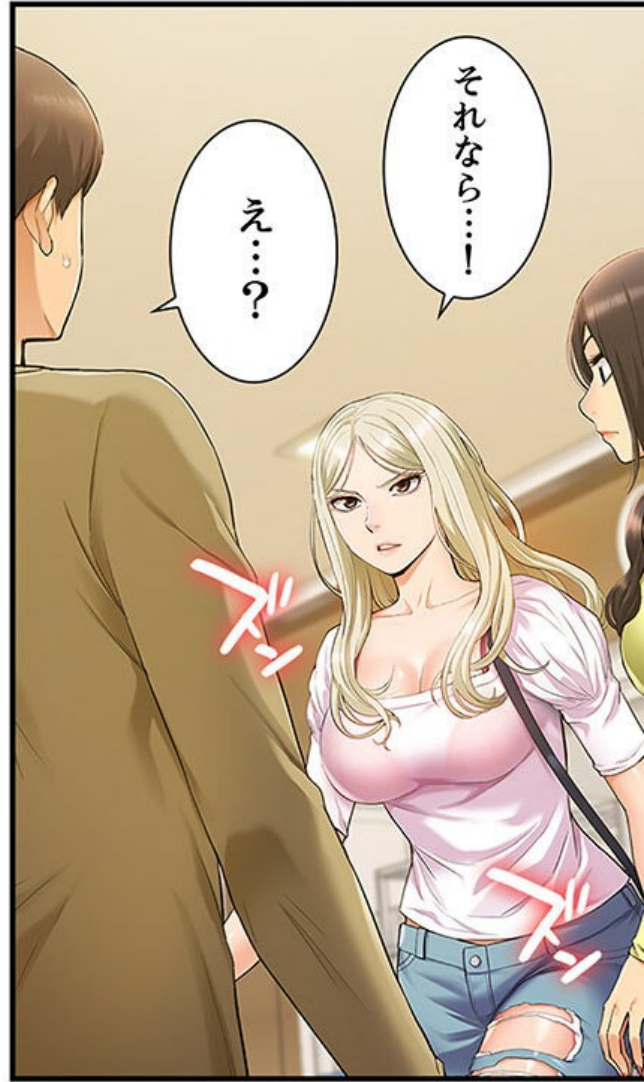


何か用ですか!?

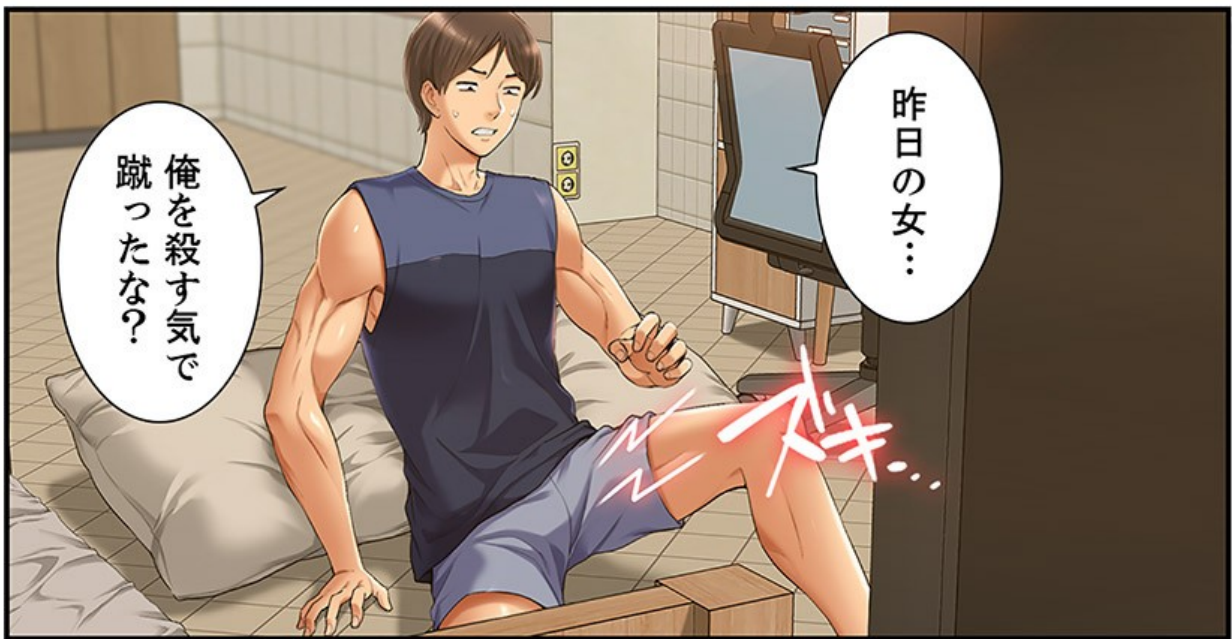


そういう事ね?









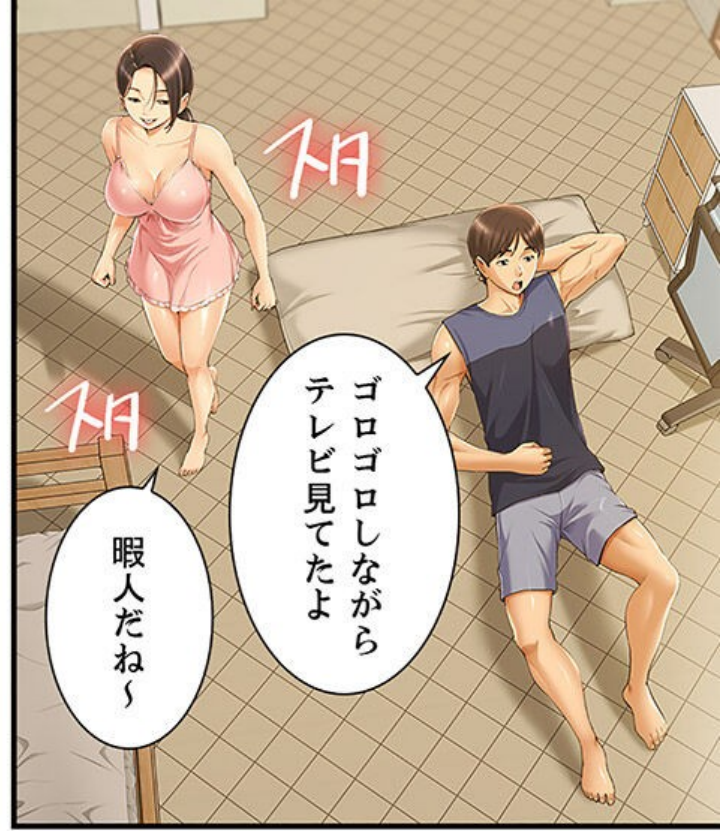


何してるの？

入っていい？

カチカチ

タイタイ!









彼女…
じゃないよね？

あの女の人



…うん



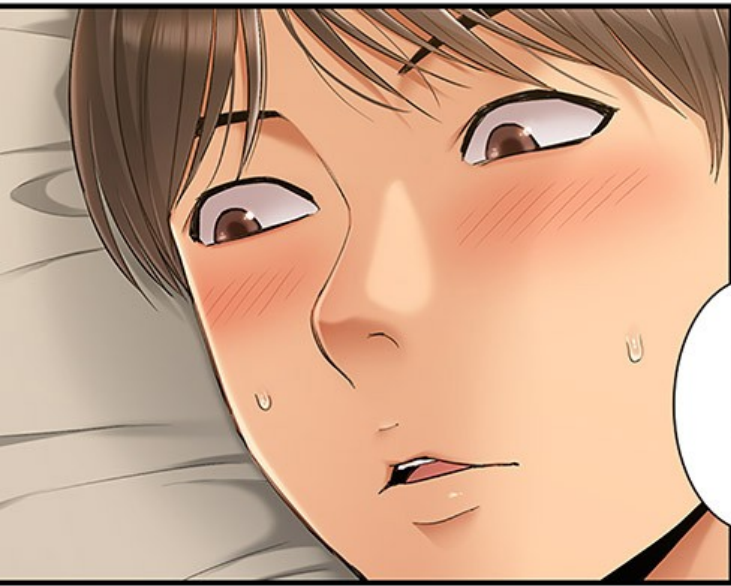
彼女だったら
紹介してるよ

それに今は
誰かと付き合ってる
気がないから…



分かった!
信じる!

ギョウッ

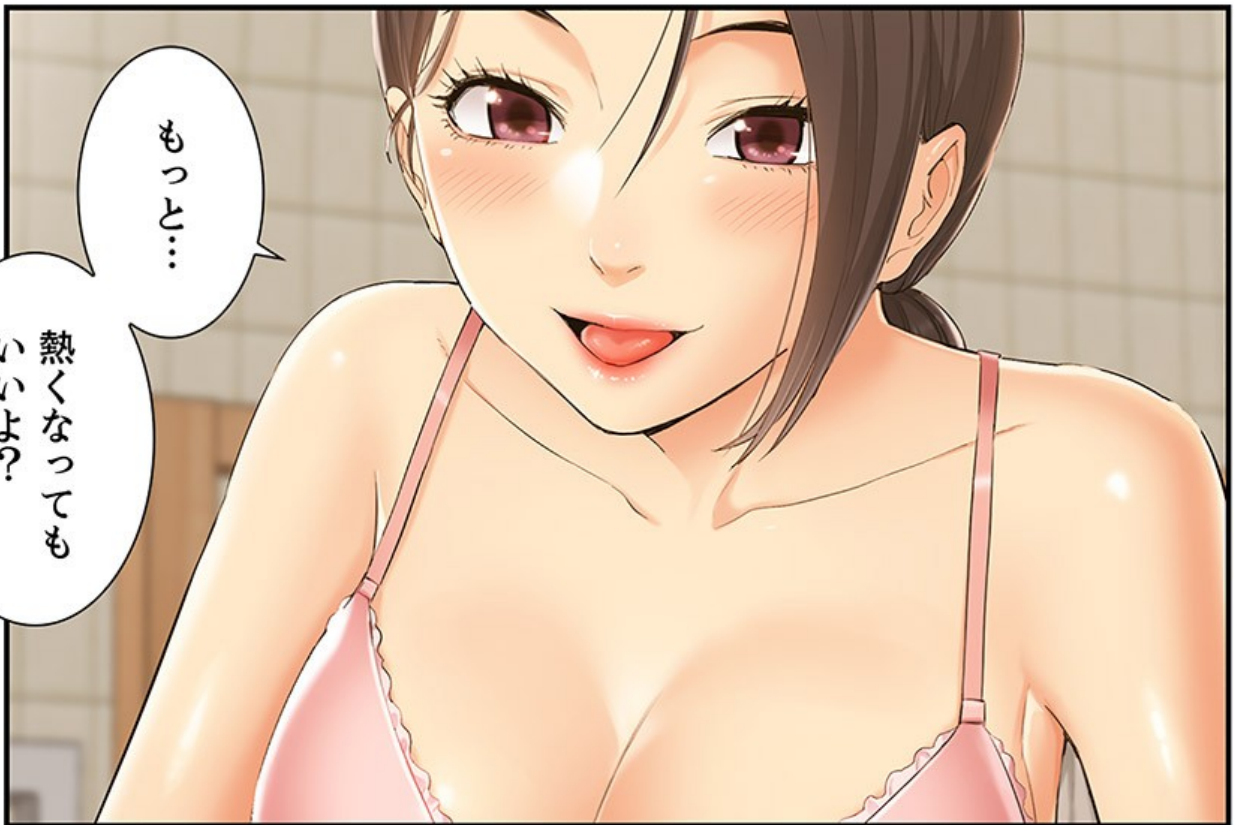


暑苦しいだろ？

暑い？
全然じゃん

私は…

むにっ

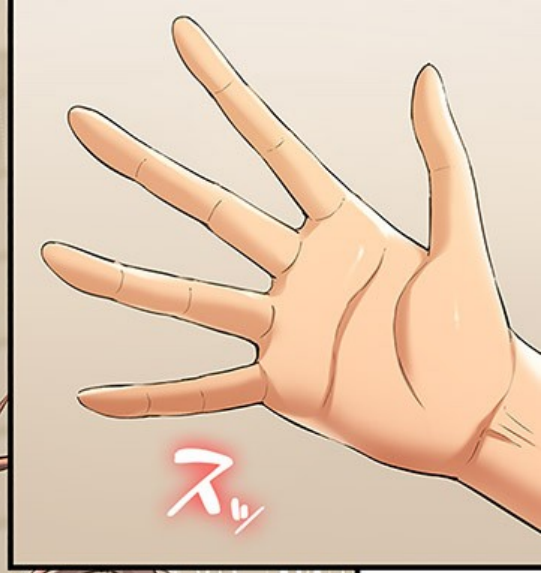


もっど…

熱くなっても
いいよ？



ゴクッ



きゃっ!?

スッ
スッ
スッ
スッ
スッ



私もう子供
じゃないんだから



もく！
何よ…

変な事言うと
お仕置きするぞ？

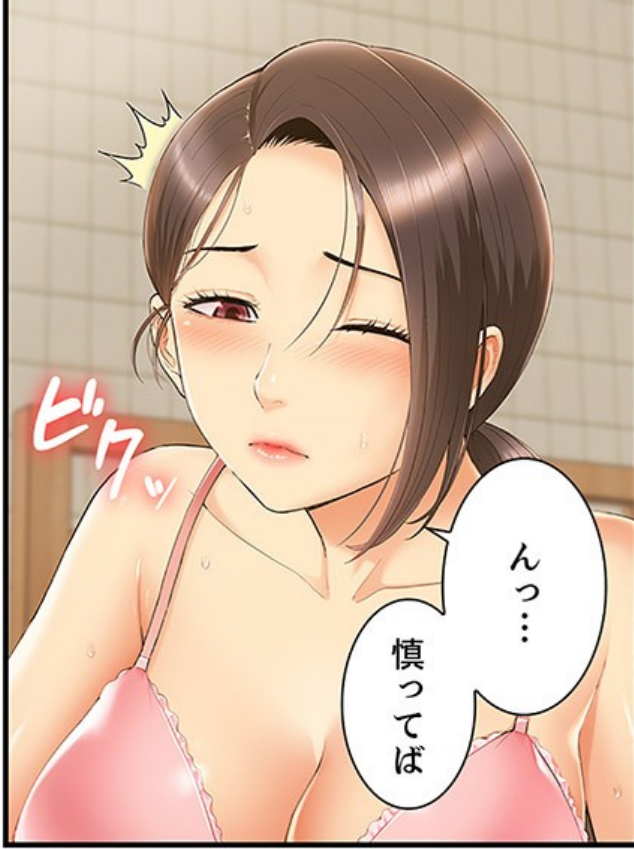


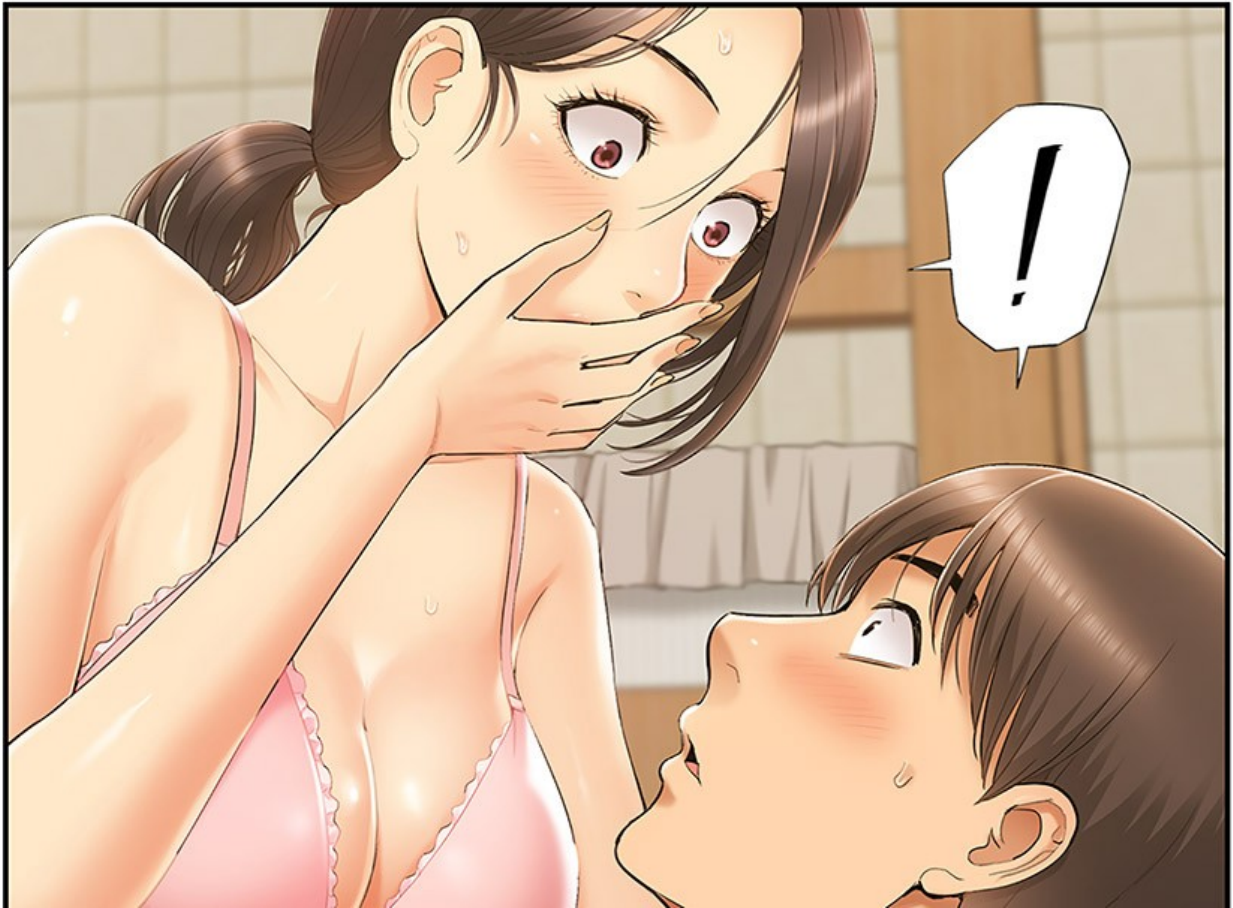
ごめんごめん



お尻は
もう少し上…

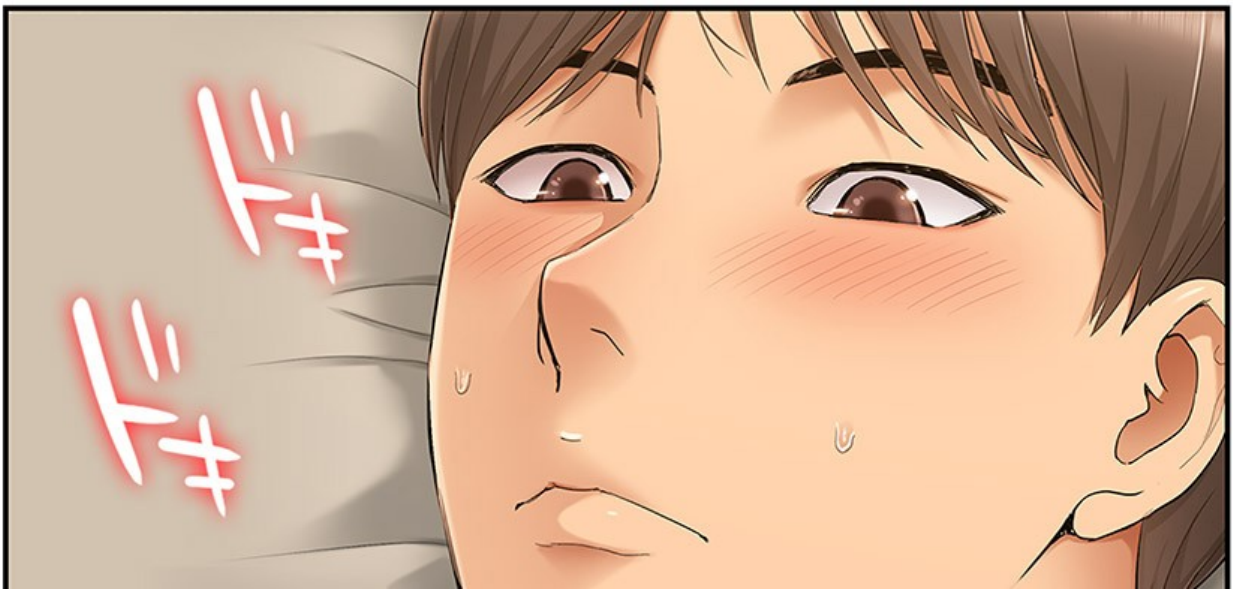
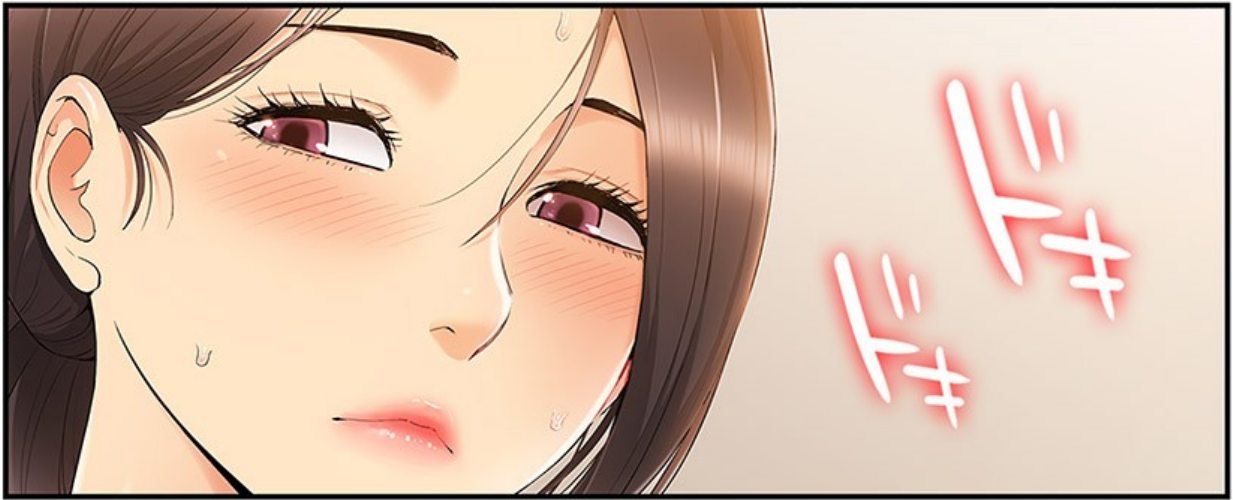
それにそこは
お尻じゃないよ



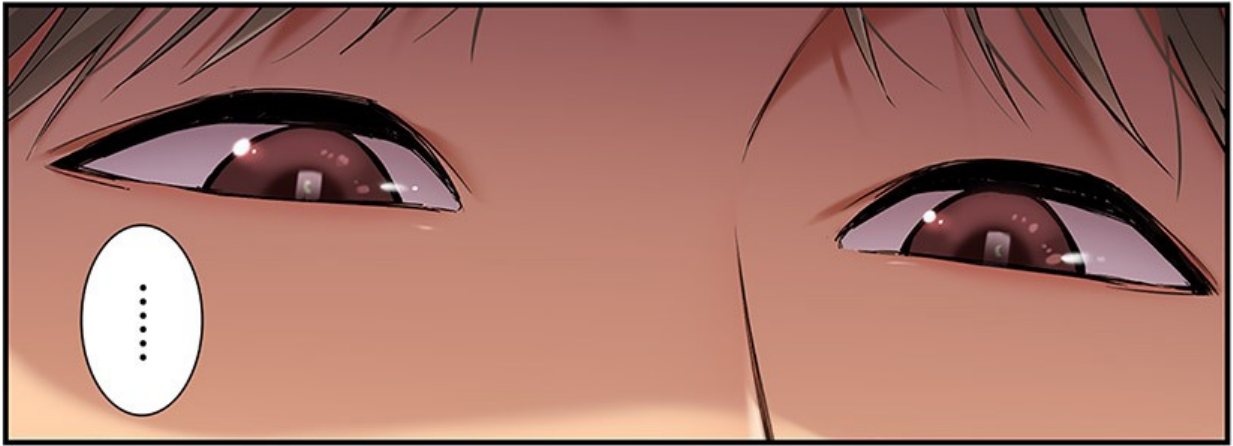




大丈夫…

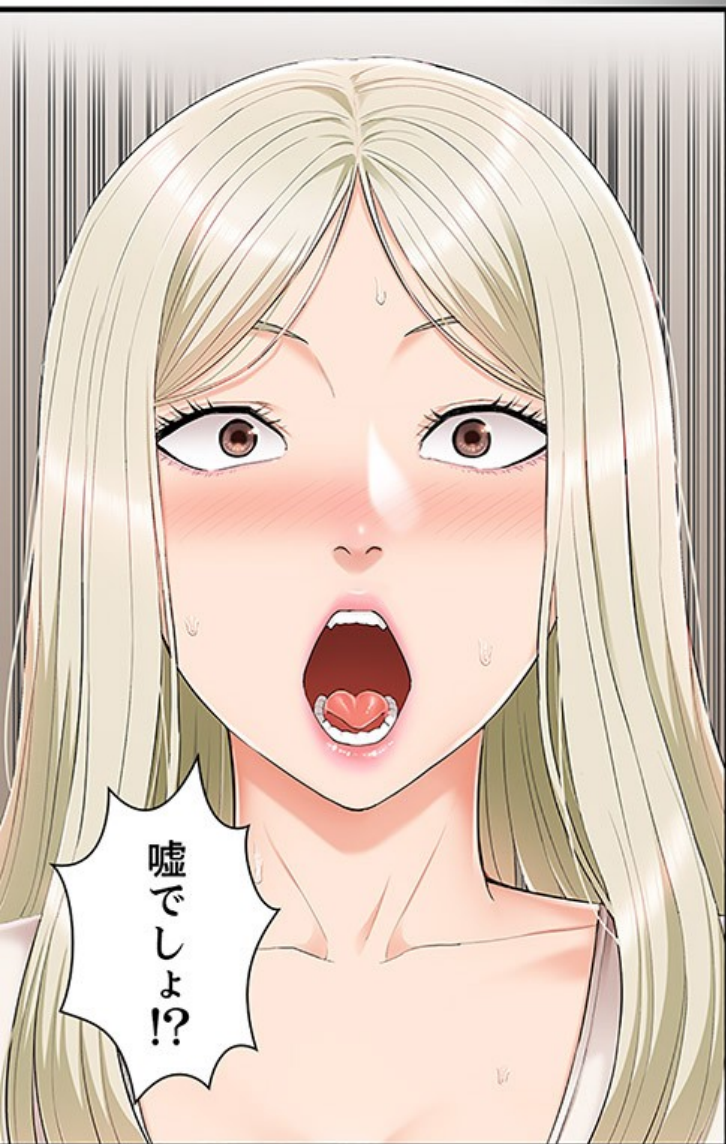
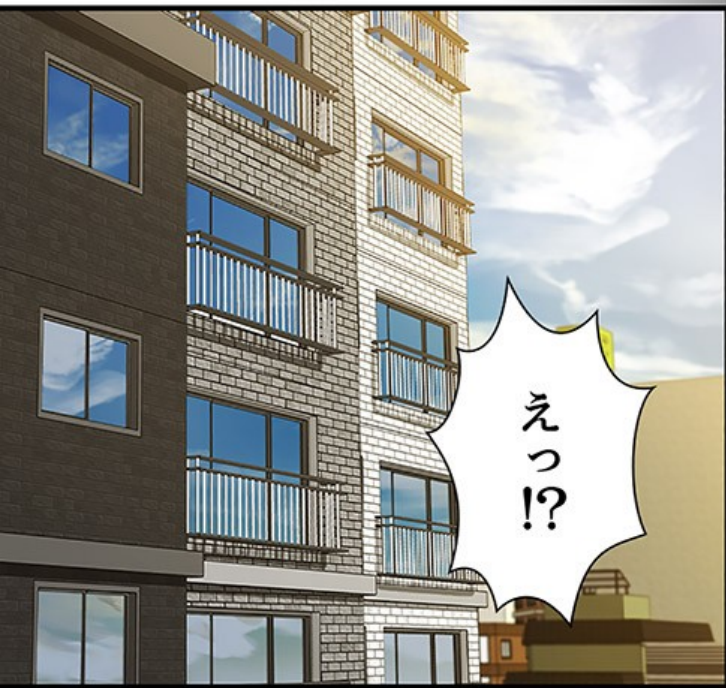








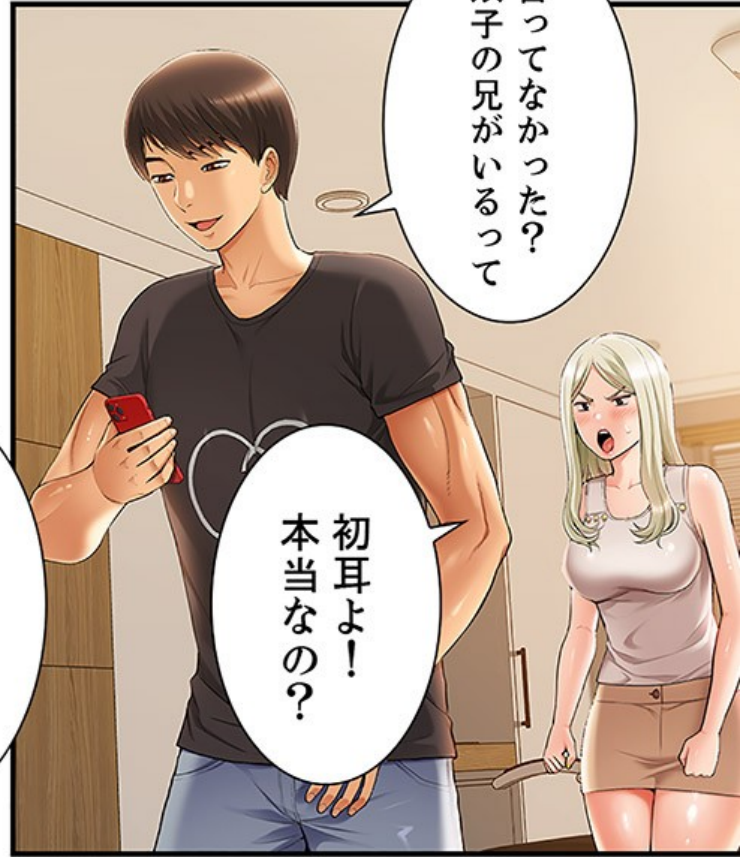






そっくり…

本当だよ
ほら兄さんと
一緒に撮った写真



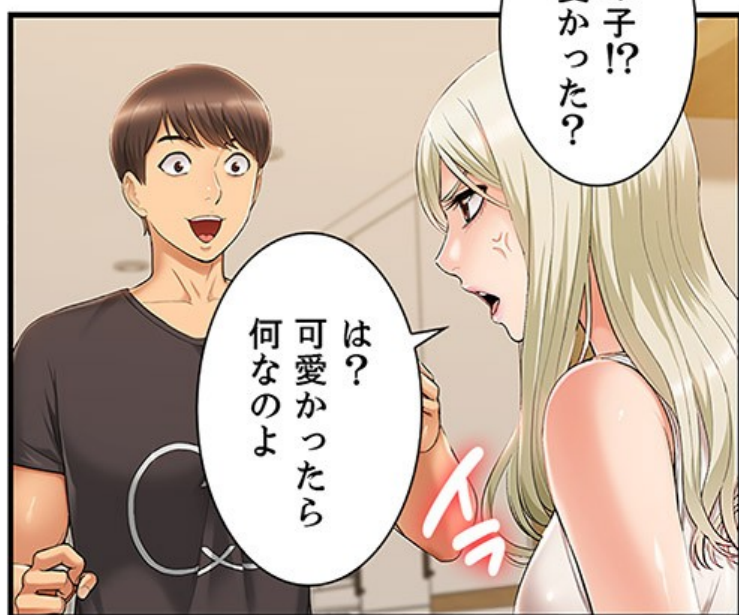
言っ
てな
かっ
た?
双
子
の
兄
が
い
る
っ
て

初
耳
よ!
本
当
な
の?
?



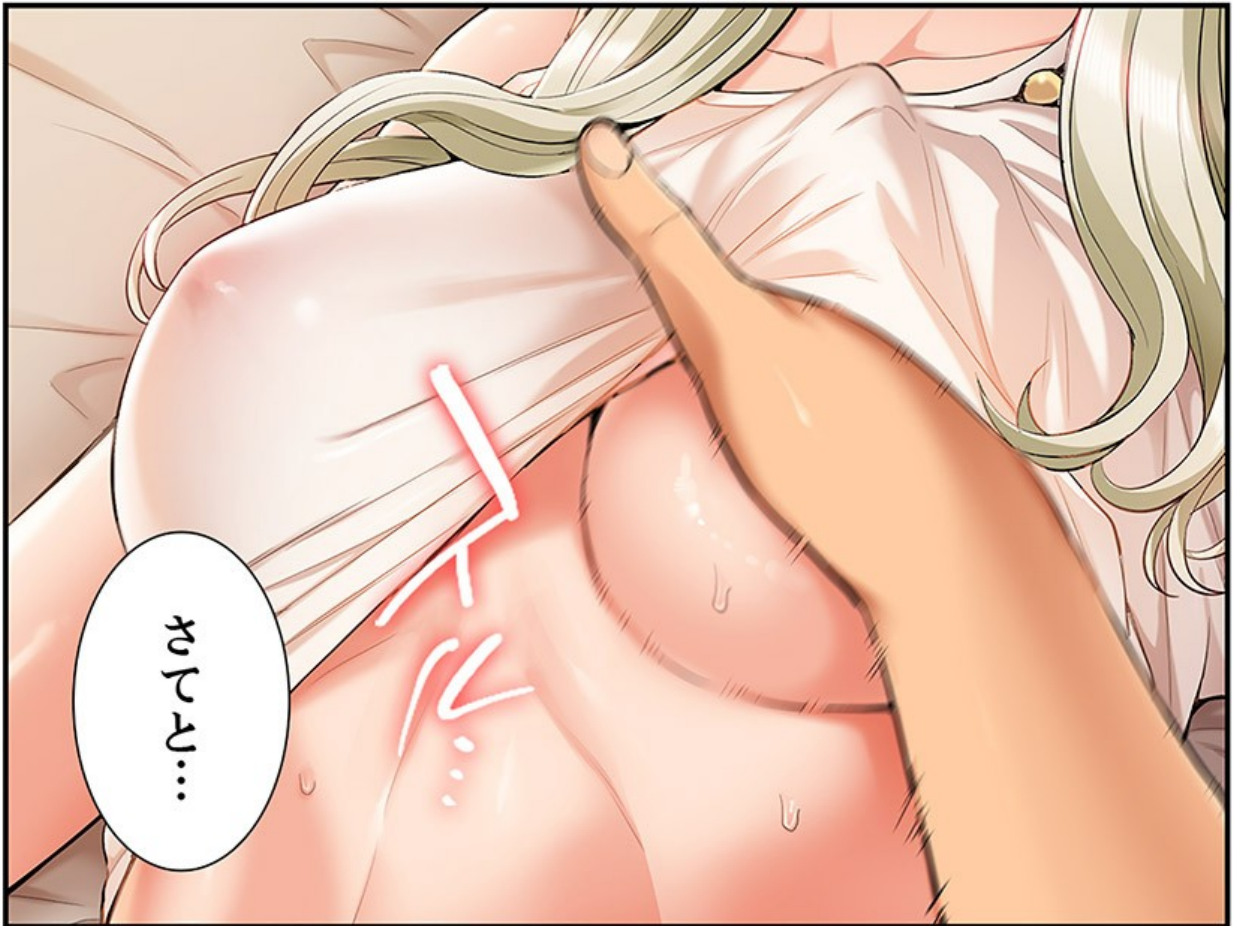
じ
ゃ
あ
私
:
人
違
い
で
あ
ん
な
事
し
ち
や
っ
た
の
?
?

兄
さ
ん
に
何
し
た
の
さ
:
:



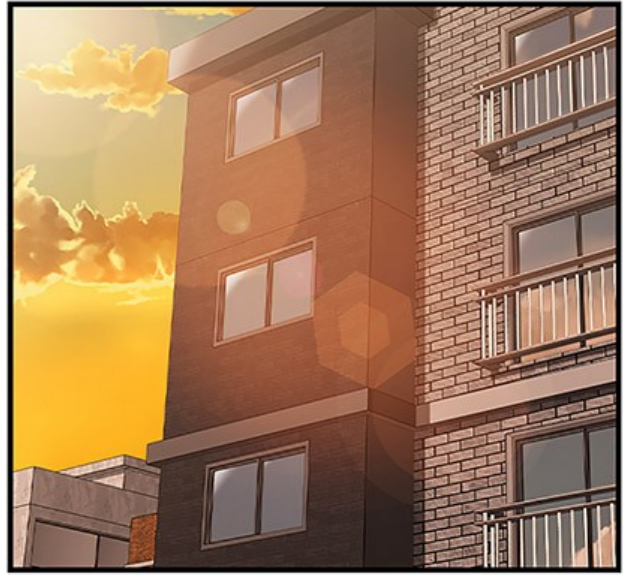


あっ!



俺がどれだけ
綾乃を愛してるか

教えてあげる

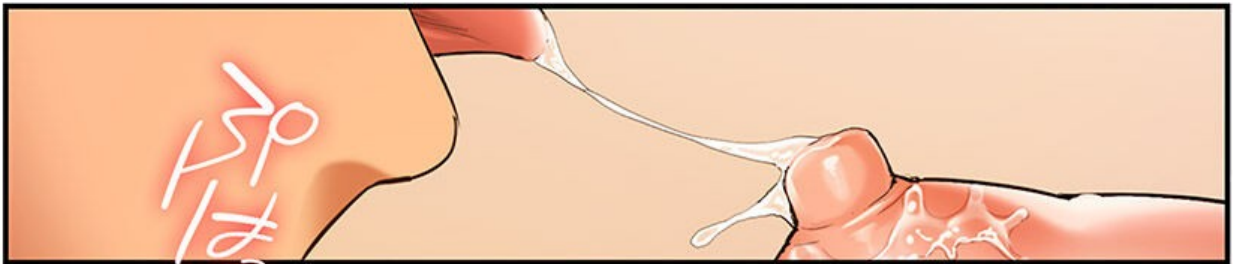




そんなに
引っ張ったら…!



あつ
痛い…



嫌がられると
もつとやりたく
なっちゃうんだよな

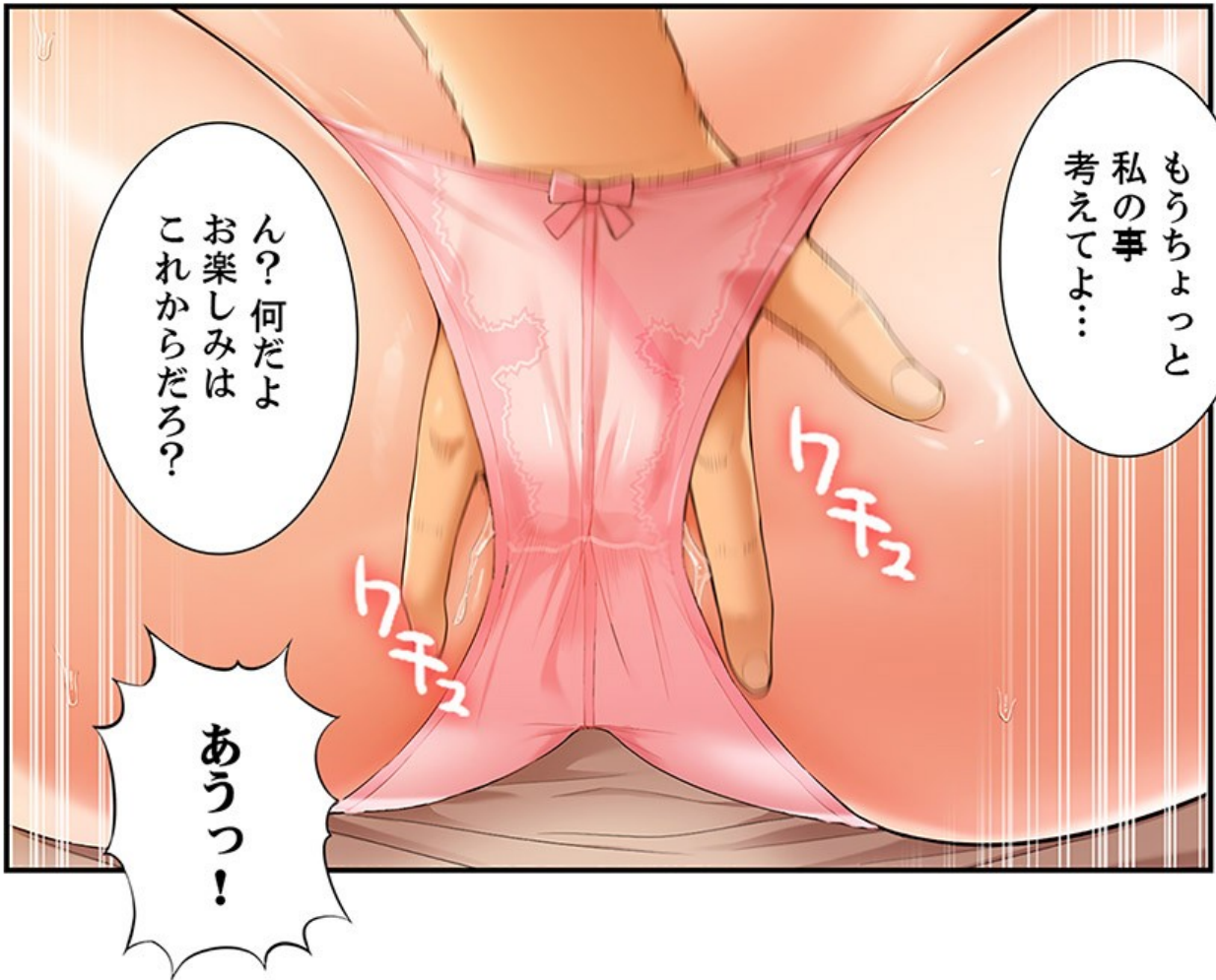
んっ…



あっ…違…



本当は気持ちいいのに
嫌って言うてるんだろ？



もうちよっと
私の事
考えてよ…

ん？何だよ
お楽しみは
これからだろ？

あうっ！



駄目…！

染みになっちゃう！

カチカチ

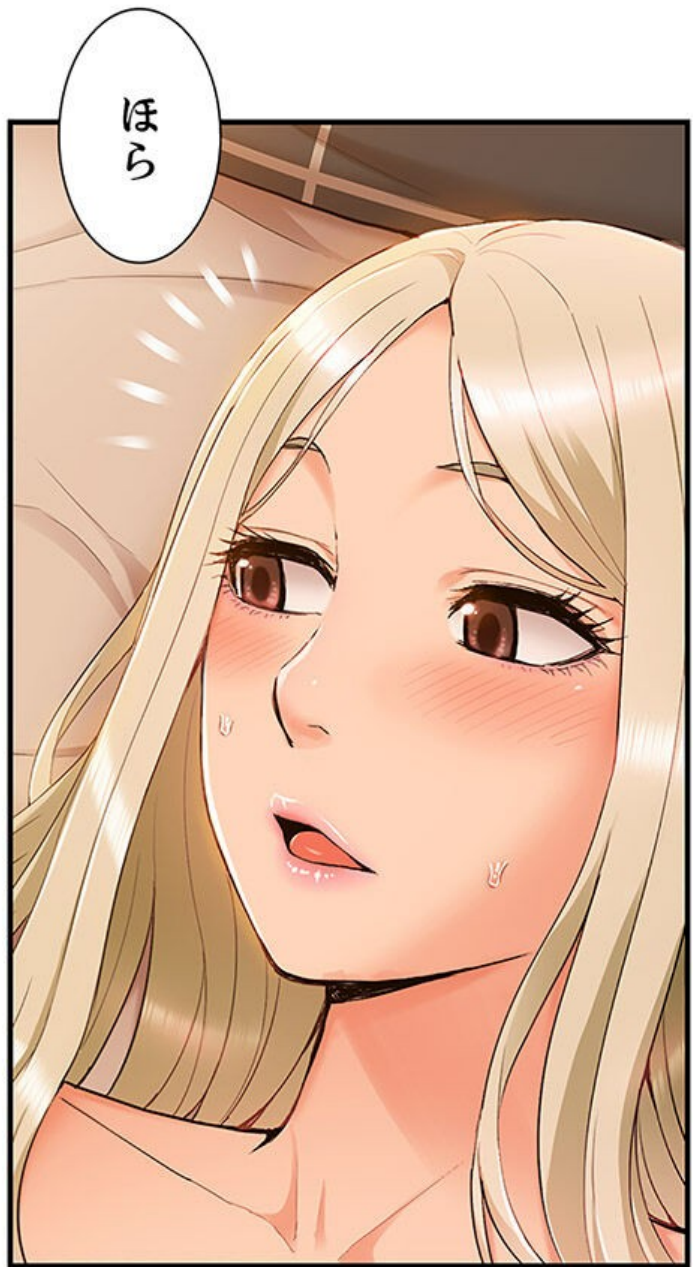
カチカチ





俺にも
してくれる？

口で...



ほら



忘れちゃった？

私：そりうの
嫌だって
言ったでしょ？





挿れただけで
泣くし…

ああんっ！

はうっ



綾乃は口より
こっちに挿れるのが
好きなんだな

はうっ！

あっ…



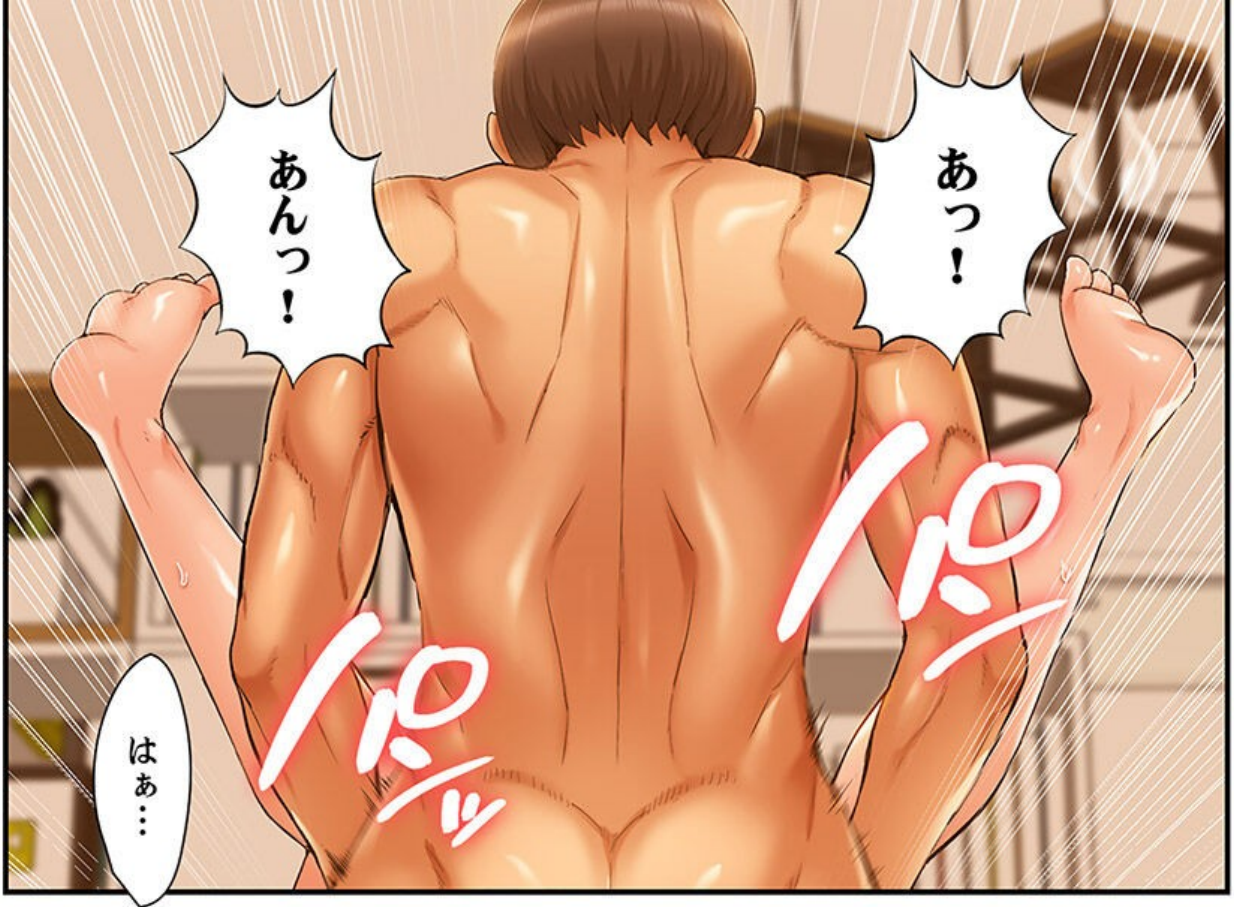
それじゃ

はうっ

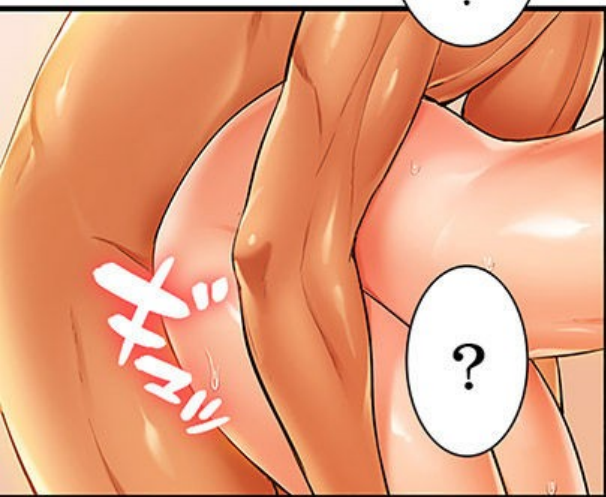
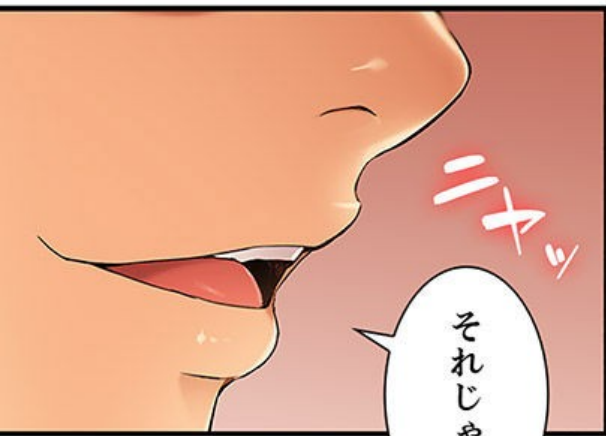
ああっ！

次から挿れるのは
おあずけにしようか？











ほら...!

きゃあっ!?

いあっ



!?

クルッ

もっと
気持ち良くして
あげるよ





何って…
楽しい事だよ

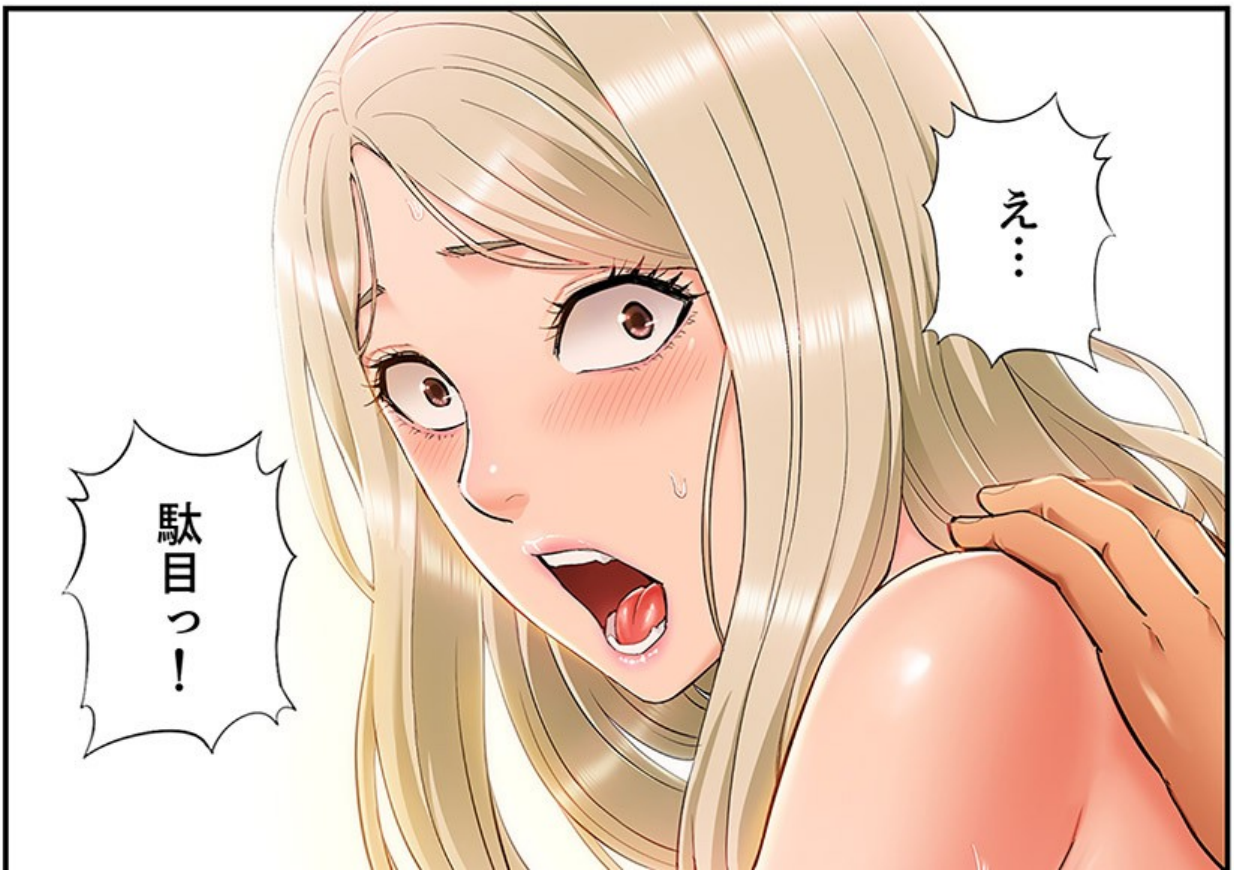


待って！

何するの!?

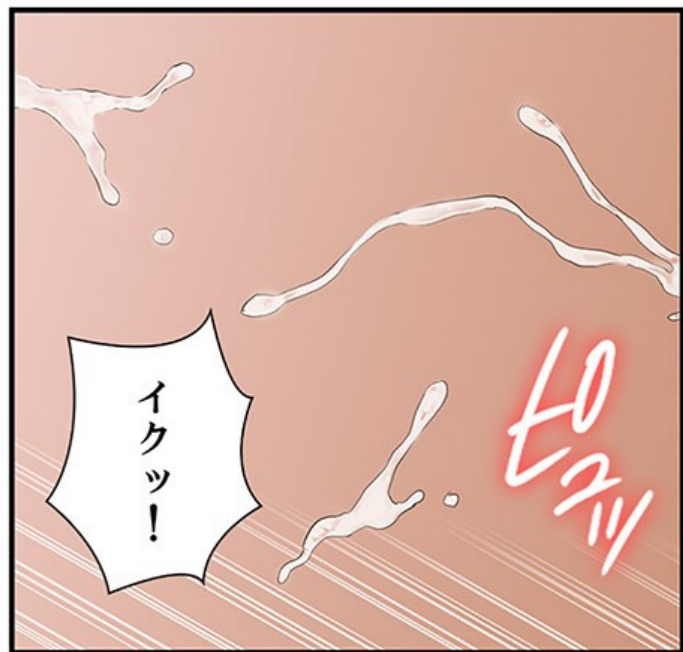


ひゃあー！

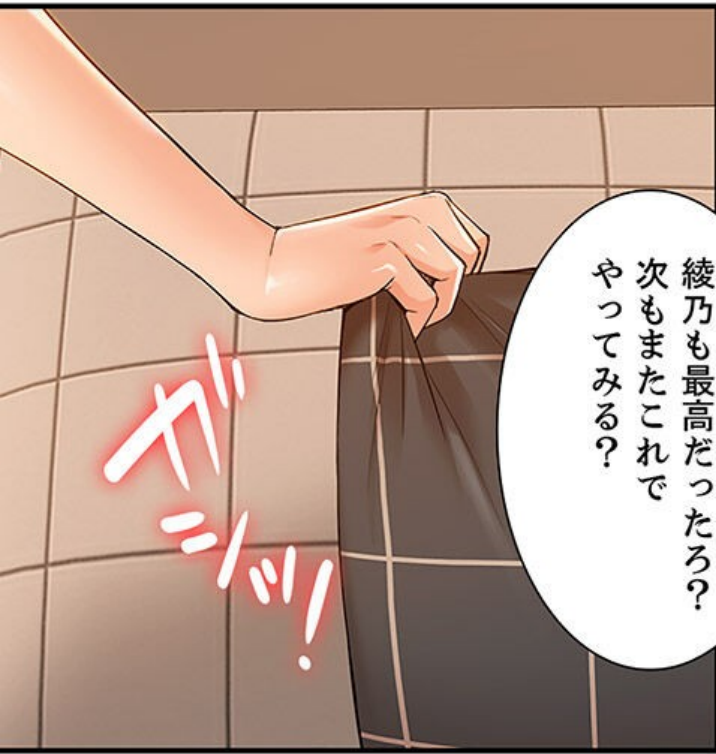






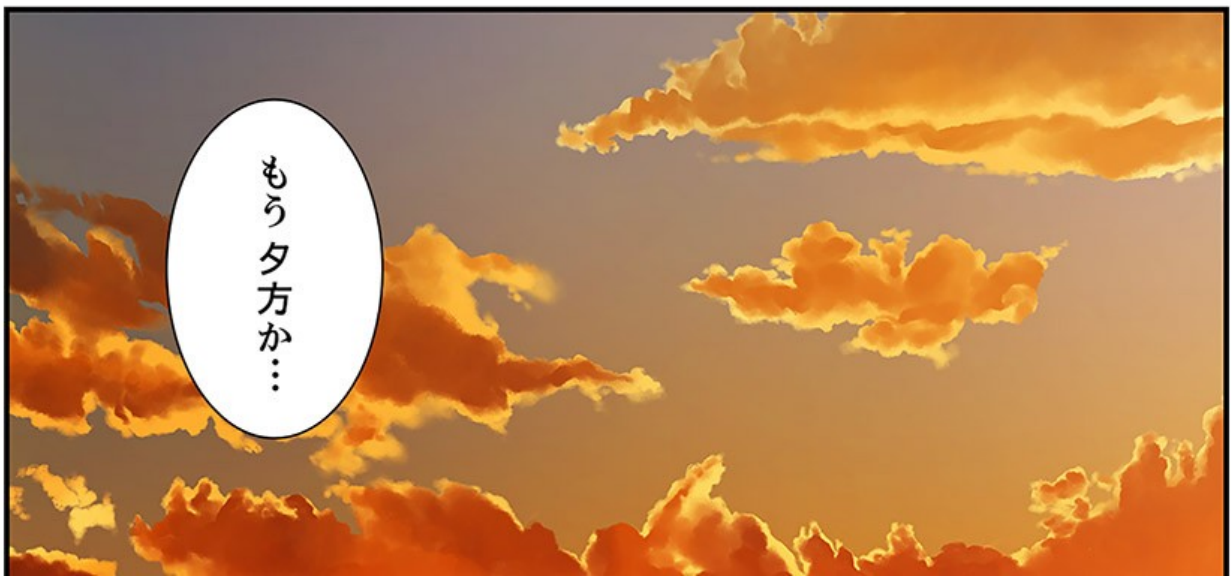
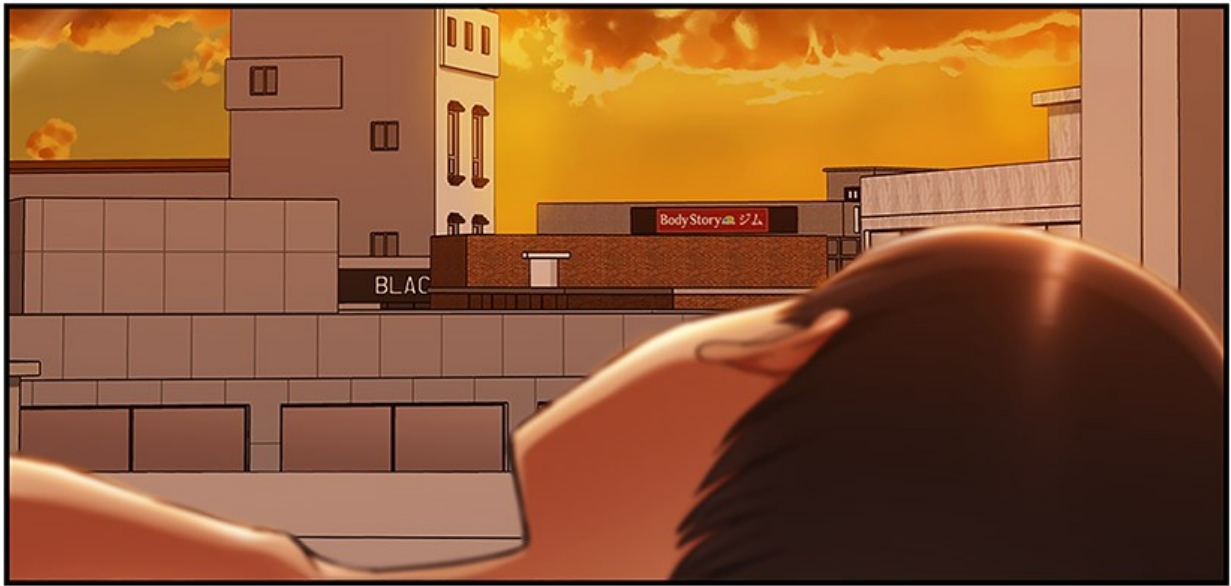






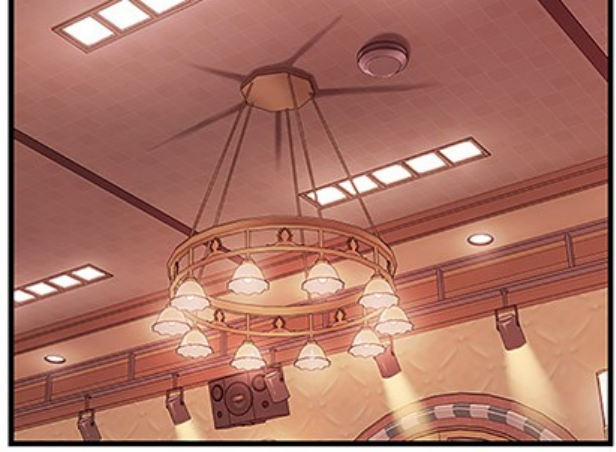
綾乃も最高だったろ？
次もまたこれで
やってみる？













今更何で
呼び出した？



よくそんな事
言えるな…

かなみ
香奈美



あなたに
会いたくなったの

言ったでしょ？

スッ



あの人は
別れたの

あの人は会社も
辞めたし：
もう会わないわ



自慢の彼氏は？
どうして俺なんか
会いたくなつたんだよ



そいつと別れたから
俺とまた
付き合おうとでも？



……
だから？







覚えてる？

...



大学の時の事...

あの頃はお互いに
夢中だったよね



あつ!

はあ



まだ…課題
終わってないよ?

あつ!
早く…やらなきゃ



あつ

はうっ

夏には
汗だくになって



あつ
優しく…!

何度も求めあつて



はあ…

はあ…



どんなに暑くても
ずっとくっついて
離れなかった

は...あつ



そろ...





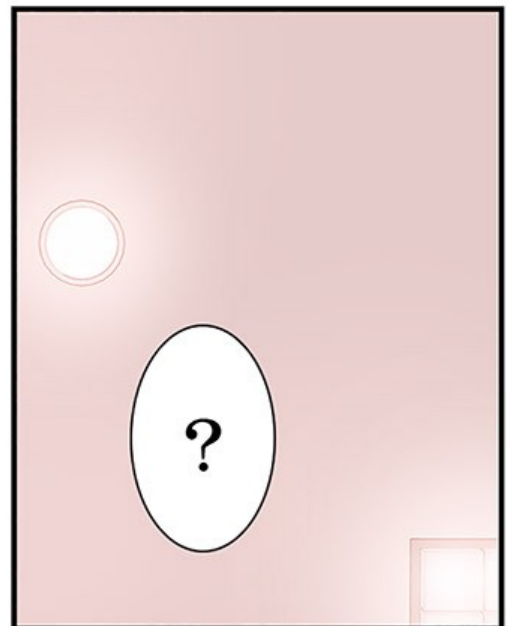
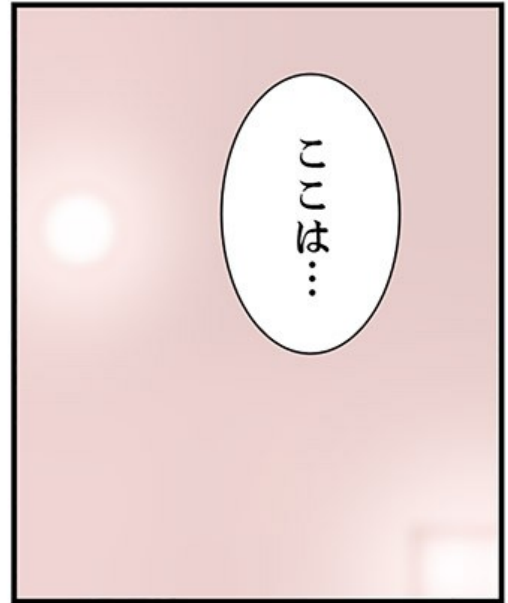


今日で
終わりだ



もう二度と

会うつもりはない





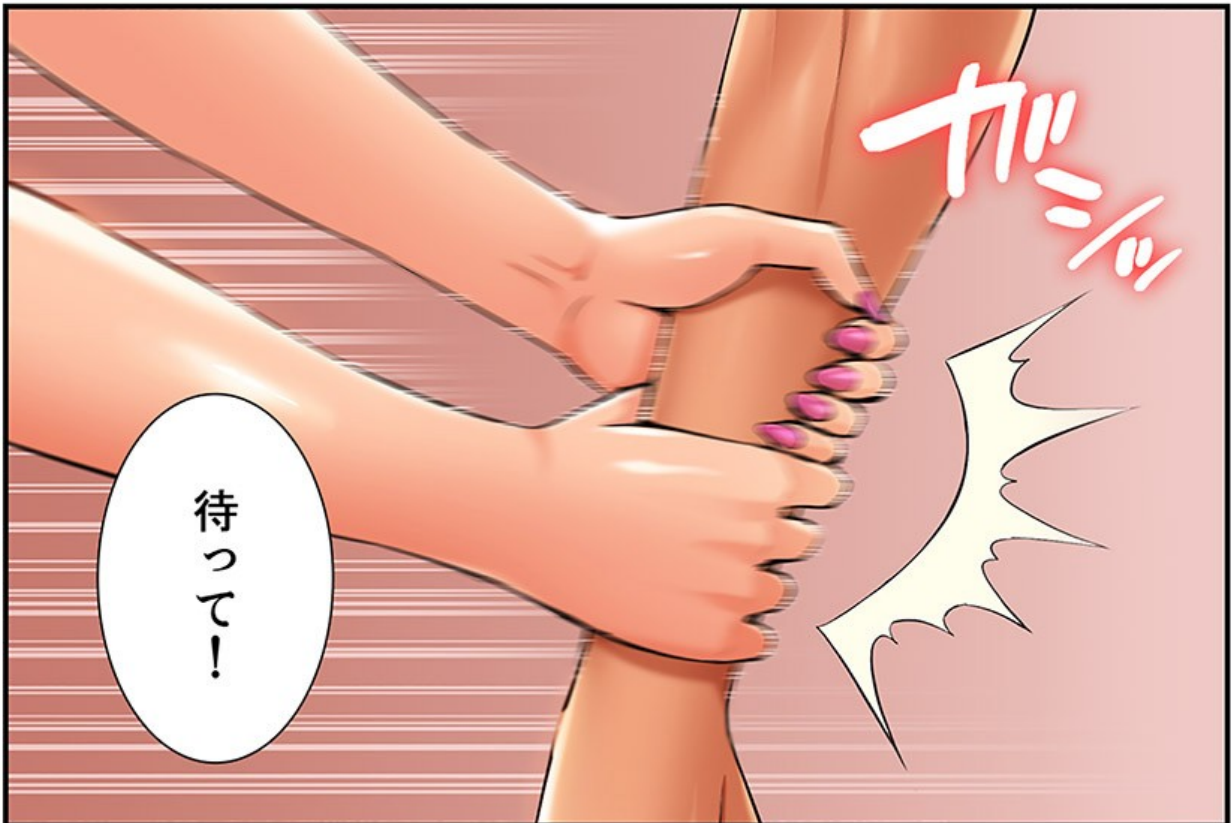


おかげで汗かいたから
シャワー浴びたところ



服…着ろって

別にいいじゃない
お互い何度も
見たんだし





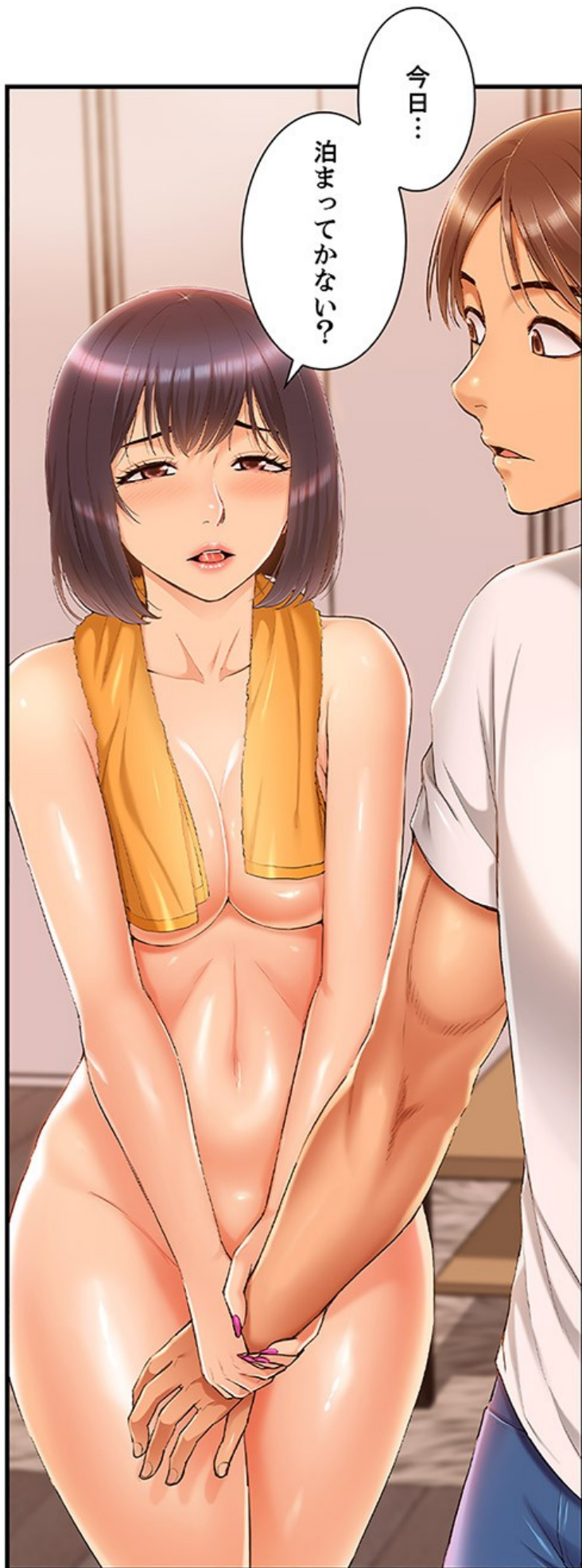
本当に
久しぶりなのに

このまま
さよならは嫌



電話で
会いたって
言った時…

罵られても
仕方ないって
思ってた



今日…

泊まってるかない？



香奈美の言う通り
なのかもしれない

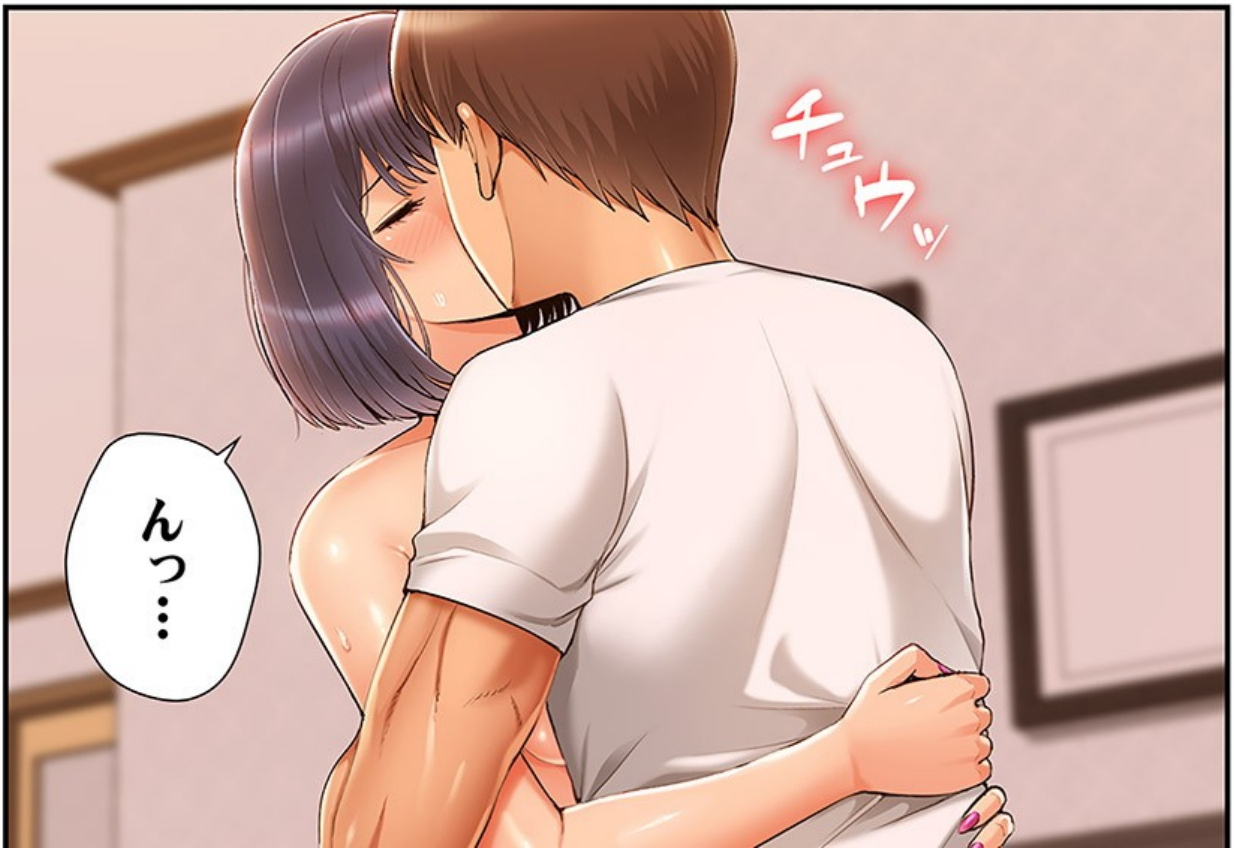
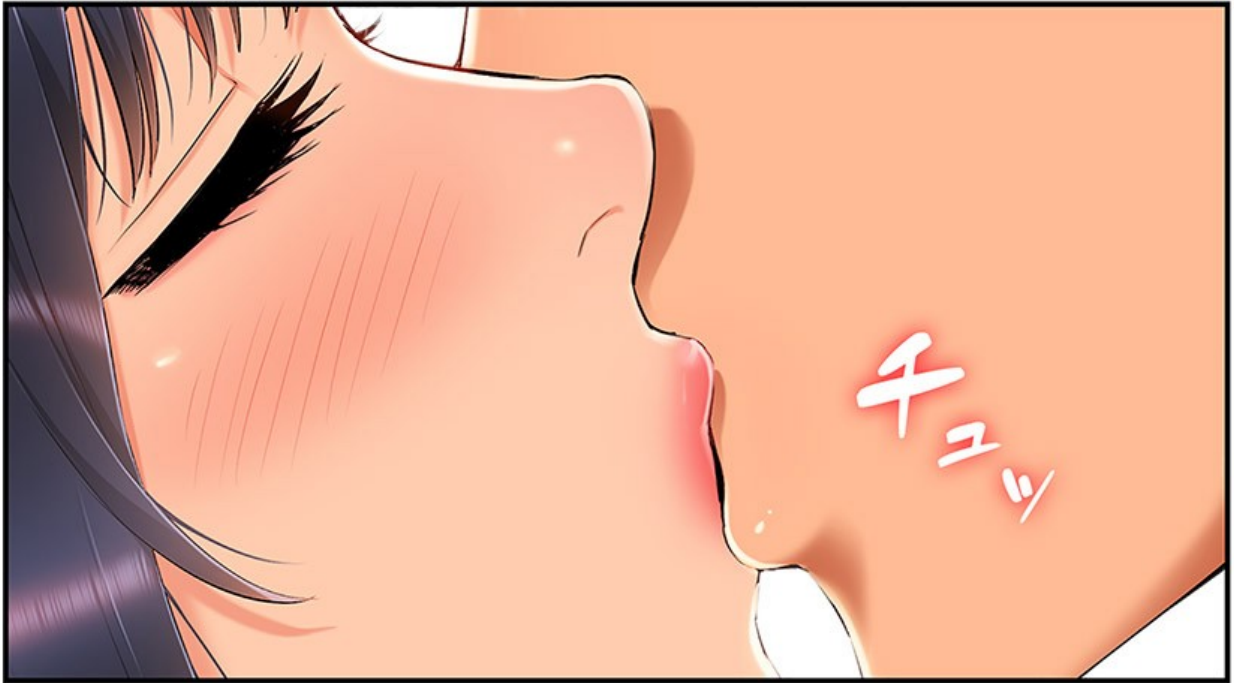
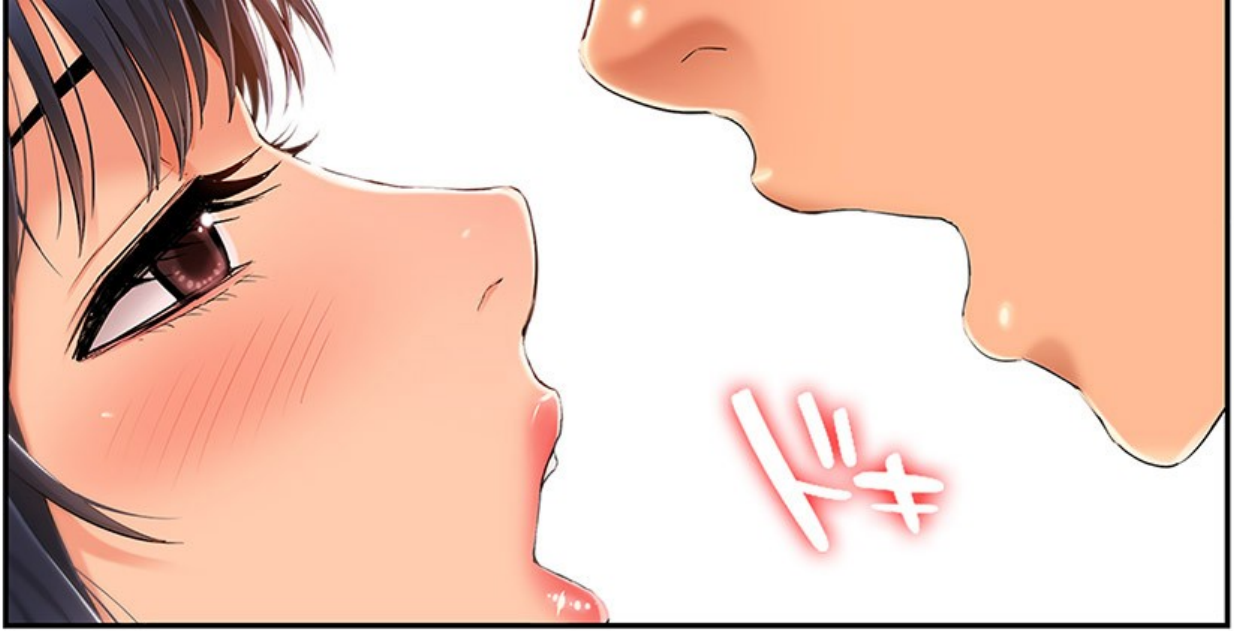
香奈美の事をまだ
完全には許せないけど
会いたい気持ち
があったのは確かだ

でも…











今だけは

恋人同士だった
時みたいにな...



あつ...

何も考えられない

酔ってるのか...?



もっと
して...



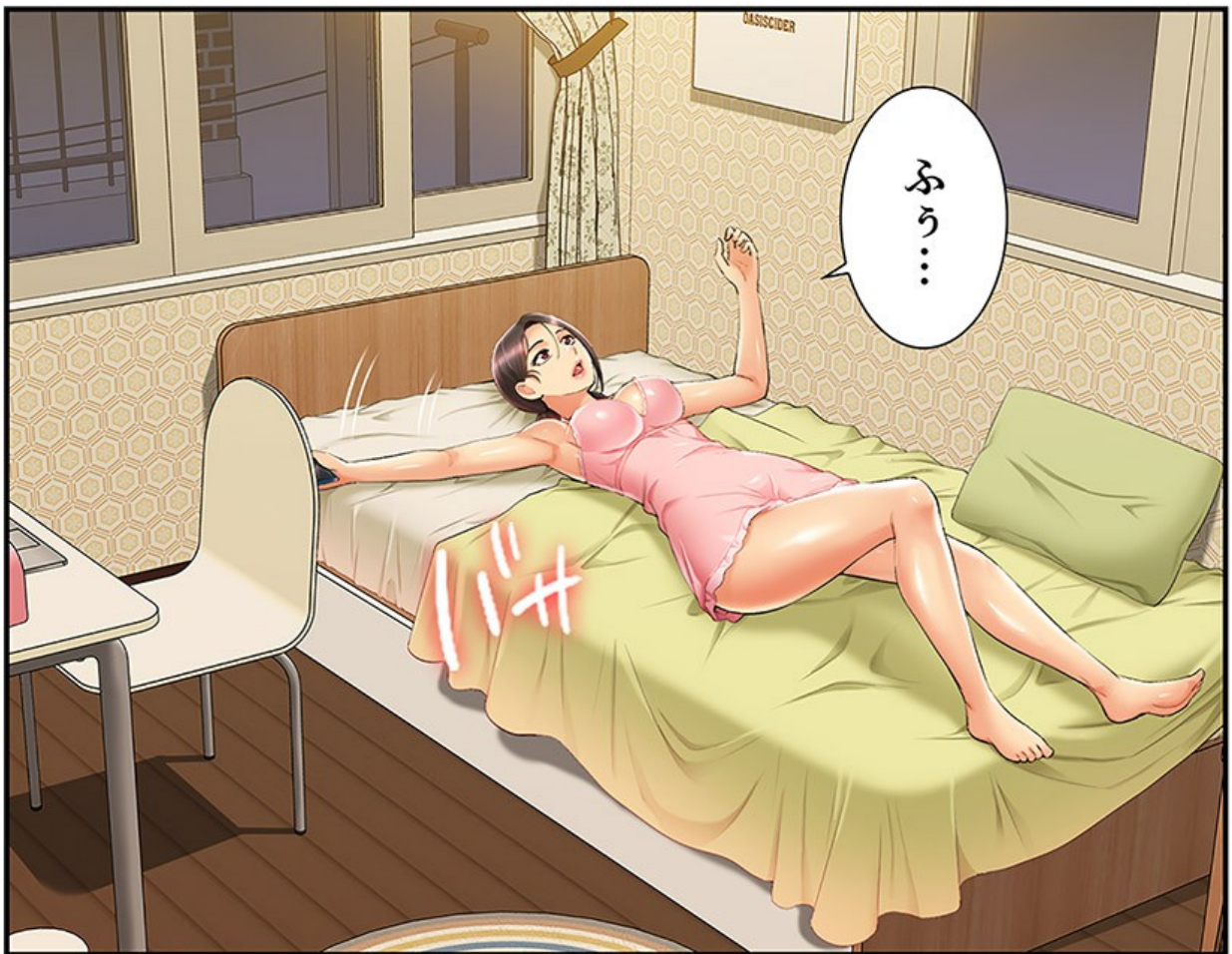
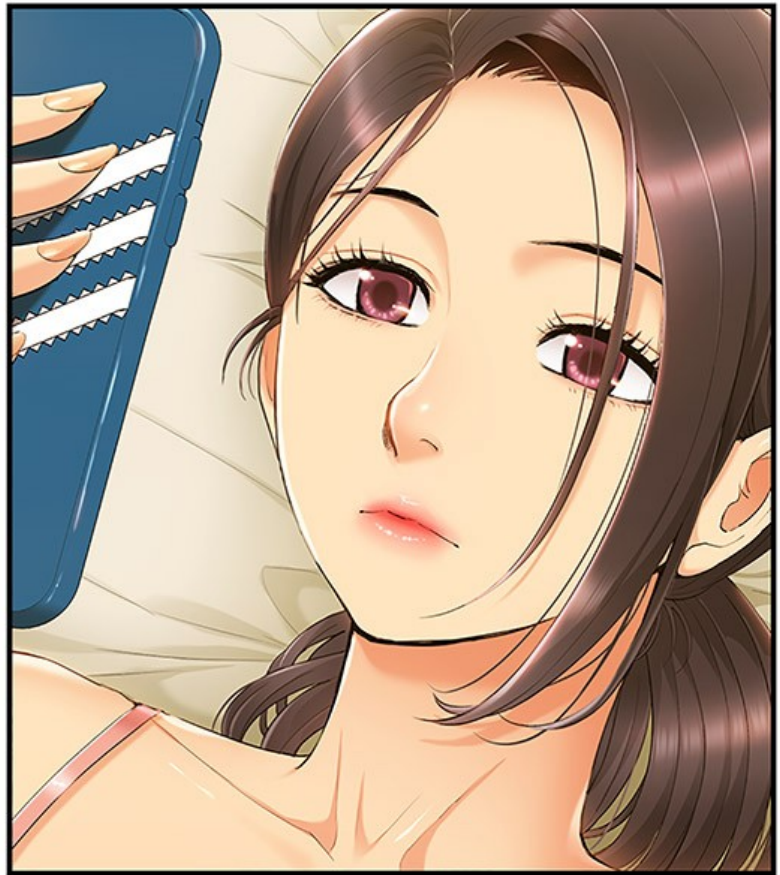
もっと...!

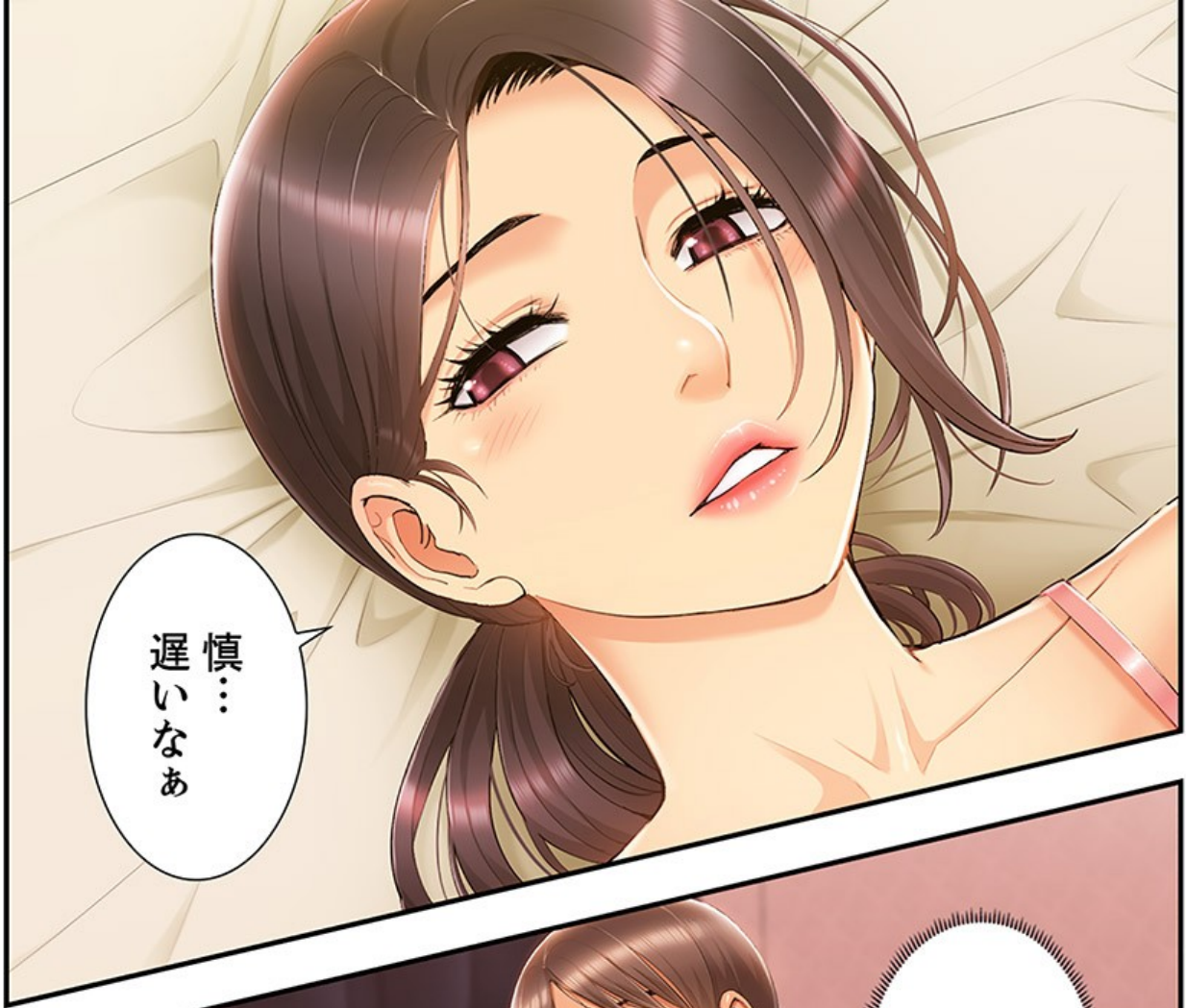


はあ...

あ...んっ

ふふふの...



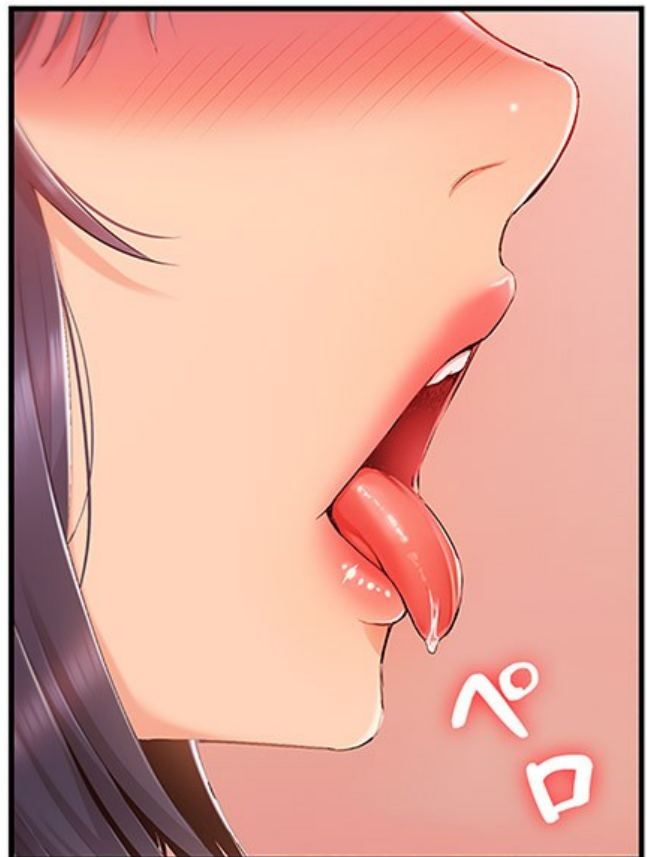


慎…
遅いなあ



今頃

何処で
何してるんだろ？





はぁ…慎…

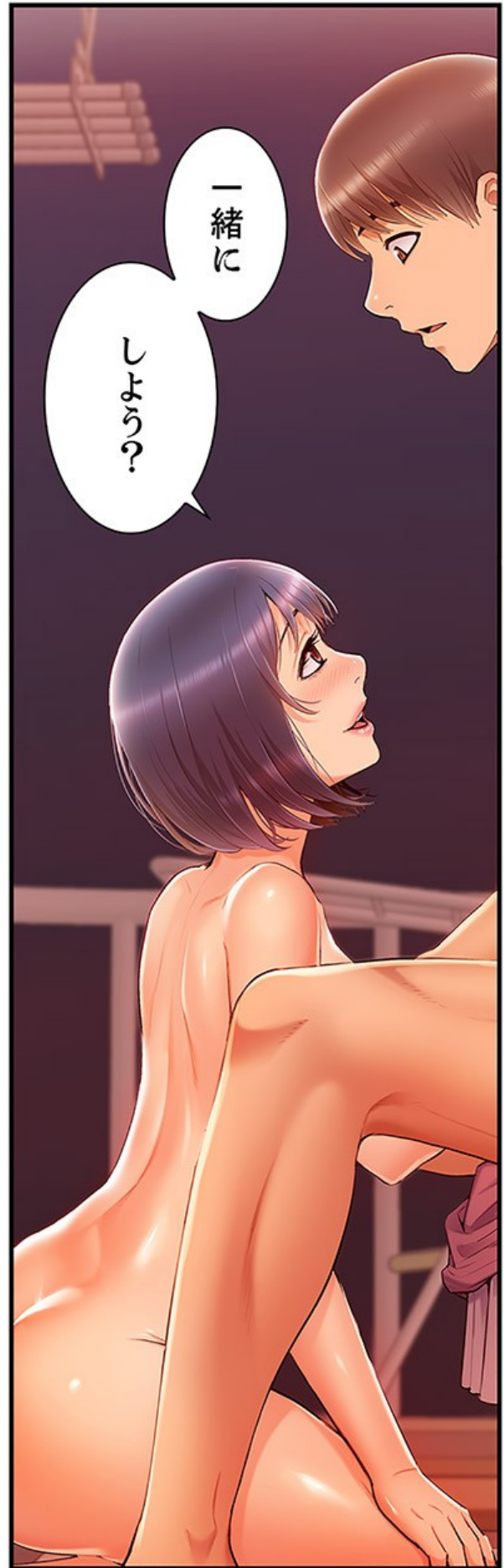
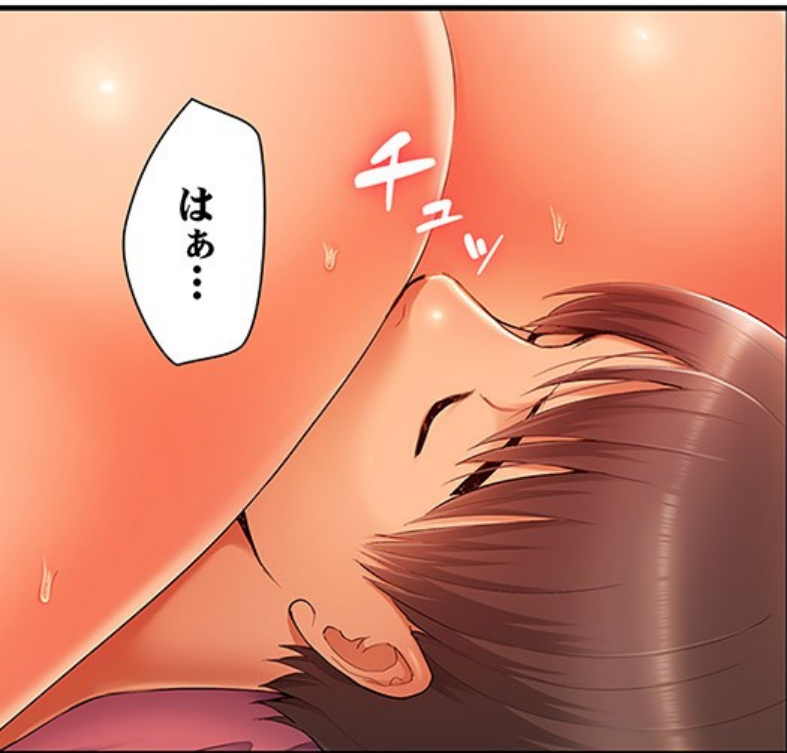


香奈美はいつも丁寧に
口でしてくれたな…



相変わらず
大きいね

んん…







はうっ…

ああんっ!



う…んっ



全部覚えてる

香奈美は指で
ここを攻めてから

110
111



い
し

い
し

あうっ！

駄目っ！
そんなに…



いきなり
挿れるのが好きだ

はあっ！

ど
ろ



あっ！

あんっ！

い
し

い
し

それから…



はあッ

グッ



俺の下に組み敷いて

うう...



両腕を持って
上半身を持ち上げる

あッ...

グッ
グッ



ああんっ!

一段と大きな
声をあげる

あああつ……!



あんっ!

はっっっ!



そのまま後ろから
激しく突けば……

はあああつ!!



はうっ…

俺に会いたかった
本当の理由を…

あっ…

俺の身体が
恋しかつたんだろ？



香奈美

あっ！

あうっ

正直に
言えよ



そ…
そ…
そ…

ずっと慎と
シたかった…！



他のどの男より

慎とエッチするのが
何倍も気持ちいいの！

ハッ

ハッ











は…う

うっ…!

もう少しで…



あん…

ズバツ

ズバツ

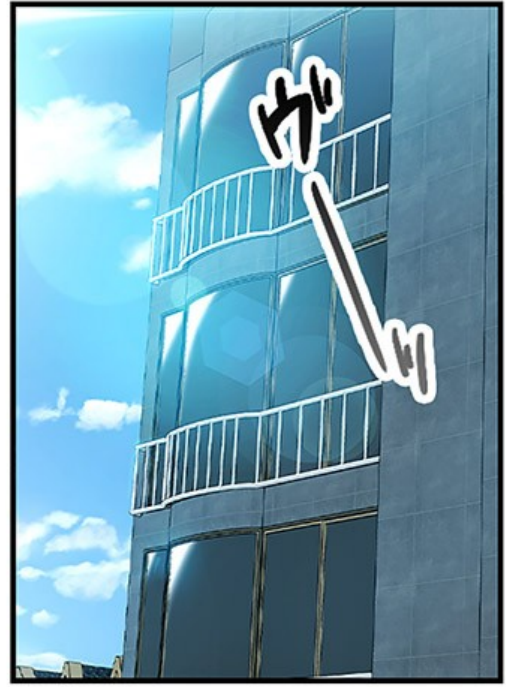
気持ち…良いっ



あ…ああんっ!



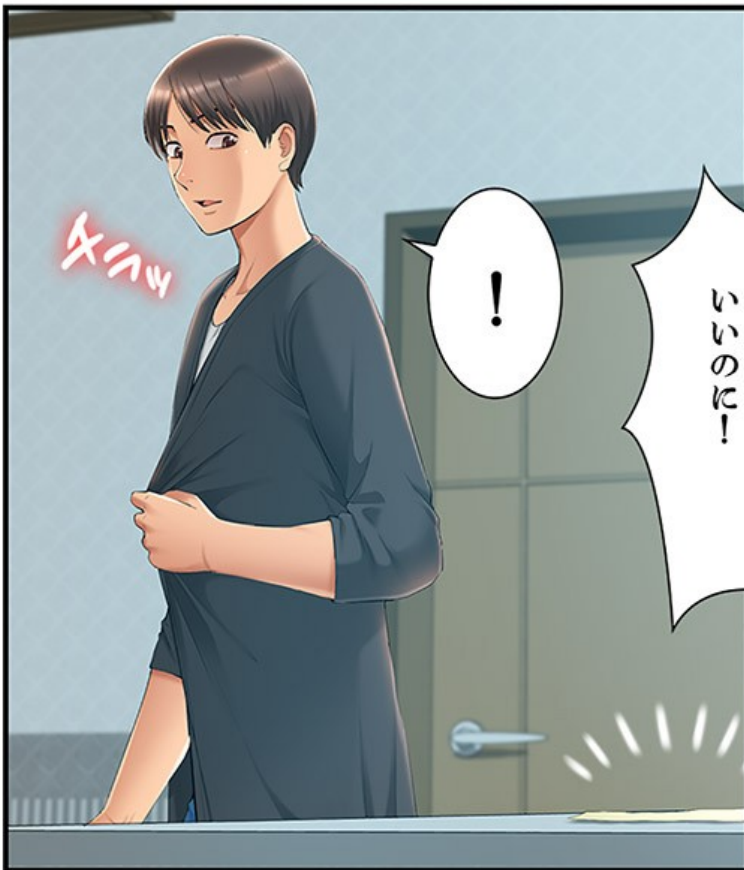








ク
ア
ア
ア
ア



ク
ア
ア
ア

!

香奈美は!?
起こしてくれれば
いいのに!



そうだよ今日は
月曜じゃないか!

ク
ア
ア
ア

早番だから
先に行くね！
昨日はありがとう
また連絡するね！

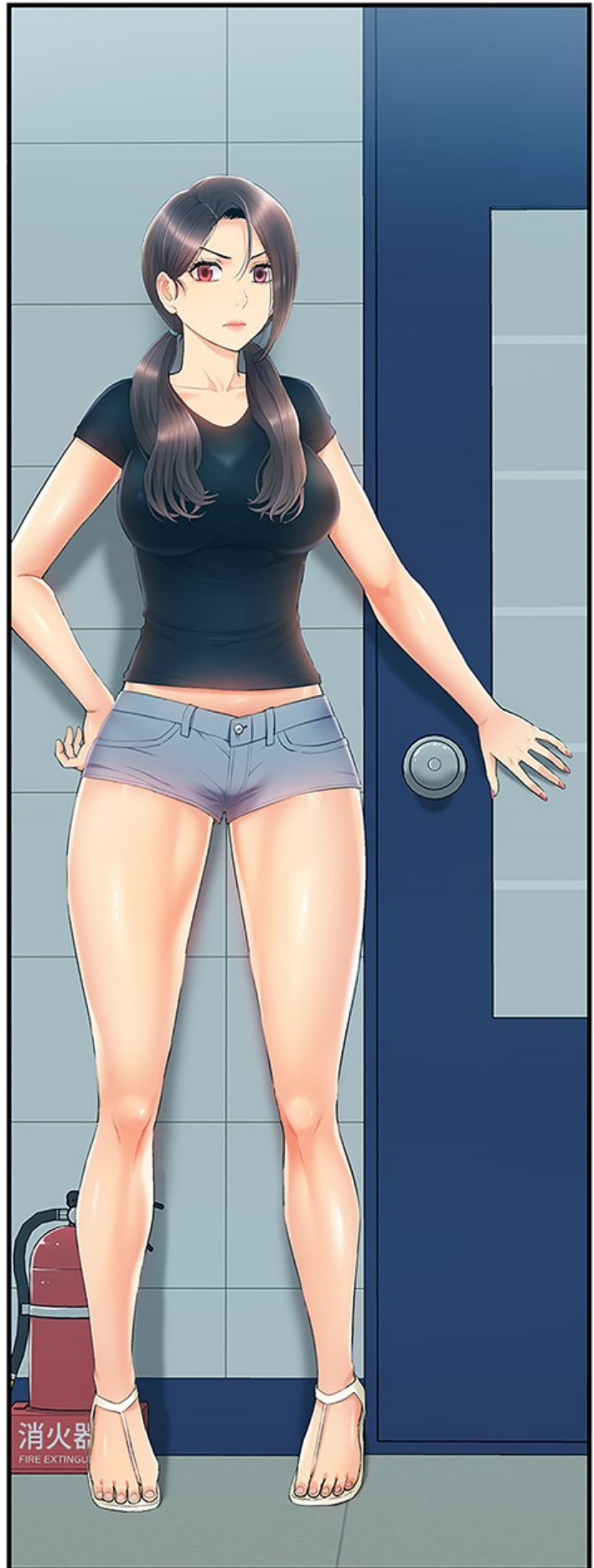
香奈美 ♡



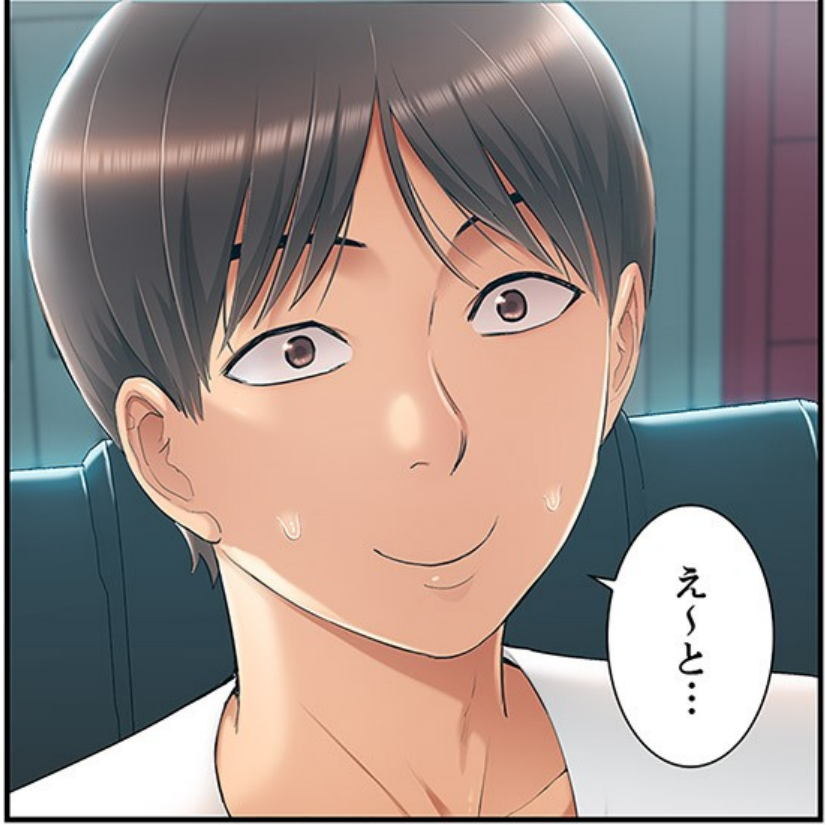
困ったな...

...





もしかして

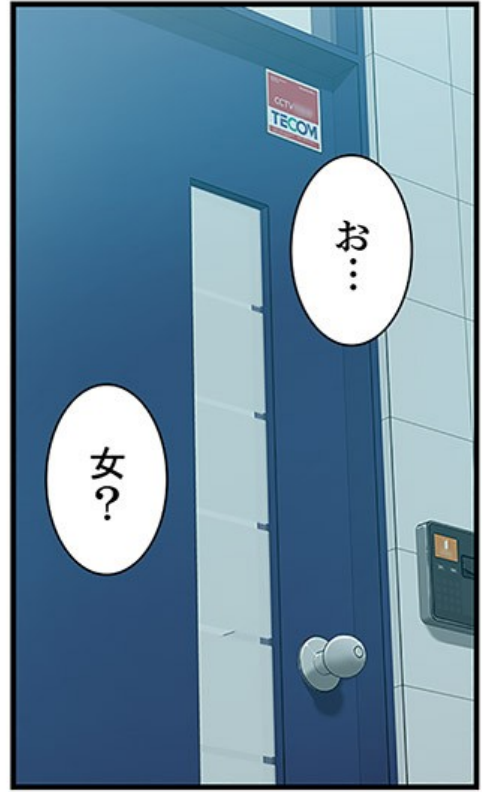


女と



昨日はその…
暫く会ってなかった
友達と飲みに行つて

なかなか話が
尽きなくてさ



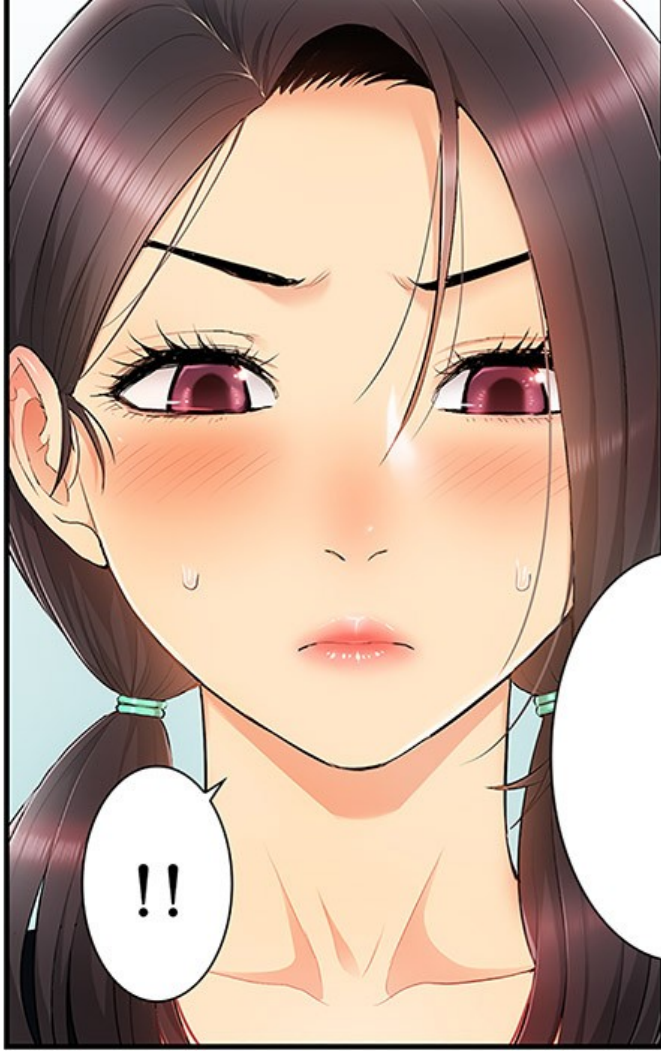
お…

女？



本当に？

電話してる時の感じじゃ
そんな風には
見えなかったけど…



!!



彼女でもないのに…

誰と何してたか
一々報告する
必要あるのか？

莉奈は
知らなくて
いいってば



あっ…

連絡ぐらい
出来るじゃん！

お母さんも
私も心配したんだよ！？



分かったよ
ごめんな

私もすつごく
心配したの!!



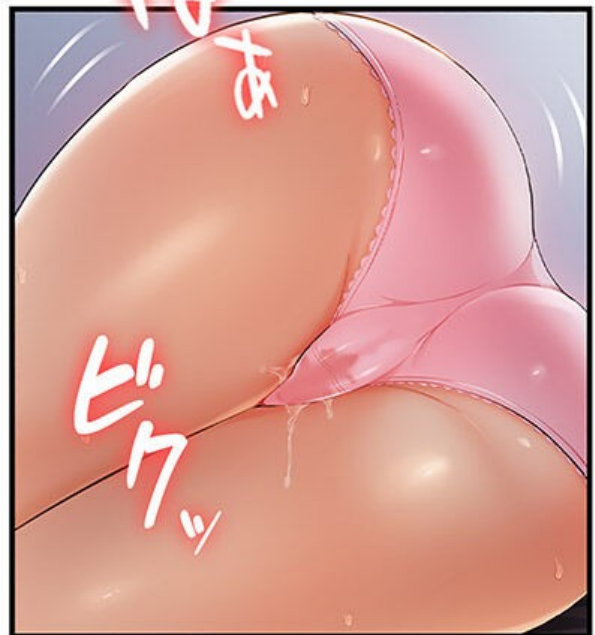
涼子さんにも
心配かけちゃったか…

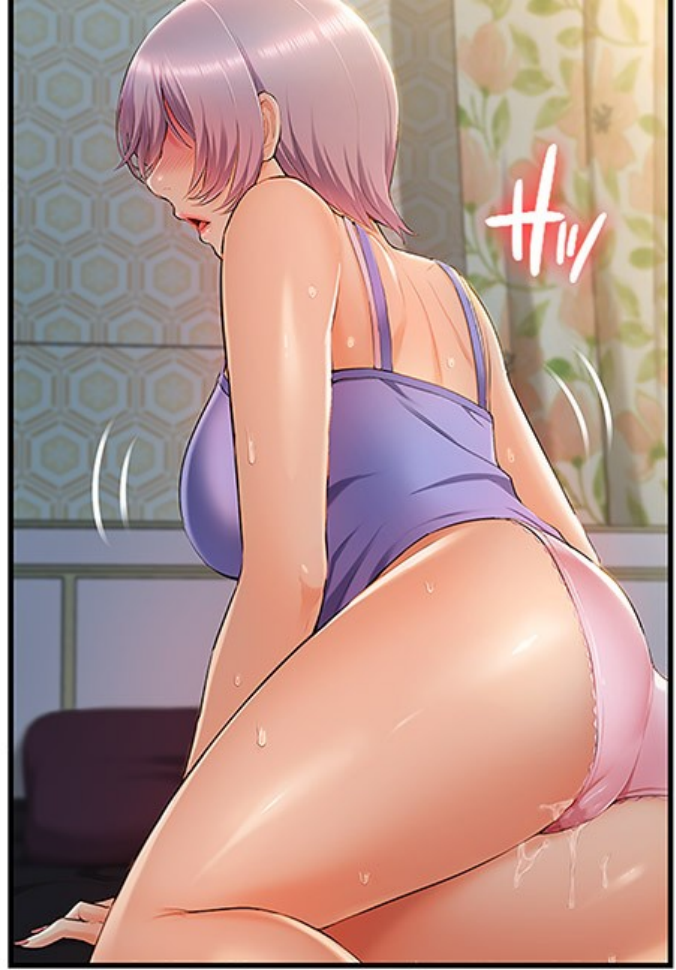
それは
悪い事したな…



ぶっ
お母さんより
心配して
たのに…
ぶっ

涼子さんにちゃんと
謝らないとな…







軽く運動して

火照った身体を
冷まさないと…

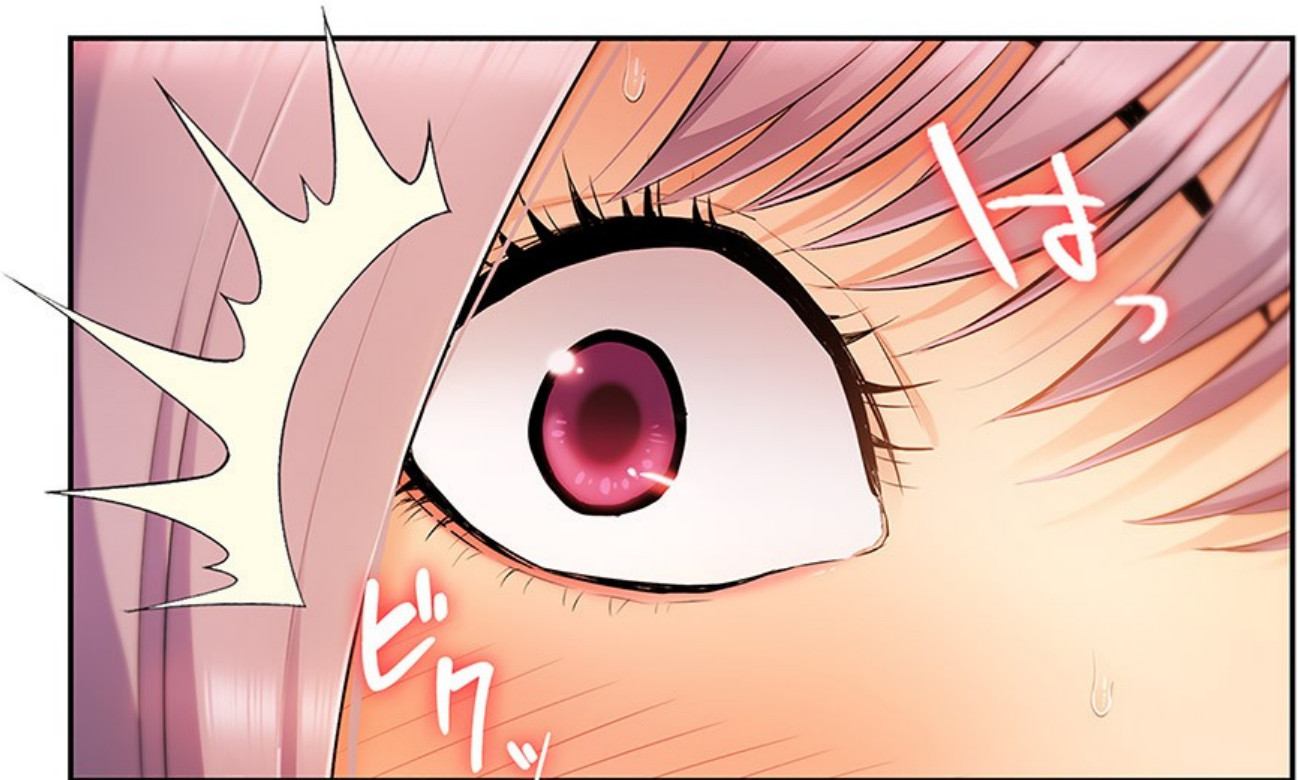


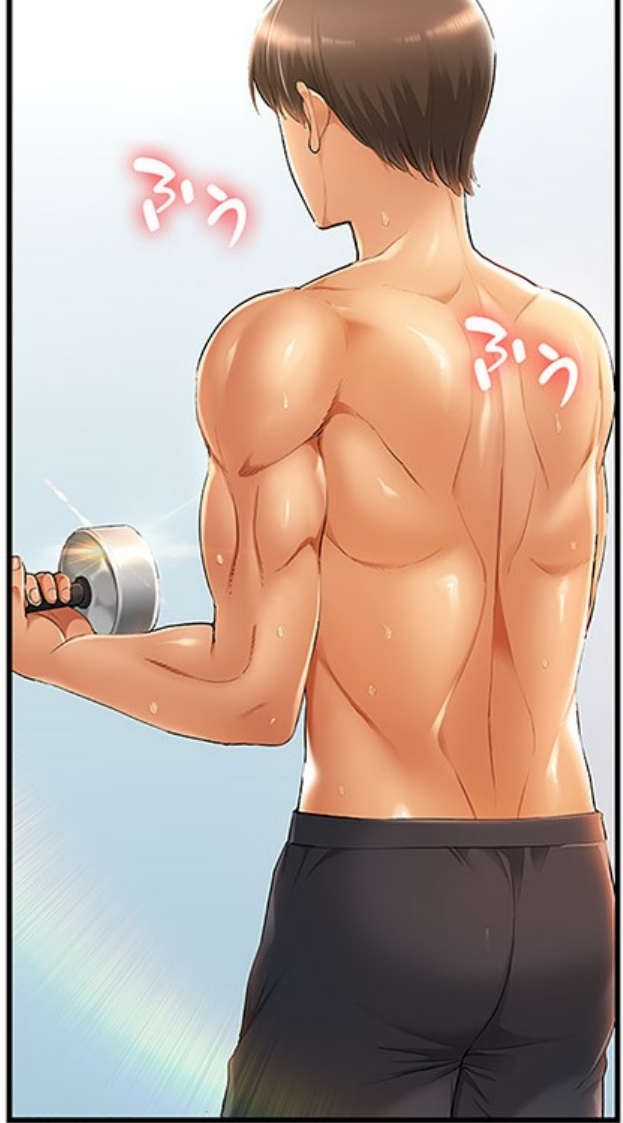
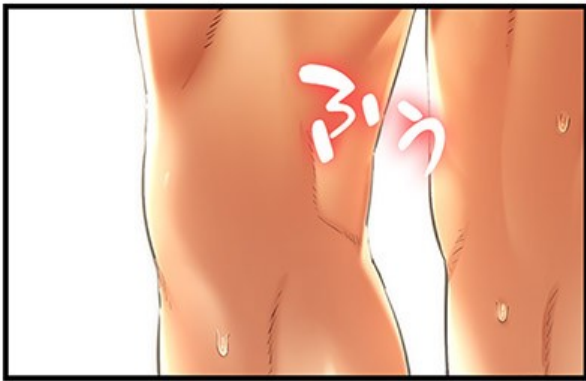
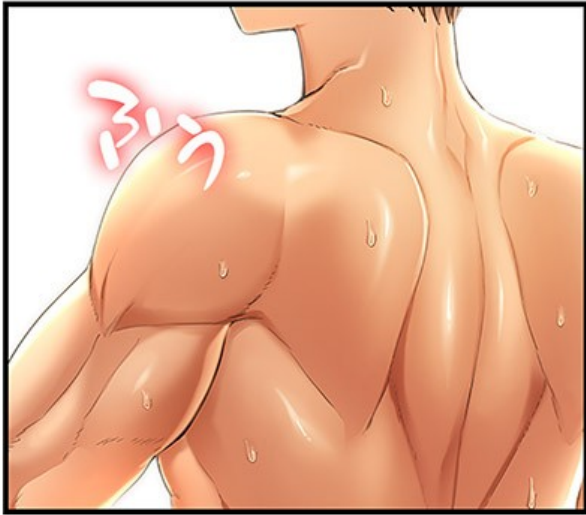
あまり
寝たならゴッ…

眠れそうに
ないし…

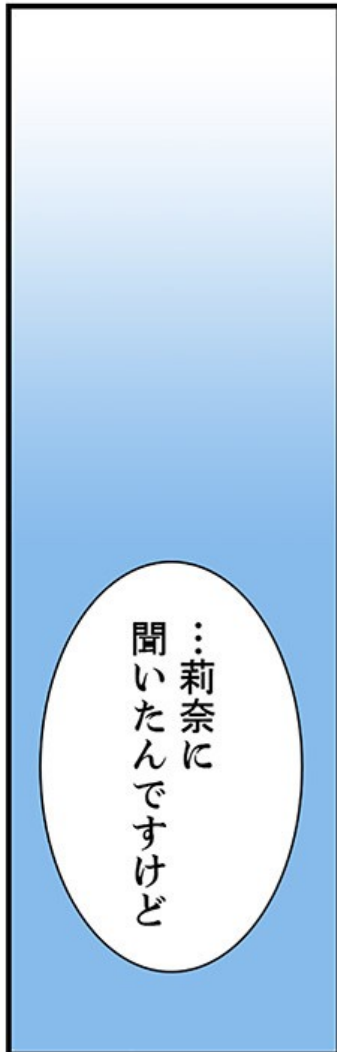














ちゃんと連絡
するべきでしたね
次は気を付けます



この前の日曜…
心配かけちゃって
すみませんでした

!



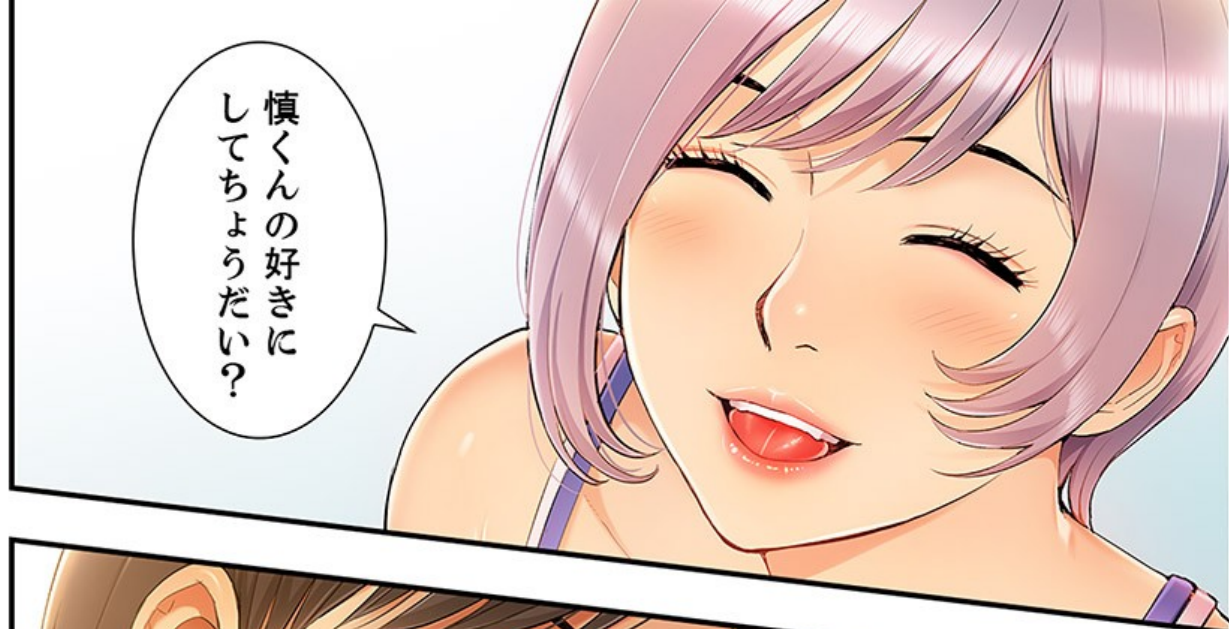
私達が勝手に
心配しただけよ

あまり
気にしないで



大丈夫よ

慎くんが私達に
連絡する義務は
ないんだもの



慎くんの好きに
してちょうだい？



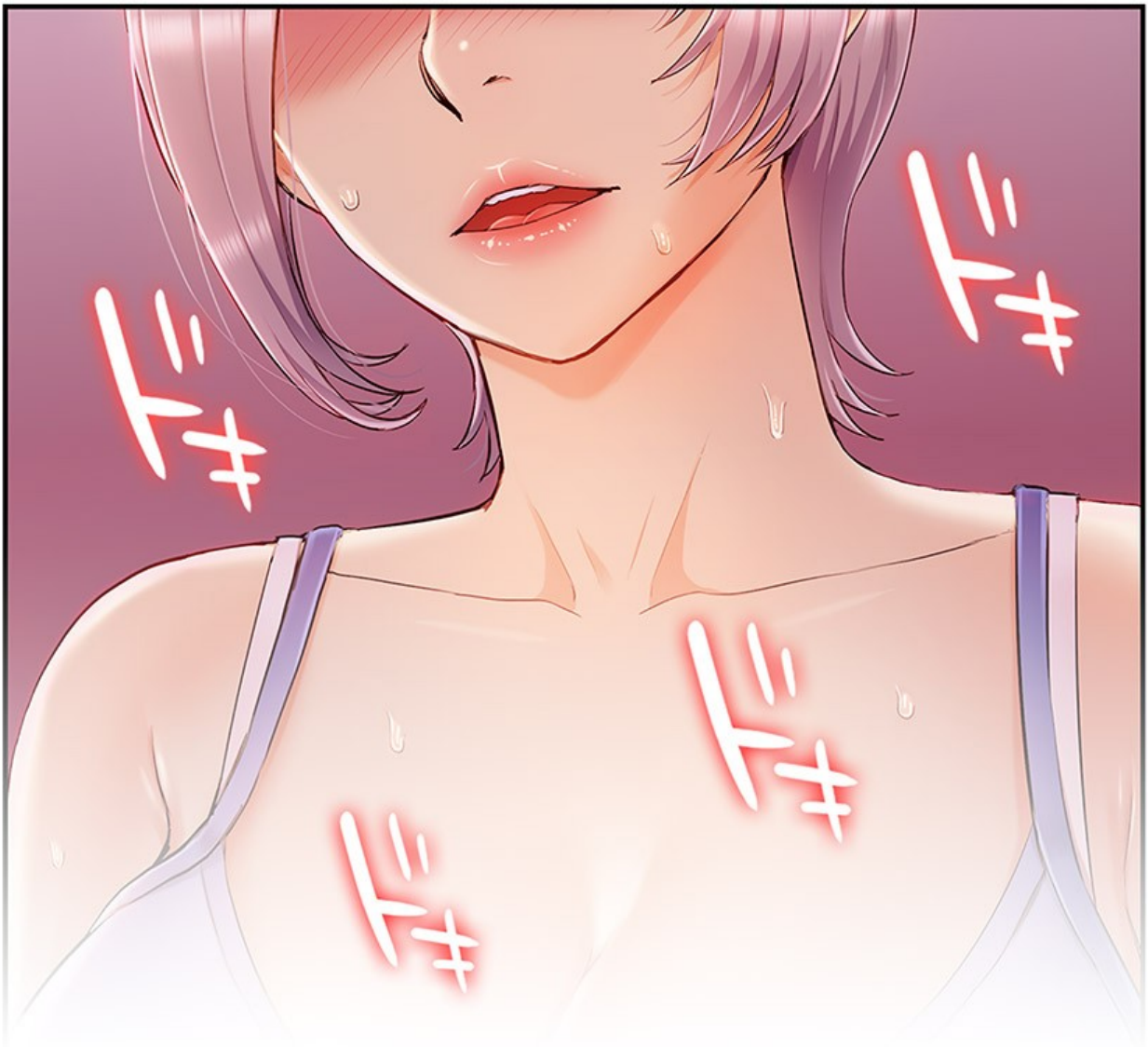
あ…

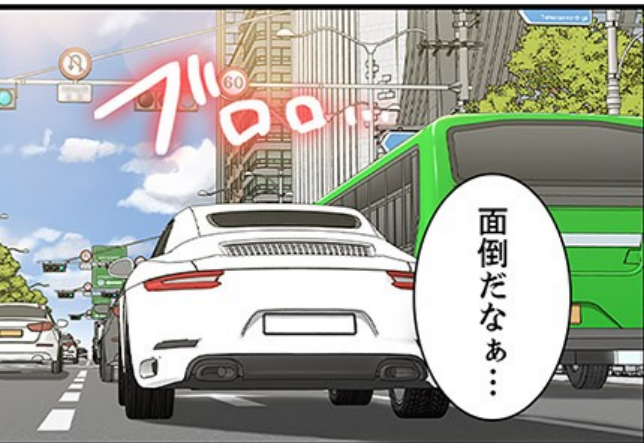
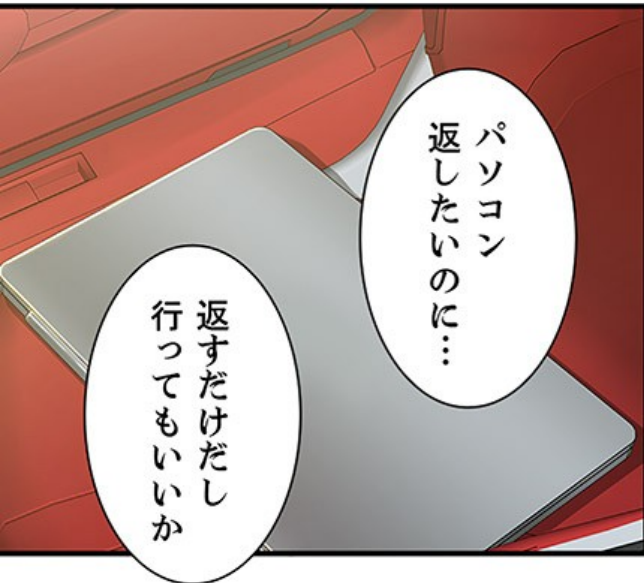
はい

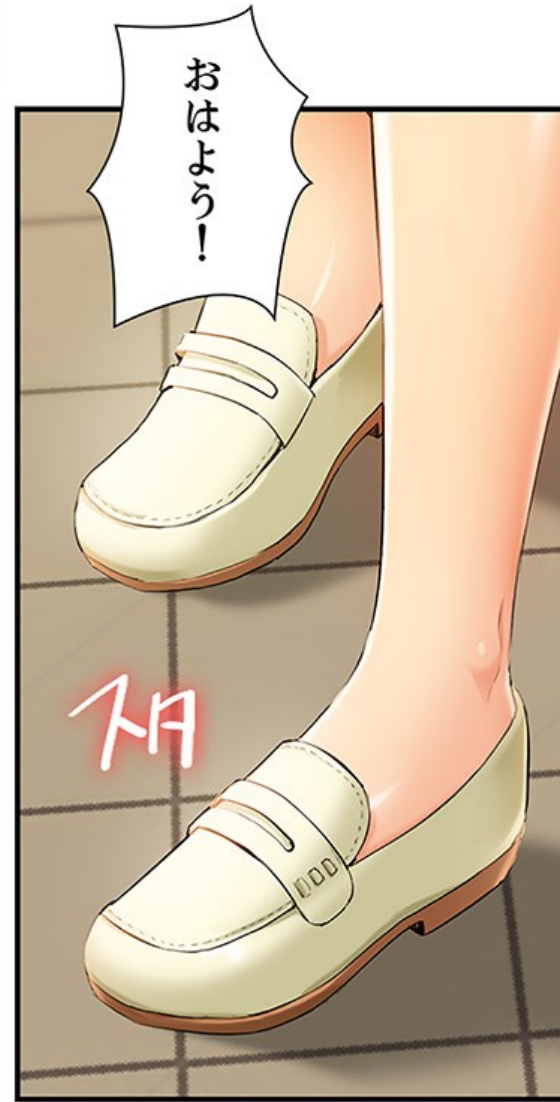


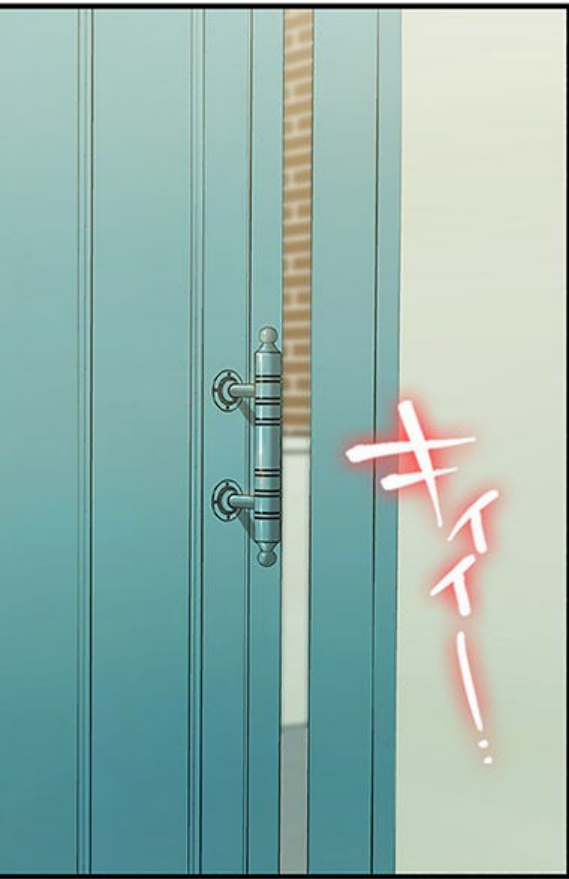
じゃあ…
私は戻るわね

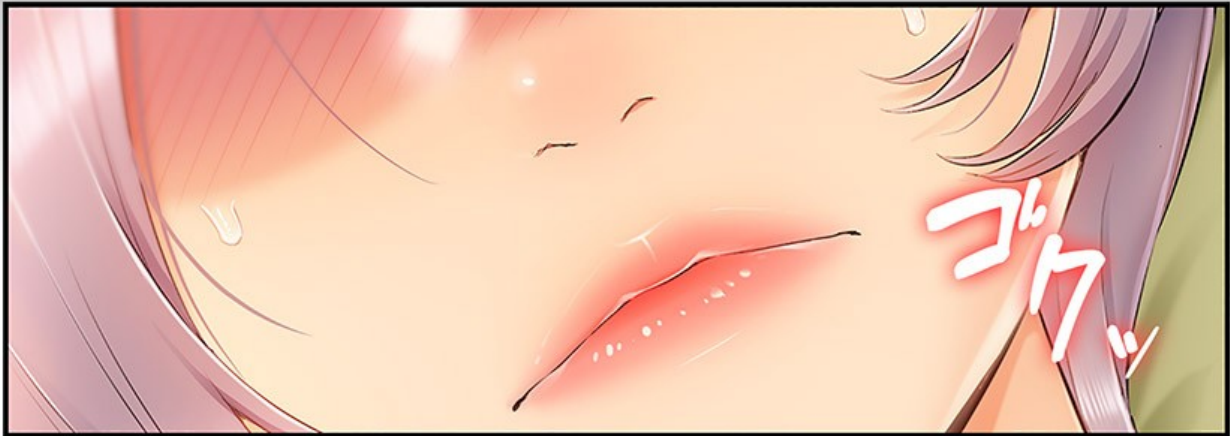
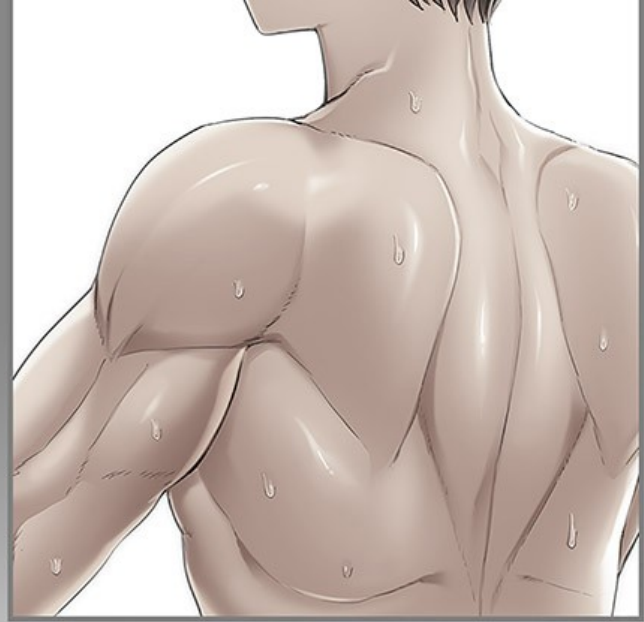
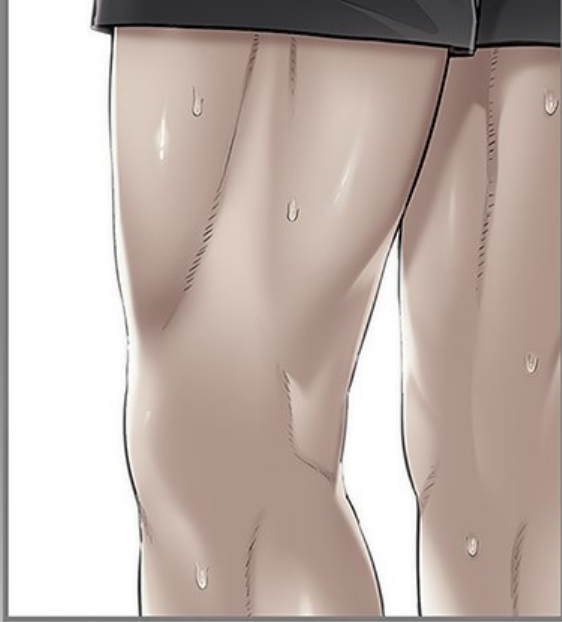
はい











慎くんの事
考えながら

こんな事
するなんて…

ちゅく
ちゅく

あぁっ！
慎くん…！

涼子さん…

くっ！

っ
っ
っ

っ
っ
っ





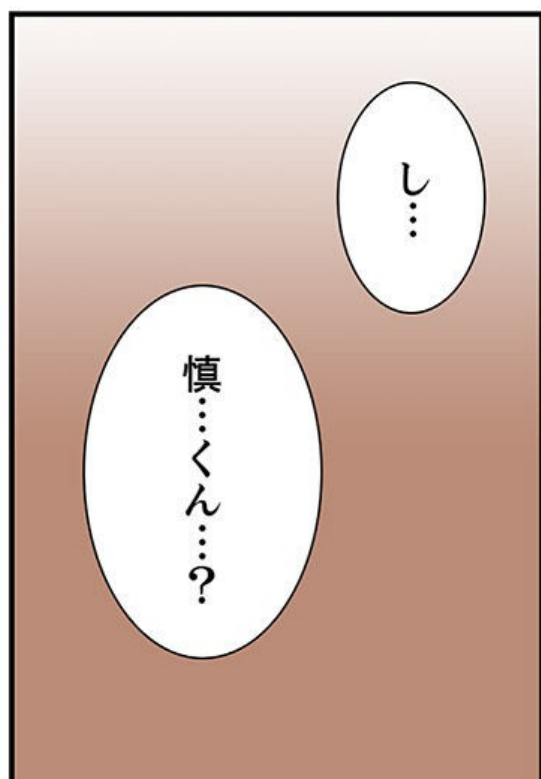
ああっ!

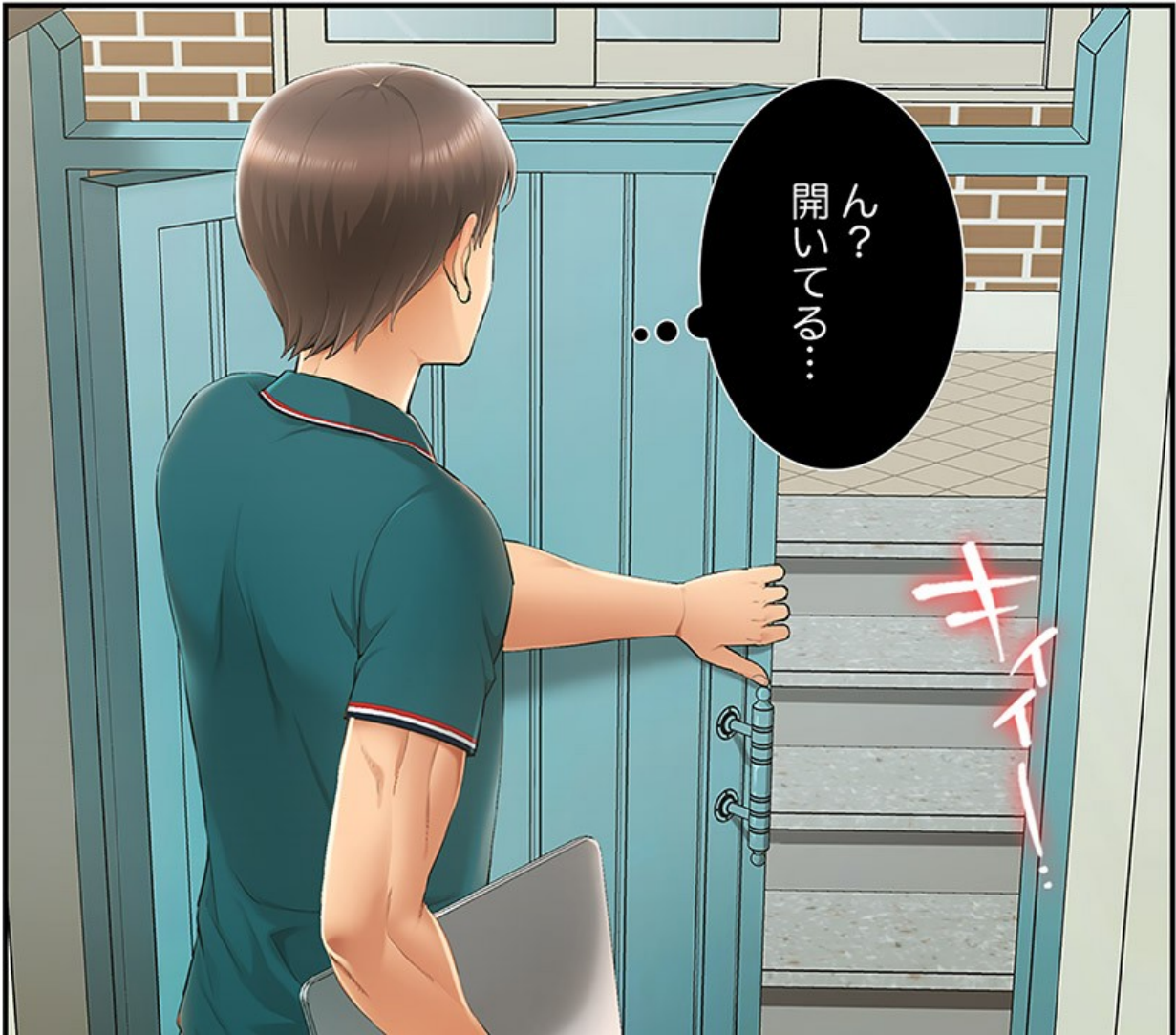
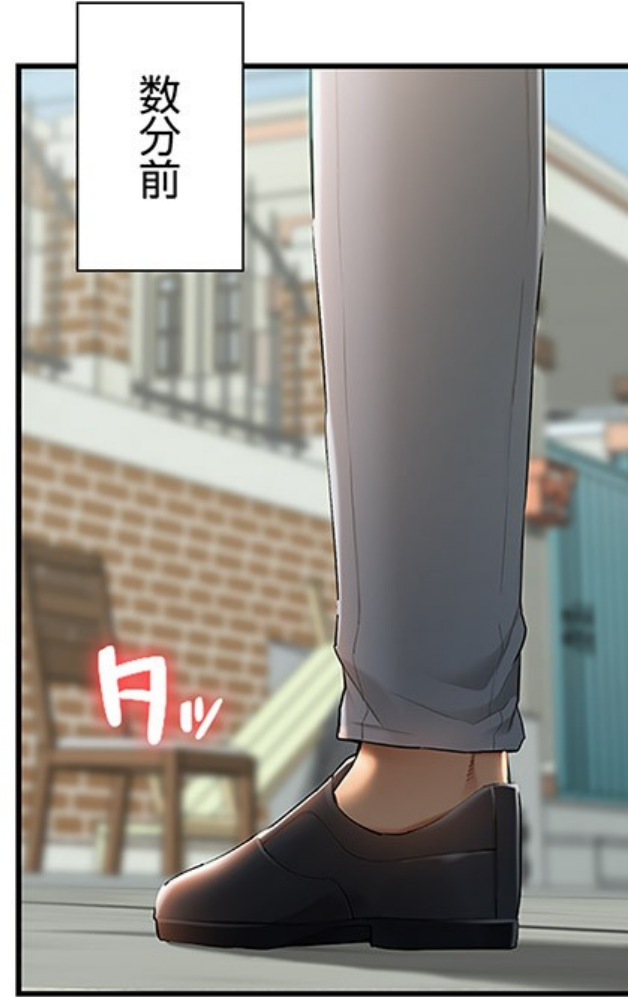
はあああん!!



あ...はあっ!















この女…
どうして鍵もかけずに
リビングでこんな事…!



何だ？
この状況は…

痛っ
た
っ
っ
っ



待って！

俺はこれで…

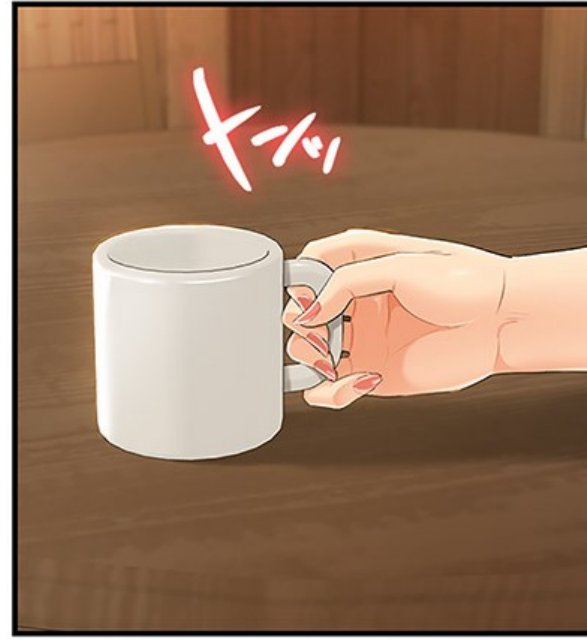


ええと…すみません
邪魔しちゃって…

わ…私の話を

聞いて…?







ていうか…この女
凄におっぱいじゃん

慎くん…



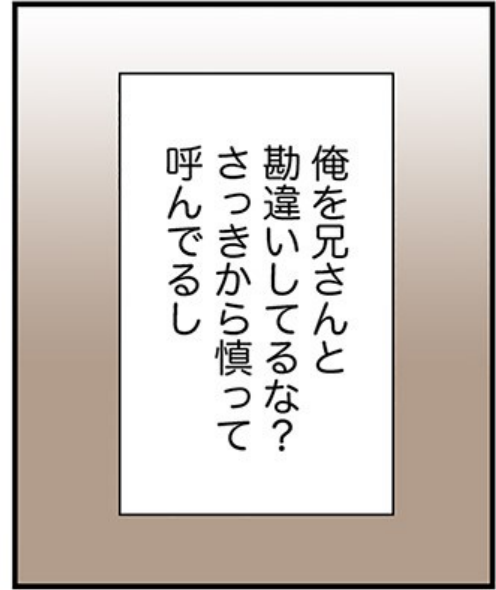
大家か？
それにしちゃ
若いかな

俺とそんなに
歳も変わらなそうだし



こんな姿を
見せてしまって

本当に
ごめんなさい







え？
莉奈って
娘なのか？
しかも
18年って…

男性との
出会いも無くて



ありがとう
慎くんも
知ってる通り

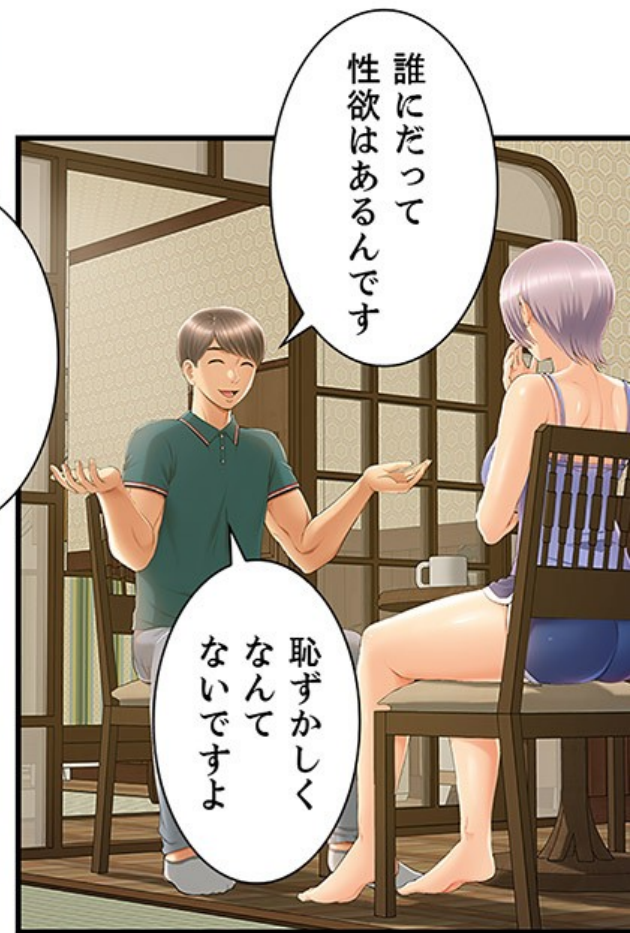
18年間
夢中で莉奈を
育ててたから



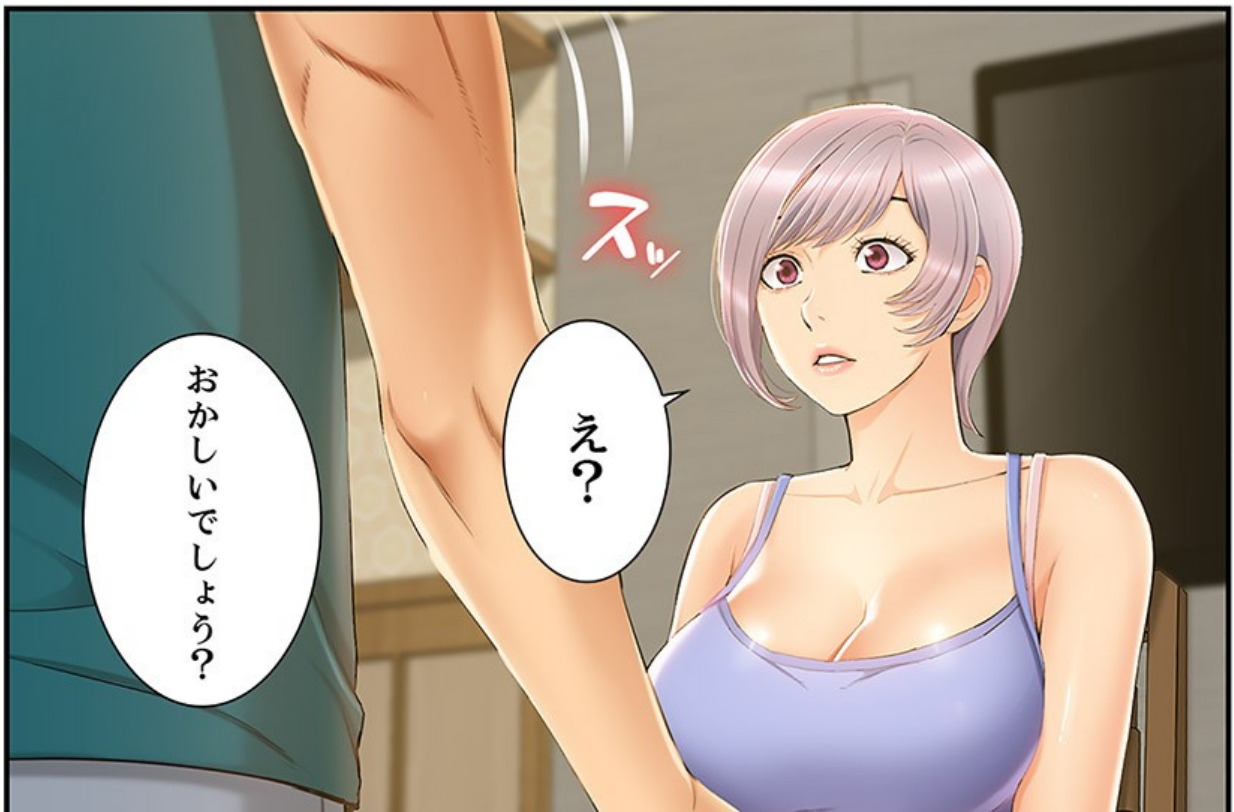
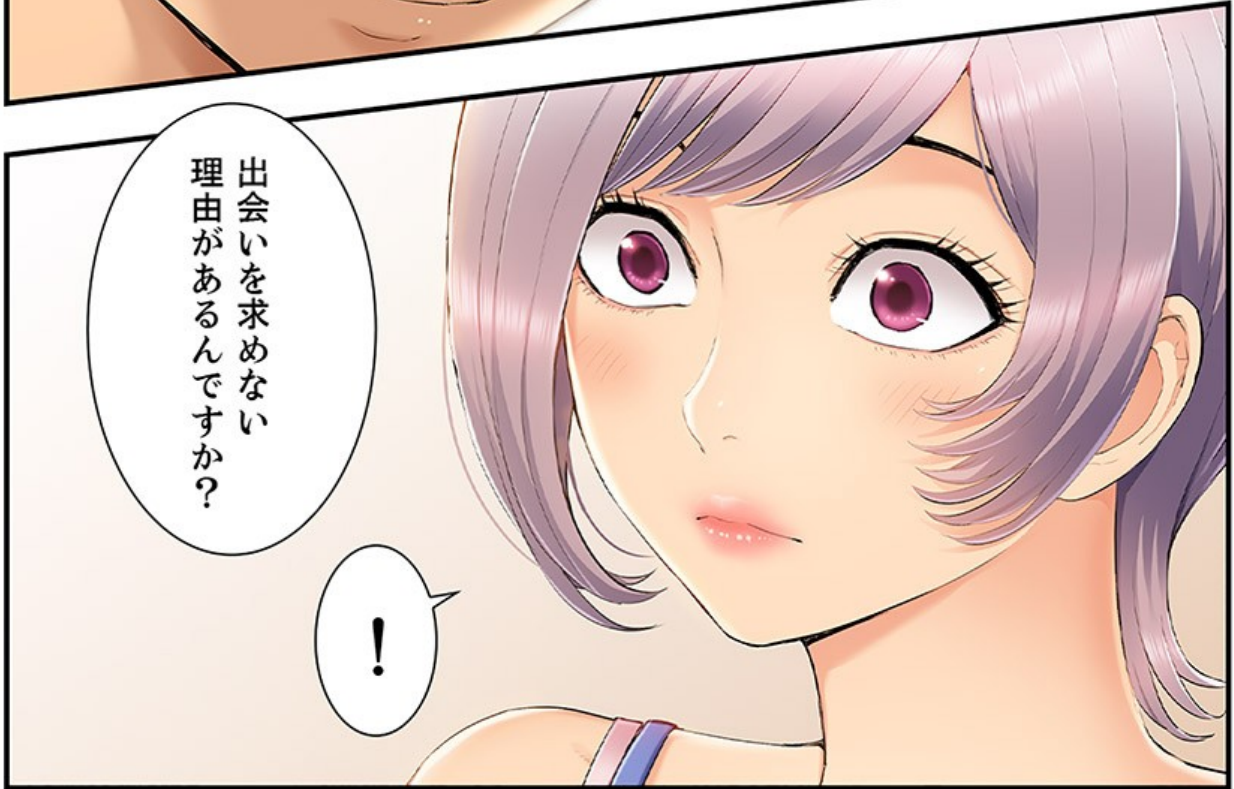
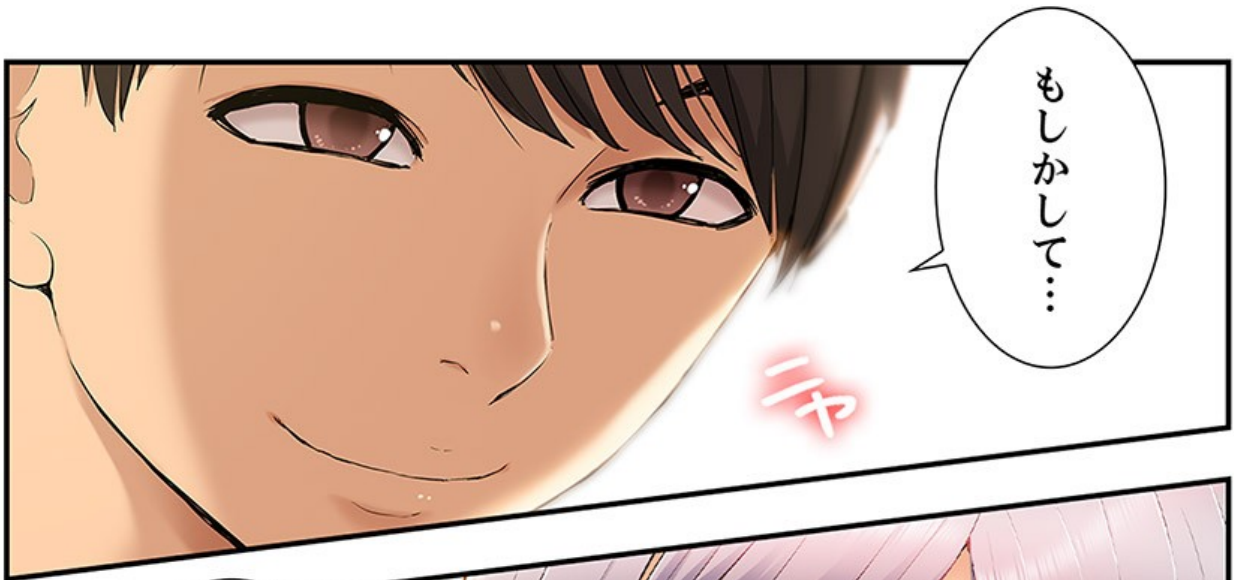
た…たまたまに
我慢出来なく
なった時に…ね？

そんなに
しょっちゅうじゃ
ないのよ？





この女…
まさか兄さんを？









何だ？
この女思ったより
積極的じゃん

兄さん：
いいよな？



俺でよかったら

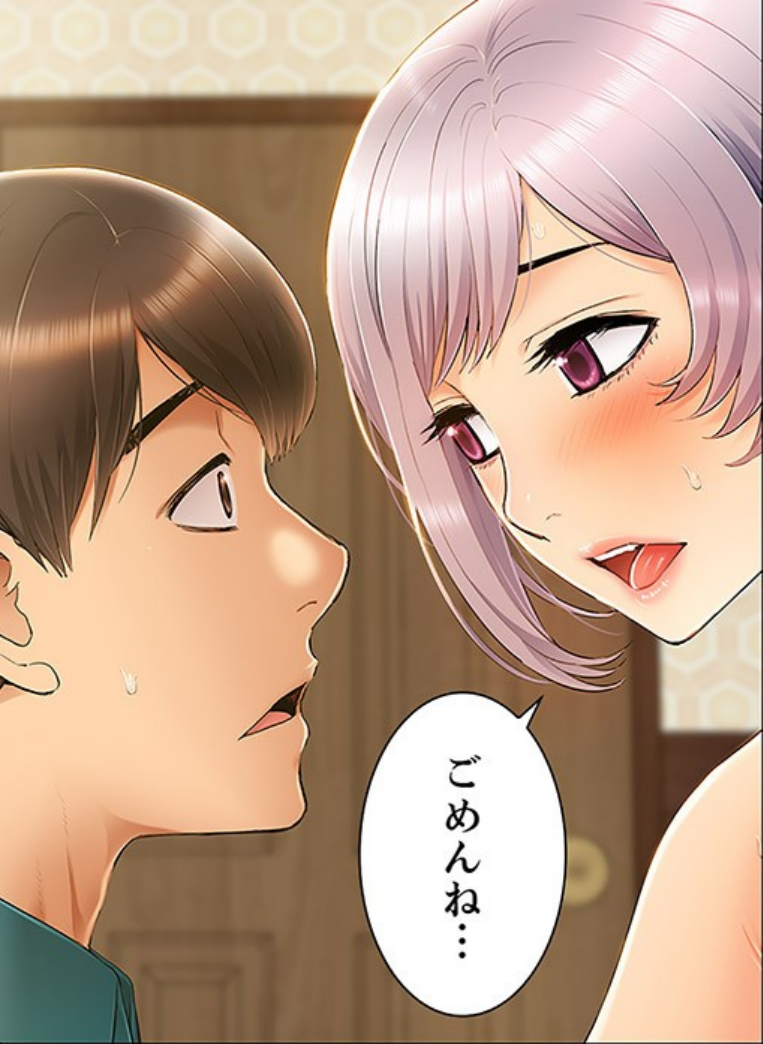


あっ！

慎くん…！







ごめんね...



今のは無かった事にしましょう

やっぱり駄目よ...

スッ

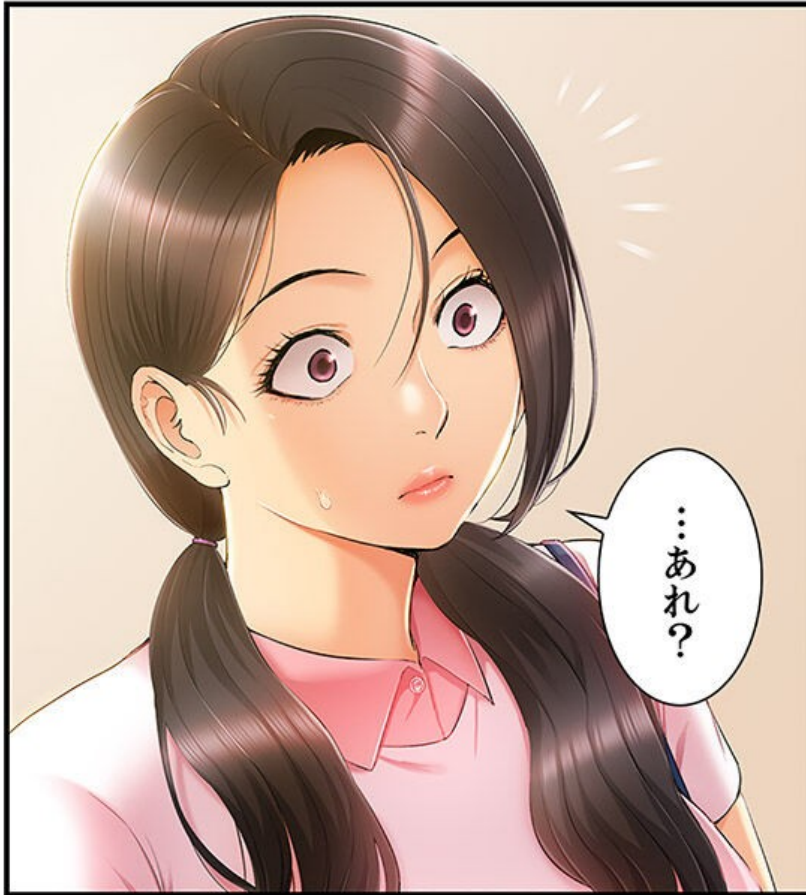


何か...
違和感が...

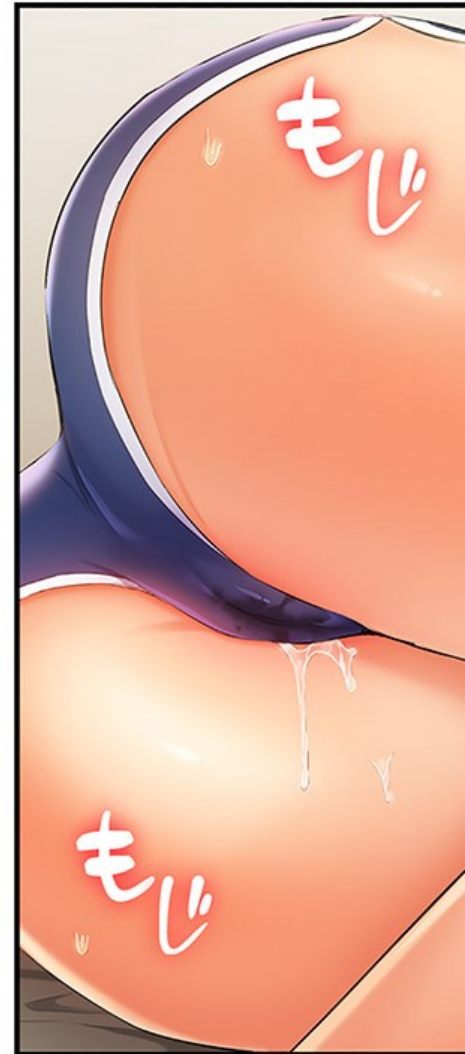
...えっ?

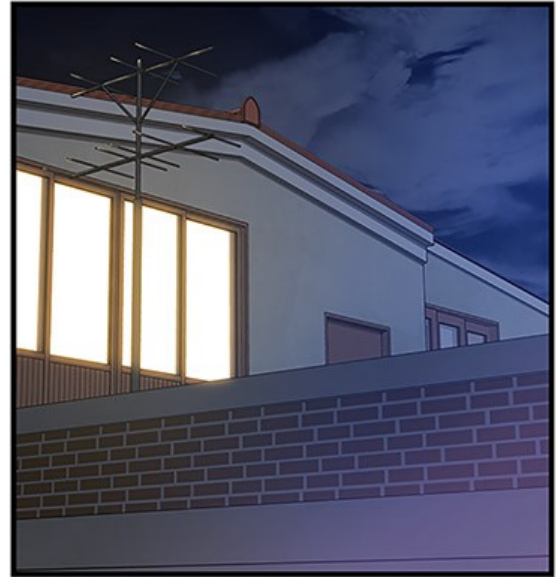
お母さん!

カチャッ

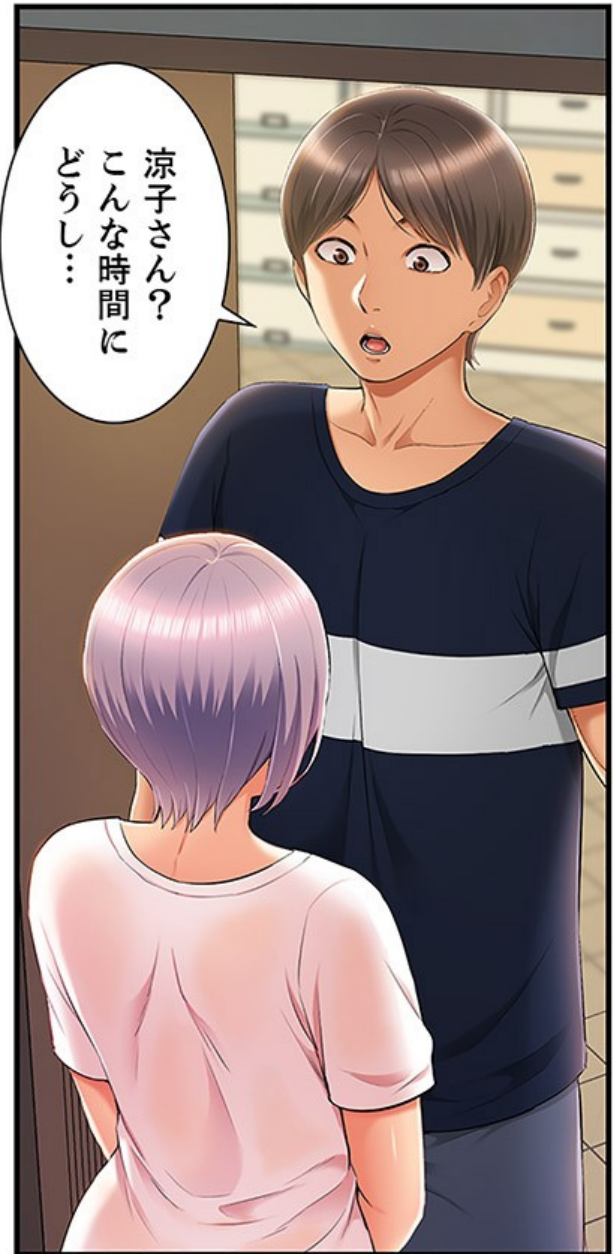












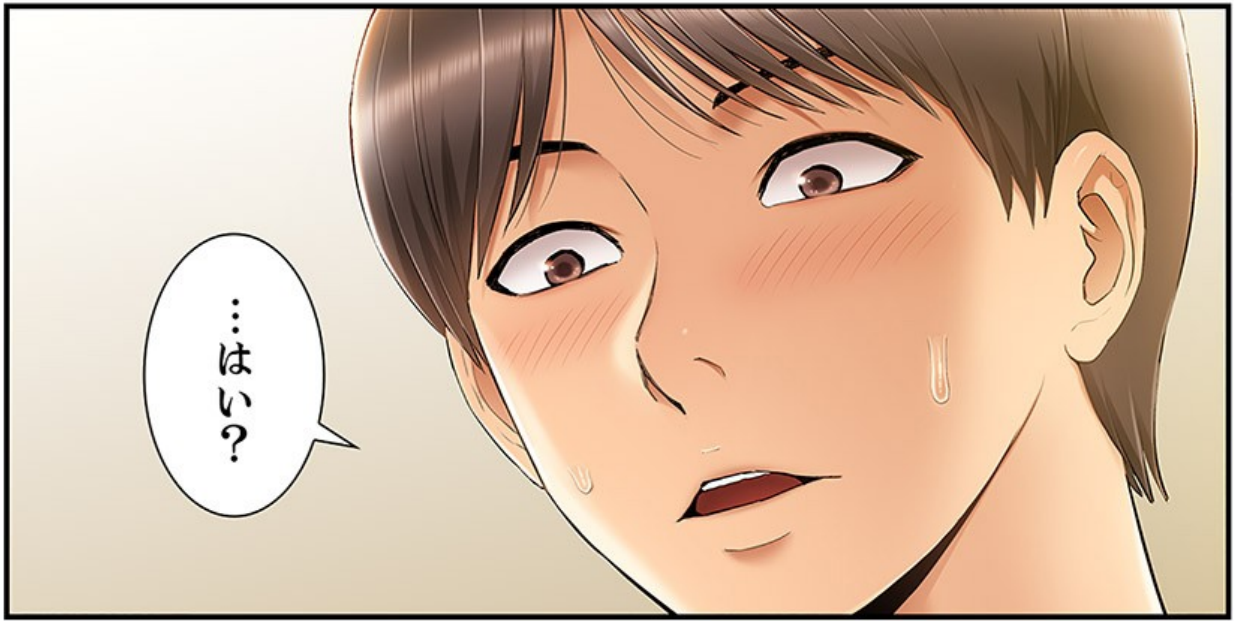


慎くん…



昼間の続き…

しましよ…？







涼子さん…
もしかして酔ってます？
お酒臭いですよ

部屋で
休んだ方が…



だって素面しつぽじゃ
顔が合わせられなくて



お酒？
少し飲んだけど…

平気よ





下着は…

着けずに…



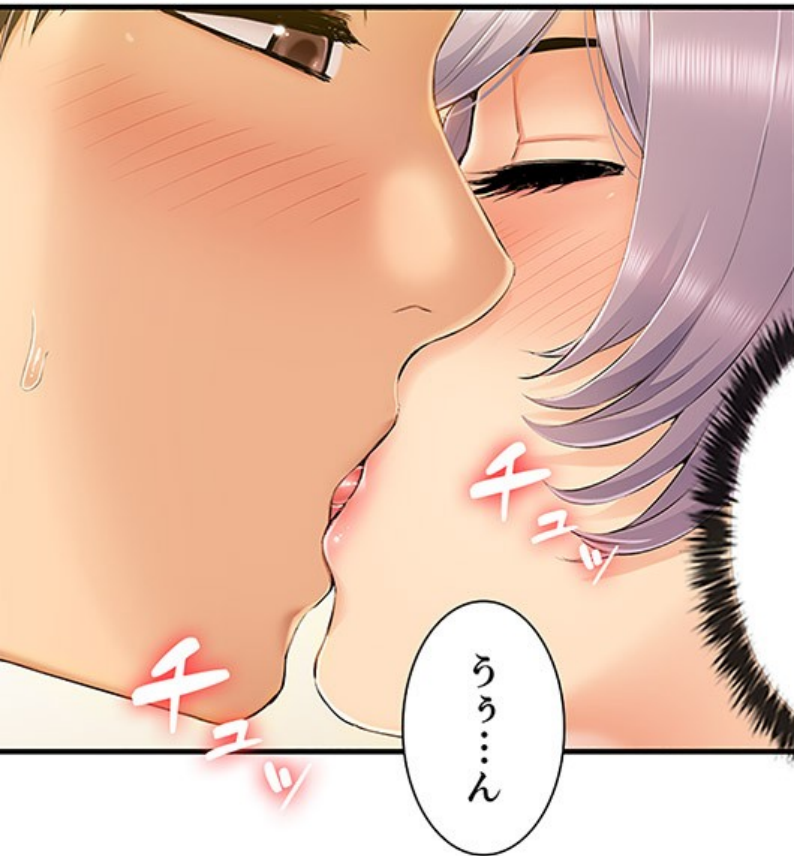


んう…!



慎くんだったって

寂しいんでしょう？

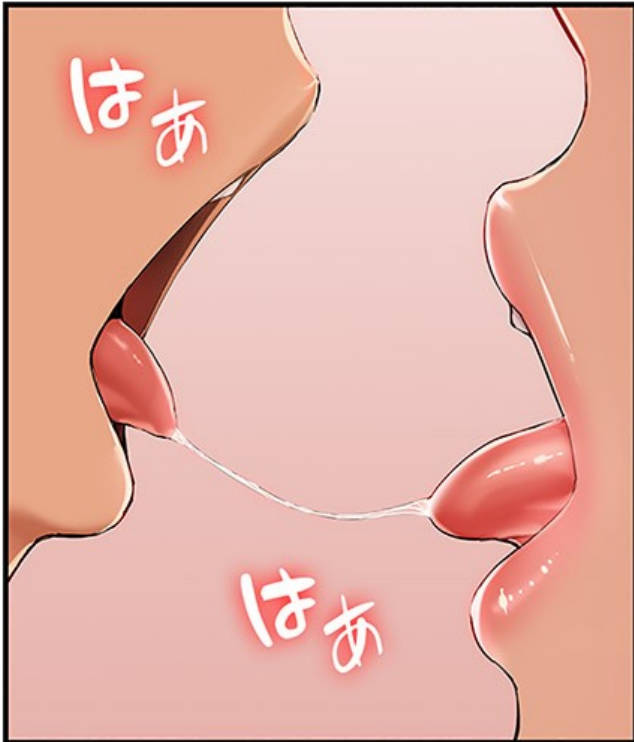


うう…ん



ふ…

い…一体
どうなってるんだ





ごめんね
久しぶりだったから

興奮しちゃった



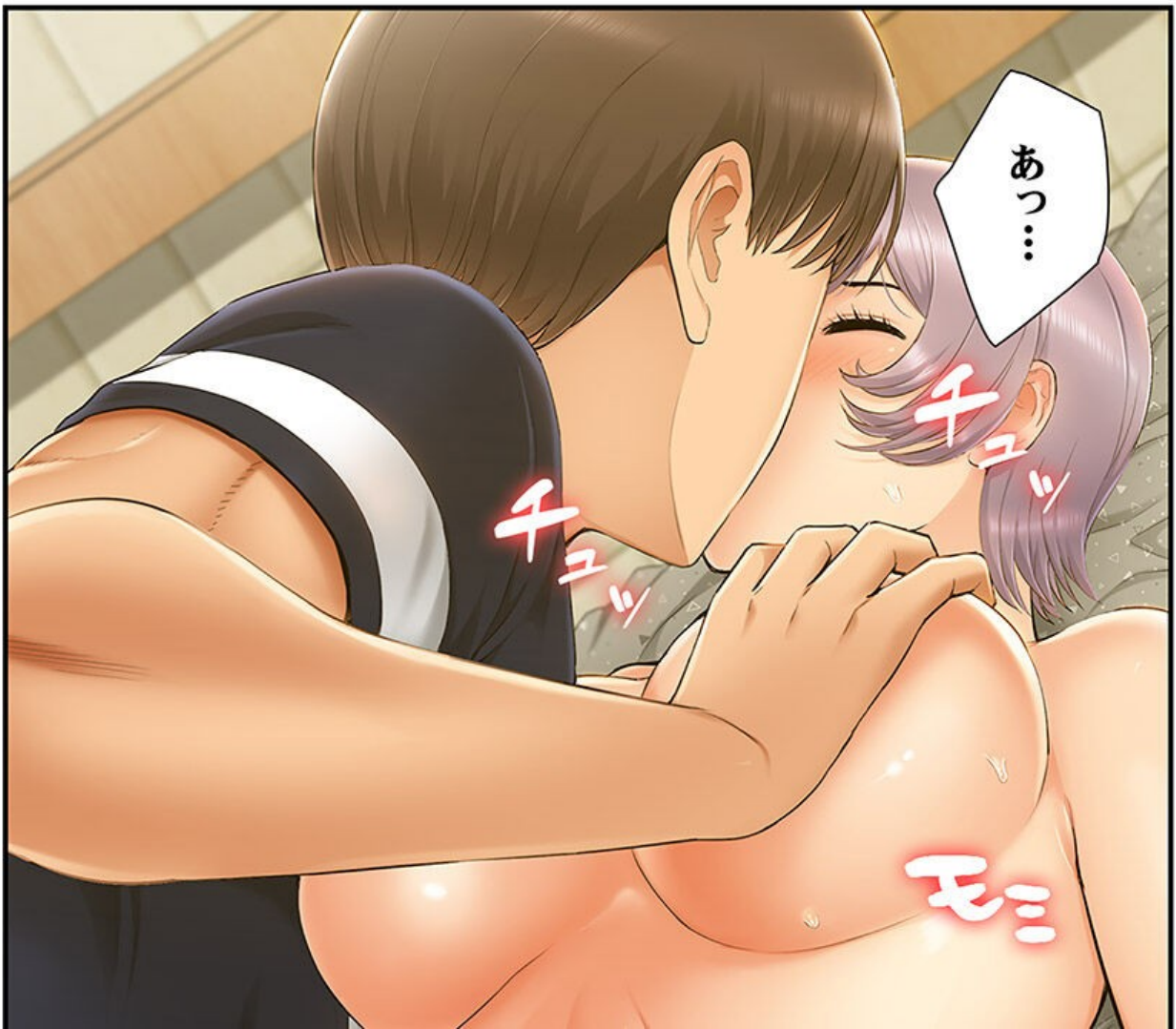
もう
これは…

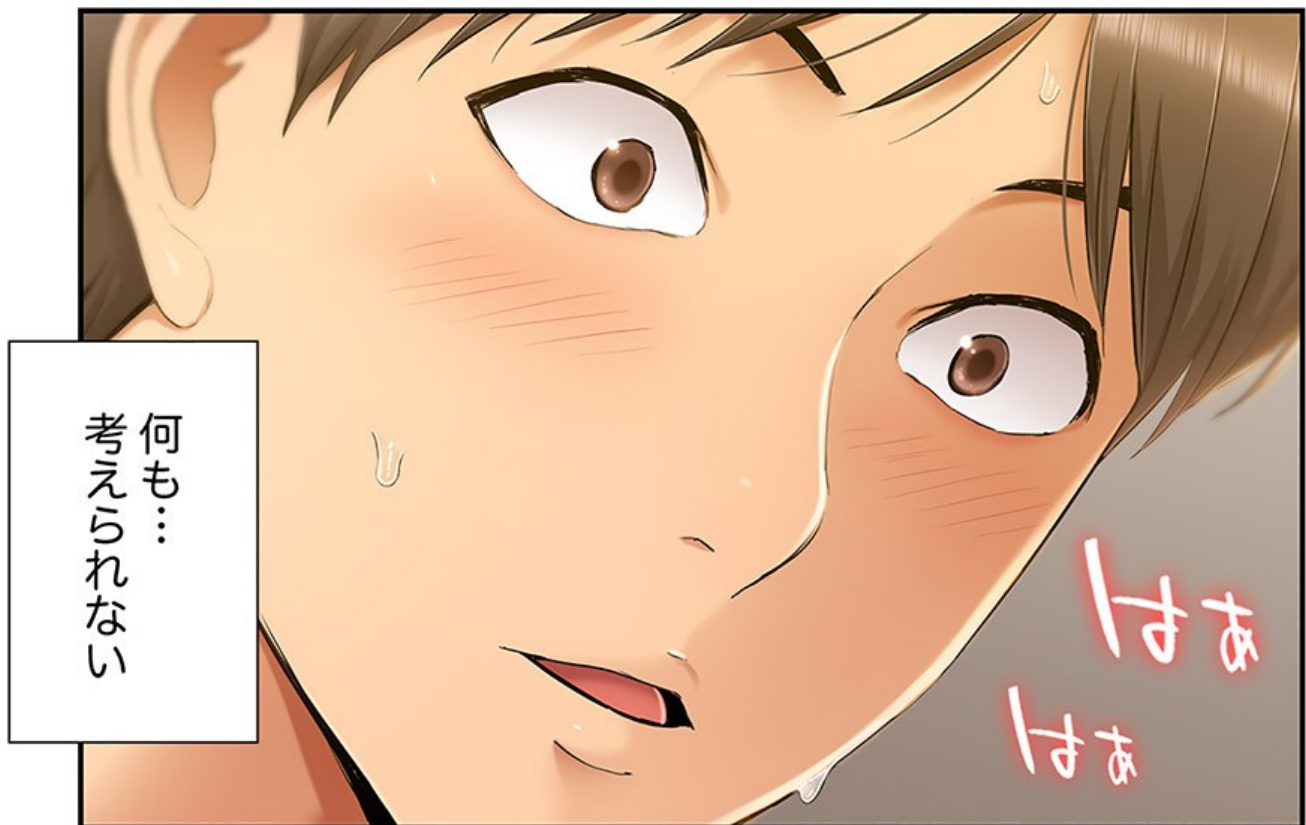
止まらない！

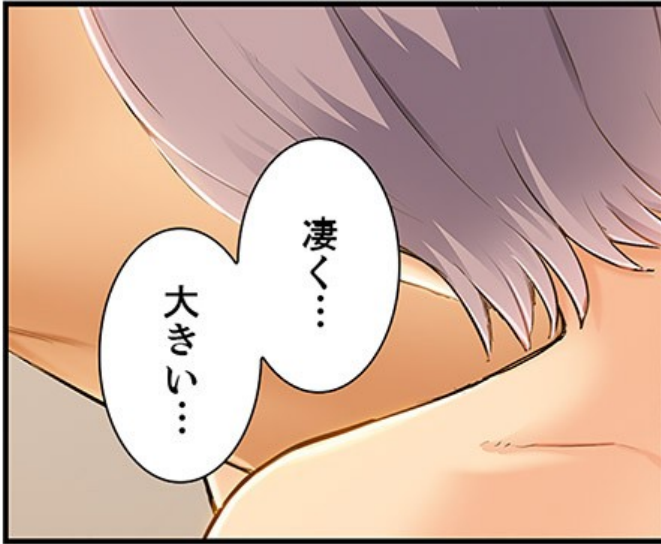


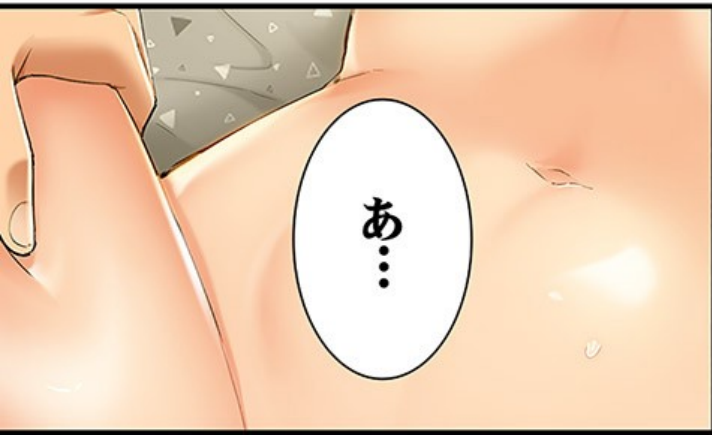
ヤバい…

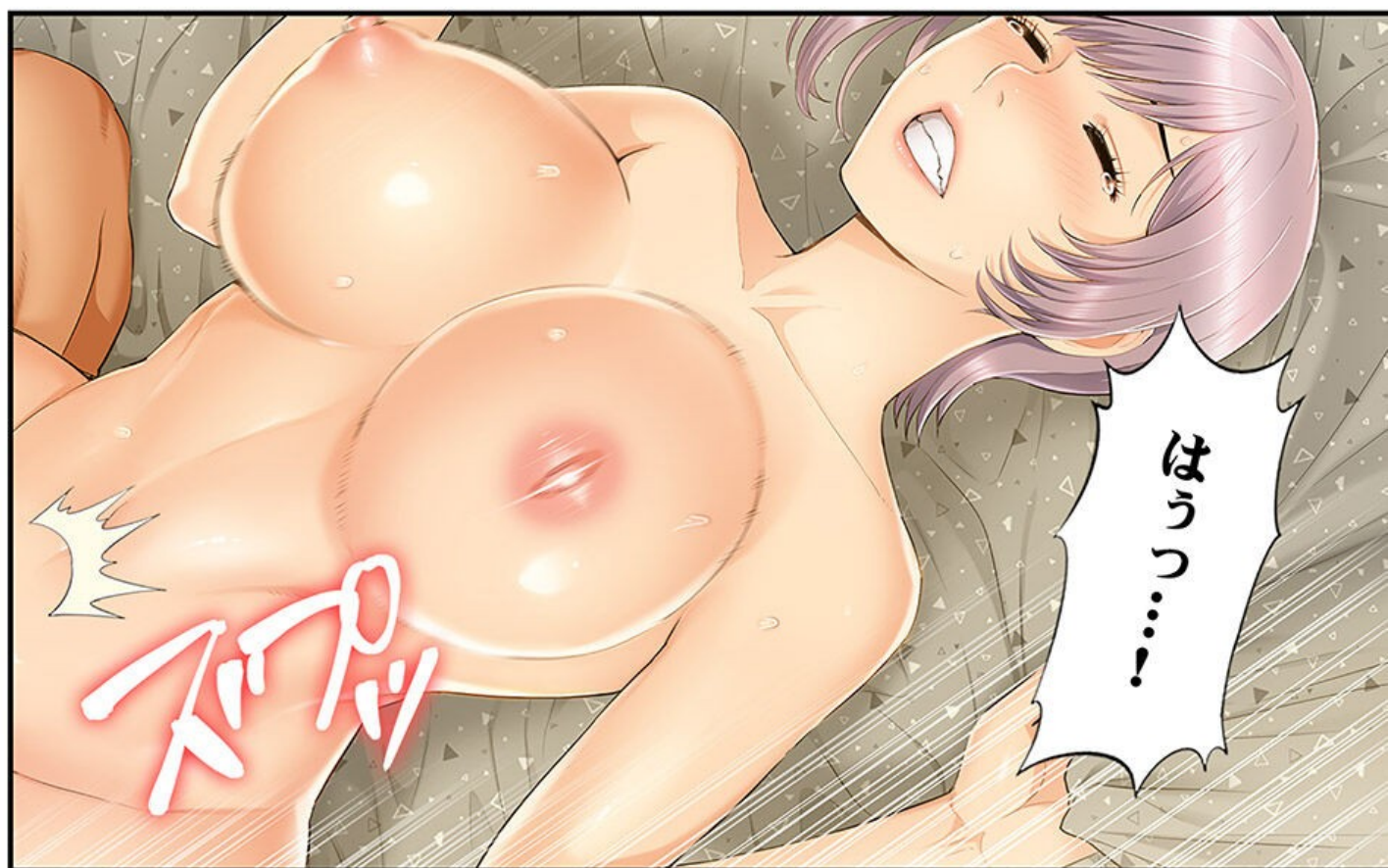
涼子さん…







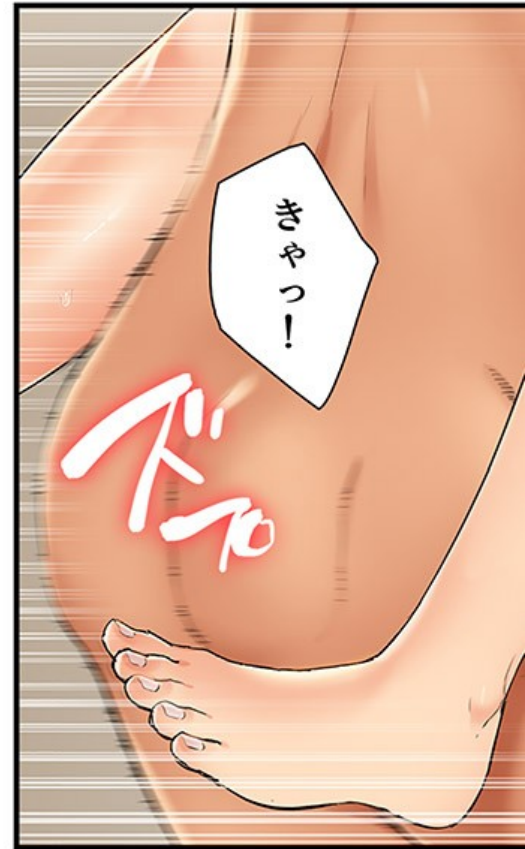














はああつ!

あつ...あつ!



こんなに
感じるものなのか?

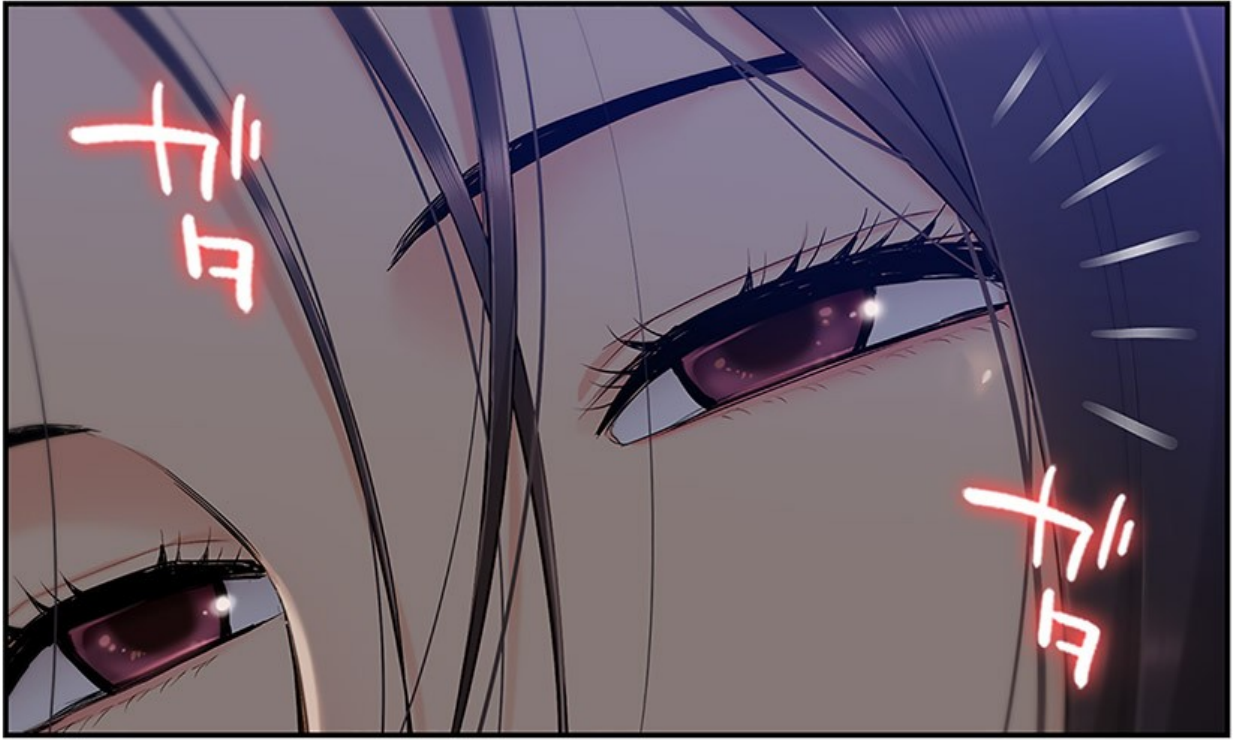
いくら
久しぶりとはいえ

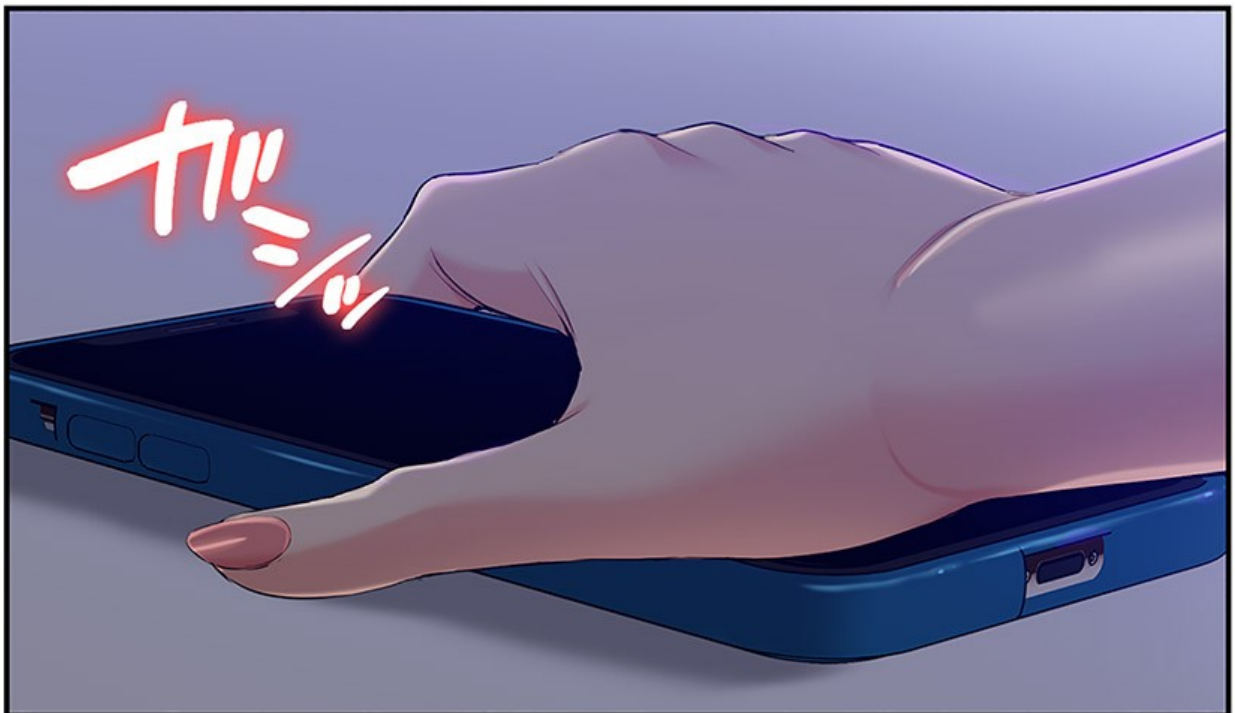
...っ!















桃色サンドイッチ 【合本版】 1

著者 SSAEM

発行 Rush!

表紙デザイン CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。